

第12号議案 令和5年度長崎市一般会計予算

目次

| | | |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1 | 市民提案型協働事業実施費 | P 3 |
| 2 | 被災者受入費 | P 4 |
| 3 | 特別支援教育充実費 | P 5 ~ 7 |
| 4 | 不登校対策費 | P 8 ~ 10 |
| 5 | 学校運営協議会費 | P 11 ~ 13 |
| 6 | 学力向上推進費 | P 14 ~ 15 |
| 7 | 国際理解教育推進費 | P 16 ~ 18 |
| 8 | キャリア教育推進事業費 | P 19 ~ 21 |
| 9 | 課外クラブ活動費 | P 22 ~ 24 |
| 10 | 運営費（小学校・中学校） | P 25 ~ 31 |
| 11 | 教育ICT推進費（小学校・中学校・高等学校） | P 32 ~ 34 |
| 12 | 要保護及び準要保護児童就学援助費 要保護及び準要保護生徒就学援助費 | P 35 ~ 36 |
| 13 | 校舎等維持補修費（小学校） | P 37 ~ 39 |
| 14 | 【補助】小学校整備事業費 西浦上小校舎等改築 | P 40 ~ 54 |
| 15 | 【補助】小学校整備事業費 小島小校舎等改築 | P 55 ~ 70 |
| 16 | 【補助】小学校整備事業費 西町小校舎等改築 | P 71 ~ 73 |
| 17 | 【単独】小学校整備事業費 大規模改造 【単独】中学校整備事業費 大規模改造 | P 74 ~ 77 |
| 18 | 【単独】小学校整備事業費 諸工事 【単独】中学校整備事業費 諸工事 【単独】高等学校整備事業費 諸工事 | P 78 ~ 84 |
| 19 | 【単独】小学校整備事業費 バスケットゴール改修 【単独】中学校整備事業費 バスケットゴール改修 【単独】高等学校整備事業費 バスケットゴール改修 | P 85 ~ 88 |
| 20 | 【単独】中学校整備事業費 琴海中校舎等改築 | P 89 ~ 93 |
| 21 | 【単独】自然災害防止事業費 法面 | P 94 ~ 95 |
| 22 | 管理費（高等学校） | P 96 |
| 23 | 地区公民館管理費 | P 97 ~ 99 |
| 24 | 【単独】科学館施設整備事業費 科学館設備整備 | P 100 ~ 102 |
| 25 | 給食食材等調達費 | P 103 |
| 26 | 【債務負担行為設定】学校給食センター整備運営事業（中部地区、南部地区） | P 104 ~ 110 |
| 27 | 令和6年度全国高等学校総合体育大会開催費負担金 | P 111 ~ 112 |
| 28 | 【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館設備整備 | P 113 ~ 115 |

教育委員会

令和5年2月

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|----------|------------|------------|------|---------------------------------|-----------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 108～ 109 | 2 総務費 | 1 総務管理費 | 1 一般管理費 | 11-3 | 市民提案型協働事業実施費 (デジタルお悩みサポート事業) | 千円 910 |

1 概要

令和4年3月に策定された長崎市DX推進計画では、基本方針に「情報格差のない暮らしの実現」を掲げ、その基本施策の一つとして「デジタル活用を支援する」としている。

このことを踏まえ、高齢者の利用が多くかつ身近な公共施設である公民館において、「市民がWeb情報を受け取れ、活用できるようにする」ことを目的に、特定非営利活動法人まちラボと協働して、IT機器を使いこなしている大学生などの若い世代を講師として講座を展開し、また、受講後のアフターサポートとして相談会を実施することで、高齢者を中心とした情報弱者を支援に寄与し、市民の情報格差の解消を図るもの。

2 事業内容

(1) 実施事業

ア 公民館職員向けの研修会

イ 市民向けスマートフォン講座（2回×10館）

2回連続講座とし、スマートフォンを使ったQRコードの読み取り、LINEアプリを使用した情報発信方法を学ぶ

ウ 困りごと相談会（月2回）

公民館と委託先とをオンライン会議システムで繋ぎ、復習をしたい受講者や操作に不安が残る受講者からの相談に対応する

(2) 委託先

特定非営利活動法人まちラボ（協働事業提案団体）

(3) 事業費

委託料 910千円

（講師謝礼：720千円、車両借上料：110千円、需用費ほか：80千円）

3 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-----|---------|------|-----|------|------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他※ | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 910 | — | — | — | 910 | — |

※ 長崎伝習所基金繰入金

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|----------|------------|------------|------|--------|-----------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 110～ 111 | 2 総務費 | 1 総務管理費 | 1 一般管理費 | 20-1 | 被災者受入費 | 千円 383 |

1 概 要

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴い、被災地から長崎市に避難した児童生徒が安心して学ぶことができるよう、対象となる保護者に対して就学援助を行う。

2 事業内容

東日本大震災により被災し、就学困難な状況となった児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等を援助する。

なお、援助の基準及び内容は、長崎市の就学援助制度に準ずる。

(1) 対象者

3 人（中学生 1 人、小学生 2 人）

(2) 対象者数の推移（人）

| | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 |
|-----|----------|-------|---------|---------|---------|
| 小学校 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| 中学校 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 |

3 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|---------|---------|
| | 国庫支出金 | 県支出金※ | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 千円 383 | 千円 - | 千円 383 | 千円 - | 千円 - | 千円 - |

※ 東日本大震災被災児童生徒就学支援事業費補助金（補助率 10/10）

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|-------------|-----|-----------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 266～ 267 | 10 教育費 | 1 教育総務費 | 3 教育研究所費 | 1-2 | 特別支援教育充実費 | 千円 271,098 |

1 概 要

発達障害を含む障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、市立小中学校における特別支援教育支援員の配置による支援の充実や専門家による巡回相談の実施、特別支援教育交流会や教職員の専門性向上のための特別支援に関する研修会の実施をとおして特別支援教育の充実を図る。

また、幼児の就学先決定に至るまでの情報収集及び資料作成をする早期支援コーディネーターの配置並びに教育支援委員会の実施により障害のある就学児や教育上特別な配慮を必要とする児童生徒の適切な就学措置を行う。

2 事業内容

(1) 特別支援教育支援員の配置 (259,541千円)

ア 配置目的

通常学級及び特別支援学級において、児童生徒への個別の教育的支援の充実と学校教育活動の円滑化を図る。

イ 具体的な業務内容等

- ・ 基本的な生活習慣（食事・更衣・排泄など）における支援や喀痰吸引等の医療的ケア
- ・ 障害の特性（感覚過敏・注意集中の促しなど）に合わせた、補助具の使用や環境の調整（学習活動時、集会や行事等含む）
- ・ 教室間移動における肢体不自由児の階段昇降や車いすの支援、多動児の見守りや安全の確保
- ・ 勤務時間・・・月曜日～金曜日、1日6時間

ウ 実績及び予定

【特別支援学級及び通級指導教室在籍児童生徒数と支援員数】

| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| 特別支援学級 在籍児童生徒数 | 394 | 452 | 537 | 628 | 708 | 777 | 924 | 1028 | 1199 | 1274 |
| 特別支援 学級数 | 154 | 172 | 194 | 220 | 230 | 240 | 259 | 276 | 299 | 308 |
| 支援員数 | 83 | 91 | 118 | 119 | 120 | 120 | 120 | 125 | 130 | 140 |

※R5 特別支援学級在籍児童生徒数及び特別支援学級数は見込み数

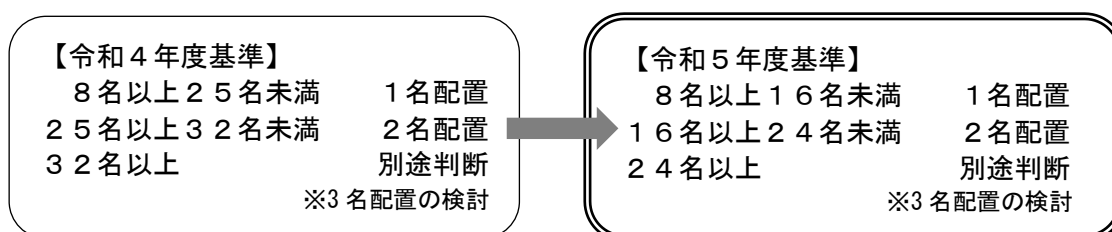
エ 支援員を対象とした研修会の実施

- ・目的 個別の教育的支援の充実と教育活動の円滑化を図るために特別支援教育支援員を対象に毎年2回、研修会を実施している。
- ・内容 専門家及び教育委員会指導主事等による講義や演習、支援員同士の情報交換

オ 支援員の配置基準

- ・医療的ケアを必要とする児童生徒や障害の程度が特別支援学校相当と判断された児童生徒が在籍する場合
- ・知的障害特別支援学級においては、在籍児童生徒が6人以上の場合
- ・肢体不自由及び病弱学級児童生徒への支援・介助や特別支援学級及び通常学級在籍児童生徒の危険行為への対応を要する場合。
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級においては、児童生徒の障害の実態によりその必要性を認める場合。

【自閉症・情緒障害特別支援学級における配置基準の見直し】



カ 期待される効果

- ・日常生活における身辺自立の向上。
- ・感覚過敏や特性に配慮を行うことにより、児童生徒の注意集中の持続が長くなり、成功体験が増える。（失敗体験の減少）
- ・衝動的な行動を予防し、周囲とのトラブルを未然に防ぐことができる。
- ・複数児童生徒の指導を行う担任だけではできなかった細やかな介助や支援と安全性の確保が可能となり、参加できる活動が増え、保護者の安心感が高まる。

(2) 巡回相談の実施 (1,244千円)

発達障害等に関する大学等の専門家及び特別支援学校の教員を派遣することにより、発達障害を含む障害のある児童生徒の早期発見及び早期対応を図る。

- ・大学等の専門家（実施回数 年間80回、1回3時間、5,000円×3時間=15,000円）
- ・特別支援学校の教員（実施回数 年間350回、1回3時間※市の支出は交通費のみ）

(3) 早期支援コーディネーターの配置 (8,185千円)

小学校への入学に際し、発達障害を含む障害のある幼児が、それぞれの障害や特性に合わせた教育を継続できるよう、保護者や関係機関などと連携を図りながら指導上必要な情報集約を行い、その情報を確実に就学先に引き継ぐとともに、子どもたち一人ひとりを系統的に支援してつためのサポートファイルの活用を充実させることを目的として、早期支援コーディネーター3人を配置する。

(4) 特別支援に関する研修会の実施 (88 千円)

特別な支援を必要とする児童生徒に関わる教職員が、特別支援教育に関する基本的な知識や指導の在り方等を習得するための研修会を実施する。

- ・ 特別支援教育に関する研修会 (4 回実施)

(5) 特別支援教育交流会の実施 (750 千円)

児童生徒の相互交流や共同学習をとおして、相互理解を図る。

- ・ 小学校中学校特別支援学級交歓会
- ・ 地域交流推進事業 (小学校)
- ・ 学習発表会展示会、ふれあい体験学習 (中学校)

(6) 教育支援委員会の実施 (822 千円)

障害のある就学児や教育上特別な配慮を必要とする児童生徒の適切な就学措置について調査及び審議するため、長崎市附属機関に関する条例に基づき設置された機関であり、小児科、眼科、耳鼻科、整形外科、精神科の医師、また、教育学、心理学が専門の学識経験者、障害者団体・親の会代表、障害者センター職員、教職員など障害児の教育に関する専門家計 14 人によって構成する。

- ・ 10 月～1 月、6 回実施

※上記以外に事務経費 468 千円

3 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|---------|---------|------|-----|-------|---------|
| | 国庫支出金※1 | 県支出金 | 地方債 | その他※2 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 271,098 | 9,645 | — | — | 1,361 | 260,092 |

※1 教育支援体制整備事業費補助金 (補助率 1/3)

※2 保険料個人負担金

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|-------------|-----|--------|-------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 266～ 267 | 10 教育費 | 1 教育総務費 | 3 教育研究所費 | 1-3 | 不登校対策費 | 千円 6,536 |

1 概 要

不登校児童生徒に対して、個別及び小集団による相談指導を行うことにより、学校生活への復帰を目指し、集団生活への適応能力の回復・育成を図る。

不登校児童生徒に適切に対応できるよう、教職員に対する教育相談に関する研修、保護者に対して専門相談員による相談会を実施する。

2 事業内容

(1) 「長崎市適応指導教室『ひかり』」の運営 (5,721千円)

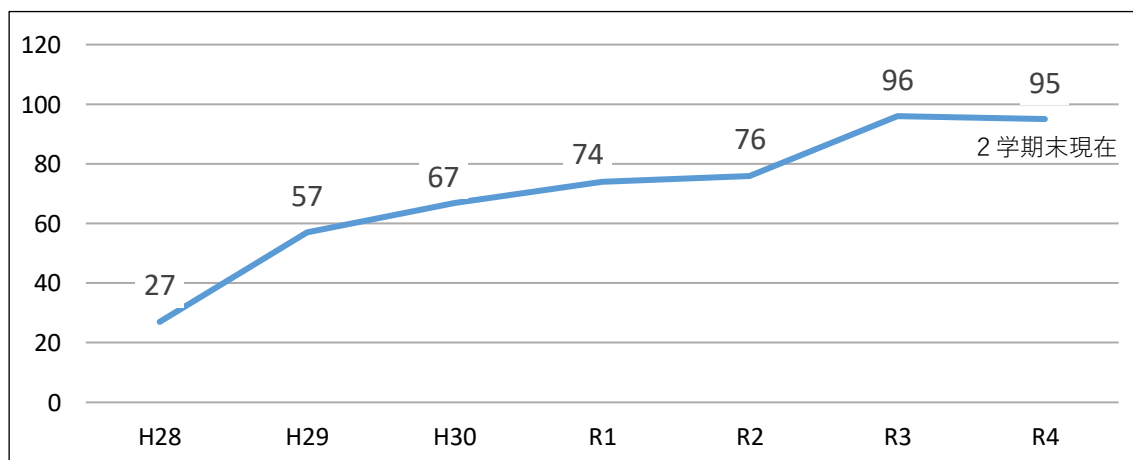
ア 設置の目的

不登校児童生徒に対して集団と個別での相談・指導を行いながら、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立に向けた力を育む。

イ 指導期間

- ・開級式を始業式後の適日、閉級式を終業式（修了式）前の適日とし、その期間の月曜日～金曜日（休日を除く）に指導する。
- ・学校行事等で土曜日、日曜日が授業となった場合については、指導日としない。
- ・振替休日に本人からの希望があった際は、指導することがある。
- ・夏休みや冬休み、春休みの指導は原則行わないが、児童生徒の状況によっては指導することがある。

ウ 令和4年度の通級状況（令和4年度12月末現在）



エ 適応指導教室指導員の配置

適応指導教室を円滑に運営するため、適応指導教室指導員を2名配置する。

(業務内容)

- ・児童生徒の状態及び回復の状況に応じて、学校復帰をはじめとする社会的自立に向けたエネルギーや集団生活に適應する力を蓄える支援を行う。
- ・基礎学力の補充及び生活習慣の改善のための指導及び相談を行う。
- ・体験学習や作業学習の指導を行い、通級生の生活経験を広げるとともに、望ましい人間関係の育成及び社会生活に積極的に参加しようとする意欲を醸成する。
- ・通級困難な児童生徒に対し、オンラインや家庭訪問などによる相談支援を行う。

(任用の要件)

- ・教員免許状を有する者。
- ・臨床心理士等、心理学の資格を有する者。
- ・指導員としての職務を遂行する能力を有すると認められる者。

(2) 不登校等カウンセリング事業の実施 (245 千円)

ア 事業内容

いじめ・不登校・問題行動等に悩む児童生徒の在籍校の教職員・保護者及び本人が直接、専門相談員から指導・援助を受け、児童生徒の支援に臨む資質を高めることを目的として、保護者座談会や教職員の研修会を実施する。

【令和4年度実績】(令和4年12月末現在)

- ・教育研究所保護者座談会 (回数：12回予定 参加人数：46人)
- ・不登校に関する研修会 (回数：2回 参加人数：90人)

(3) 学校サポーターの配置 (560 千円)

ア 事業内容

長崎市適応指導教室から離れた場所にある小・中学校6校及び別室登校者が多数ある2校を拠点校として指定し、教室や学校に入ることができない児童生徒に対する支援の充実を図ることを目的とし、学校サポーターを8名配置する。

イ 対象

小学校4校、中学校4校、1校あたり年間70日(1日あたり2時間程度)

※上記以外に事務経費 10 千円

3 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|-------|-------|--------|-----|-------|-------|
| | 国庫支出金 | 県支出金※1 | 地方債 | その他※2 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 6,536 | — | 300 | — | 26 | 6,210 |

※1 未来へつなぐ「確かな一歩」推進事業補助金(補助率1/2)

※2 保険料個人負担金

新たな不登校支援の推進[R5～] 「居場所・つながる・学ぶ」

長崎市の不登校児童生徒数は、全国と同様に増加傾向が続いており、喫緊の教育課題である。

これまで本市においては、不登校支援として、「魅力ある学校づくり」をはじめ、「学校相談員の配置」「適応指導教室での支援」「フリースクール等との連携」などの取組を推進してきた。

このような中、「教室には入れないが学校には登校できる」いわゆる別室登校の児童生徒や、「学校にも適応指導教室等にも通うことができない」児童生徒に対する支援については、特に新たな方策を要する課題であると捉えている。

そこで、別室登校児童生徒支援やアウトリーチ型支援に係る取組の重点的な研究実践を行うことで、本市における不登校支援の充実を図り、児童生徒の社会的自立に向けた力をより一層育んでいきたい。

※ が新たな不登校支援

「つながる・学ぶ」
～アウトリーチ型支援～

②市適応指導教室指導員の拡充
適応指導教室の充実(通級者増加の対応を含む)を図るとともに、通級が困難な児童生徒に対して、家庭訪問やオンライン交流等の支援を行う。
・適応指導教室指導員1名から2名体制へ



- ・教育相談
- ・保護者座談会

- ・SSWによる環境支援(関係機関との接続、支援)



- ・情報共有

「居場所・学ぶ」

～別室登校児童生徒支援～

①校内等適応指導教室の開設
市適応指導教室(市民会館)から離れた場所にある小・中学校6校及び別室登校者が多数ある2校に対し、不登校支援サポーターを配置し、教室や学校に入れられない児童生徒に対する支援の充実を図る。

- ・学校サポーターとして8名配置



- ・SSW 派遣、SC 派遣(学校教育課)
- ・適応指導教室
- ・教育相談
- ・情報共有
- ・各種研修会

- ・連携協議会
- ・情報共有

- ・魅力ある学校づくり
- ・学校相談員の配置
- ・早期支援と組織的な対応
- ・教育相談コーディネーター等による教育相談
- ・不登校対策委員会
- ・1人1台PCの活用



- ・情報共有

- ・教育相談、家庭訪問
- ・家庭との連携、支援



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|----------|-----------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 268～ 269 | 10 教育費 | 1 教育総務費 | 5 教育諸費 | 1-2 | 学校運営協議会費 | 千円 816 |

1 概 要

学校、保護者、地域住民が協働し、地域や学校の実態に応じた「地域とともにある学校」づくりを行うために、令和4年度までは「三重小学校」「横尾小学校」「青潮学園（野母崎小中学校）」の3校に学校運営協議会を設置。平成30年度からモデル校として、本格実施に向けての研究準備を進めてきた。令和5年度は、新規で希望している3校に設置する予定である。

2 事業内容

(1) 学校運営協議会

| | |
|-------|-------------------------------|
| ア 事業費 | 816 千円 |
| 報酬 | 720 千円 (2,000 円×15 人×6 校×4 回) |
| 報償費 | 10 千円 (10,000 円×1 人) |
| 交通費 | 60 千円 (10,000 円×6 校) |
| 郵送費 | 16 千円 (84 円×15 人×6 校×2 往復) |
| 会場借上料 | 10 千円 (委員研修用) |

イ 業務内容

学校運営協議会において、校長が作成する学校運営の基本方針の承認や、学校運営に関する意見の提示を行う。

- ・ 委 員：保護者代表、地域住民（自治会長、民生委員 等）等
- ・ 実施校：三重小学校、横尾小学校、青潮学園（野母崎小中学校）
- ・ 新規予定校：3校（小島小学校、長浦小学校、横尾中学校）

3 財源内訳

| 事 業 費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-----------|-----------|---------|---------|---------|-----------|
| | 国庫支出金※ | 県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 千円 816 | 千円 272 | 千円 - | 千円 - | 千円 - | 千円 544 |

※ 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（補助率 1/3）

学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)

H29.4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正によって「学校運営協議会」の設置が教育委員会に対する努力義務となる

「学校運営協議会」：学校運営協議会制度を用いた学校、保護者、地域、関係組織の代表者等で構成される「学校を支援する協議会」



持続可能性：校長などの教職員の移動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続

社会総がかり：学校の課題や地域でどのような子供を育てていくか等の目標・ビジョンを「地域で共有」

協働・連携：学校や地域、子供たちが抱える課題に対して、関係者が「当事者意識」をもち、役割分担をもって「連携・協働」

学校と地域の「連携・協働」をより一層図り、地域の創意工夫を生かした「特色ある学校づくり」の実現

○ 子どもの「生きる力」の育成

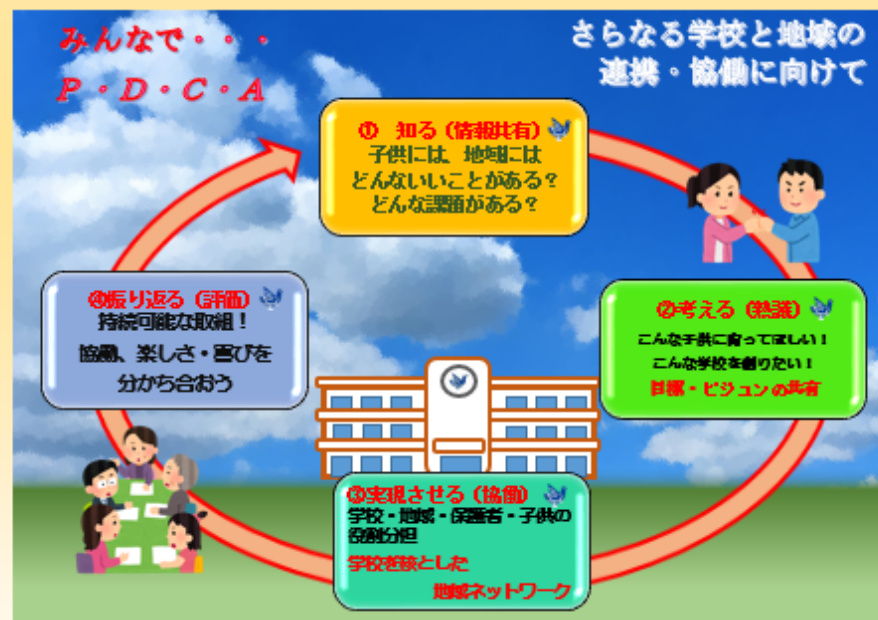
- ☆ 「社会に開かれた教育課程」
- ☆ 予測困難な時代を「生き抜く力」の育成
- ☆ 複雑・困難化する課題に地域一体でアプローチ

○ 学校を核とした地域づくり

- ☆ 少子高齢化の受け止める地域づくり
- ☆ 地域活性化、地域住民の生きがい創出
- ☆ 地域を担う人材育成

○ コミュニティ・スクールの権限

- ☆ 学校運営の基本方針の承認
- ☆ 学校運営に関する意見



「地域とともにある学校づくり」

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度を導入した学校)

(委員) 保護者代表・地域住民
地域学校協働活動推進委員など



(学校運営協議会)

学校運営や必要な支揃に関する協議

協議の結果に関する
情報提供の努力義務



校長



説明

承認

説明

意見

学校運営の基本方針

学校運営・教育活動

意見

情報提供・協議を
踏まえた支援活動

保護者・地域住民等



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|---------|--------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 268～ 269 | 10 教育費 | 1 教育総務費 | 5 教育諸費 | 1-6 | 学力向上推進費 | 千円 10,753 |

1 概 要

全国学力・学習状況調査及び長崎県学力調査と合わせて、長崎市立の小中学校において小学校3、4年生と中学校1年生の学力テストを実施することで、小学校3年から中学校3年までの7か年に渡り、児童生徒の学力の状況を把握する。このことにより、小学校低学年での学力を客観的に測り、早い段階から個々の児童生徒の課題に沿った細やかな学習指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図る。また、中学校2年生には「英検I B A」（英語能力測定テスト）を実施し、英検3級相当の英語力定着を図る。さらに、教科指導等の研修会開催や研究指定を行い、教師の指導力向上をめざす。

2 事業内容

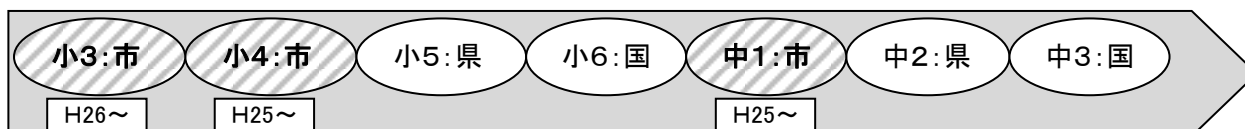
(1) 小3・4、中1標準学力調査（国語、算数・数学）

ア 事業費 7,072 千円

@380 円×2 教科×児童生徒数分 9,304 人

イ 業務内容

- ・長崎市立のすべての小学校3、4年生と中学校1年生に対して、国語と算数・数学の標準学力調査を実施する。
- ・全国学力・学習状況調査（小6・中3）、長崎県学力調査（小5・中2）と、合わせて市の学力調査が相互に補完することで、小学校3年生から中学校3年生までの7か年に渡り、児童生徒の学力の細やかな把握や経年比較が可能となる。このことにより、個々の児童生徒の課題に沿った細やかな学習指導を行うとともに、小中連携の強化により、継続した学力向上に努める。



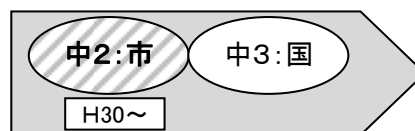
(2) 中2、英検 I B A (英語)

ア 事業費 1,364 千円

@500 円×生徒数分 2,728 人

イ 業務内容

- ・英語によるコミュニケーション能力の育成及び国が求める英検3級相当の英語力定着の達成を図るため、英語能力測定テスト「英検 I B A」を中学2年生で実施する。
- ・英語力の到達状況や客観的なデータを各生徒に提示することで、生徒たちの課題改善や学習意欲の向上、その後の積極的な英検受験につなげる。また、実施後に提供される英検級レベル別人数分布や技能別正答率、不得意分野の分析資料等を教職員の授業改善のための資料として有効活用し、教職員の指導力向上を図る。



※ H26～29 まで実施の NRT 調査を英検 IBA に変更

(3) 市研究指定

ア 事業費 1,277 千円

市研究指定 280 千円 (70,000 円×4 校)

研究部会研究費 997 千円 (幼2部会・小18部会・中22部会・高1部会)

イ 業務内容

指導法の改善や教職員の資質向上のため、各種研修会や研究指定を実施する。

(4) 県研究指定

ア 事業費 1,040 千円

県研究指定 (185,000 円×4 校 300,000 円×1 校)

イ 業務内容

県教育委員会の委託を受け、指定校において指導法の改善等の研究を実施する。

3 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-------|--------|-----|-------|-------|
| | 国庫支出金 | 県支出金※1 | 地方債 | その他※2 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 10,753 | — | 1,040 | — | 1,364 | 8,349 |

※1 長崎県教育委員会公募制研究指定校事業委託金(740千円)、
ふるさとの新たな魅力を創出するキャリア教育実践事業委託金(300千円)

※2 教育基金繰入金

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|-----------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 268～ 269 | 10 教育費 | 1 教育総務費 | 5 教育諸費 | 1-7 | 国際理解教育推進費 | 千円 206,934 |

1 概 要

国際化が進むこれからの時代にふさわしく、様々な国の人と共に生きる豊かな心を育てるため、自国の文化や伝統を大切にすると共に、他国の歴史や文化について理解を深め、自ら進んで外国人と交流しようとする国際感覚豊かな子どもを育成するために国際理解教育の推進を図る。

2 事業内容

(1) 小中9年間を通じた英語教育の推進

ア 事業費 205,313 千円

| | |
|----------------------|------------|
| ALT 等人件費 | 172,495 千円 |
| ALT の住居借上に伴う家賃・共益費等 | 15,396 千円 |
| ALT の帰国・来日に伴う旅費・負担金等 | 8,504 千円 |
| EI 謝礼金等 | 8,655 千円 |
| その他消耗品費等 | 263 千円 |

イ 業務内容 JETプログラムで招致した36人の外国語指導助手（ALT）を市立全小中学校に、市内在住の英語が話せる小学校英語インストラクター（EEI）を市立小学校57校に派遣し、児童生徒に生の英語に触れさせ、英語に対する興味を高めさせる。ALTは、「スピーチコンテスト」や「グローバルリーダー研修会」、「イングリッシュキャンプ（日吉自然の家）」「英語でNAGASAKIめぐり（生涯学習課）」「子どもゆめ体験（国際課）」等の運営や指導も行っている。

(2) あじさいグローバルリーダー研修会

ア 事業費 253 千円

| | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 謝礼金 | 10 千円 | 船車券 | 141 千円 |
| 会場借上料 | 50 千円 | その他旅費等 | 52 千円 |

イ 業務内容 学校から代表者2名ずつを集め、2日間の研修を通して、ふるさと長崎の国際理解教育を推進するリーダーを育成し、グローバルな視点を身に付けさせるとともに、国際的視野に立って地元を活性化させようとする若者の育成につなげる。

- ・ 班別研修（道案内・名所説明の模擬体験）
- ・ フィールドワーク（長崎の観光地の道案内・名所説明の実地体験）
- ・ 班別研修（おもてなし英会話集の作成・研修会のまとめ）

(3) スピーチコンテストの実施

- ア 事業費 162 千円(審査員謝礼金 32 千円、消耗品費 80 千円、会場借上料 50 千円)
- イ 業務内容 学校代表者の中から一次審査を通った生徒による英語スピーチコンテストを実施し、ふるさと長崎について発信する機会をもつことで、英語で自分の考えを伝える態度や表現力を育成するとともに、国際舞台で活躍する人材の育成に努める。

(4) 国際交流イベントの実施

- ア 事業費 52 千円(消耗品費 50 千円、茶菓費 2 千円)
- イ 業務内容 グラバー園や出島、ブリックホール、日吉自然の家などの施設を利用し、外国語指導助手(ALT)と児童生徒が触れ合う国際交流イベントを開催する。
- ・国際交流イベント
 - 「あじさい English Day～5G Go Go Go Glover Garden～(学校教育課)」
 - 「あじさいイングリッシュ・デー(国際課)」
 - 「子どもゆめ体験(国際課)」
 - 「イングリッシュキャンプ(日吉自然の家)」
 - 「英語でNAGASAKIめぐり(生涯学習課)」

(5) 中学校英語寺子屋事業の実施

- ア 事業費 369 千円(謝礼金)
- イ 業務内容 市が求める温かなコミュニケーション能力と、国が求める英語力(英検3級程度)の育成を図るため中学校にEEIを派遣し、おもてなし英語講座や学力向上講座が提供される「英語寺子屋」を長期休業中や放課後に展開する。
- H29:21校 H30:24校 H31:24校 R2:16校 R3:12校 R4:15校

(6) 中国福州市友好交流事業の実施

- ア 事業費 715 千円
- 学校交流訪問派遣(生徒2名・引率教員1名) 565 千円
- 交流事業講師謝礼金 20 千円、消耗品 70 千円・通信費 10 千円
- バス借上料 50 千円
- イ 業務内容 長崎商業高校と福州外国語学校、長崎市立三重中学校と福州第十九中学が友好学校協議書を交わし、オンラインやメールを通して、学校間交流を継続している。

※上記以外に事務経費 70 千円

3 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|---------|-------|--------|-----|--------|---------|
| | 国庫支出金 | 県支出金※1 | 地方債 | その他※2 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 206,934 | — | 184 | — | 16,497 | 190,253 |

※1 学力向上のための非常勤講師等配置支援事業補助金（補助率 1/2）

※2 宿舍借上料負担金等

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|-------------|--------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 268～ 269 | 10 教育費 | 1 教育総務費 | 5 教育諸費 | 1-8 | キャリア教育推進事業費 | 千円 20,252 |

1 概 要

未来の長崎のまちを支える担い手である児童生徒に対し、長崎市版キャリア教育「長崎LOVERS育成プログラム」の下、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を養うだけでなく、長崎のまちを愛する気持ちとそれを行動に移す力やグローバルな視点を身に付ける取組みを行う。

2 事業内容

(1) 職業講話の実施

ア 事業費 1,680千円（講師謝礼金 4,000円×4人×小・中105校）

イ 業務内容

地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を、長崎市立小・中学校に招聘し、職業講話や体験活動を通して交流を深める。児童生徒が夢や憧れを抱き、志を高める学習の充実を目指す。

ウ 講師派遣数 全小学校で272人 全中学校で148人 計420人

登録制の外部講師リストを作成し、長崎市立学校に提供し、講師の選定に活用させる。

また、オンラインにより複数校参加の講話に積極的に対応していく。

(2) 弁護士による法教育講座

ア 事業費 430千円（講師謝礼金 10,000円×弁護士1人×小・中43校）

イ 業務内容

公職選挙法の一部改正に伴う法教育の充実や、児童生徒が社会の課題を自らの課題として捉え、改善に向かっていこうとする態度を育成するため、弁護士を講師とした法教育や模擬選挙等の主権者教育を推進する。

ウ 実施校数 小・中43校

社会科等の授業と関連付けた法教育の充実を希望する学校で講座を実施する。

(3) 市立学校間ふれあい交流学習

ア 事業費 706千円（交通費：船車券購入費158千円、自動車借上料548千円）

イ 業務内容

学校規模や小・中の校種の違う学校の児童生徒が「少人数だからこそ」「大人数だからこそ」といった自らの強みや弱みを分析しながら、特長を伸ばすとともに、課題改善のための方策を考え、対話によって交流する学習を通して、コミュニケーション能力や課題解決の能力の向上を目指す。

ウ 対象校 極小規模校と近隣にある小・中学校

実施予定校：高島小・中、西坂小、池島小・中、伊王島小・中、南小、西浦上小（小学校6校、中学校3校）

(4) 宿泊体験推進事業

ア 事業費 14,094 千円 (自動車借上料 9,130 千円 船車券購入費 13 千円
体験業務委託料 4,161 千円 消耗品費 260 千円
備品購入費 240 千円 その他 290 千円)

イ 業務内容

日吉自然の家での集団宿泊活動に加えて、長崎ならではの農業・水産業に関する体験や長崎市恐竜博物館の見学などにより、豊かな人間性や社会性を育み、あわせてふるさとのよさを実感し、長崎を愛し、誇りを持たせる。

ウ 対象 全ての市立小学校の5年生

(5) 「長崎の宝」発見発信学習

ア 事業費 2,811 千円 (講師謝礼金 240 千円 業務委託料 2,211 千円
自動車借上料 360 千円)

イ 業務内容

長崎の歴史や世界遺産等を学習する活動を通して、ふるさとのよさを実感し、長崎を愛し、誇りを持たせる。

○ジュニア版歴史学校コース (講師招へいによる事業が基本)

長崎市立小学校で、長崎歴史文化博物館見学や市内の史跡めぐりなど、長崎の歴史を知るための学習活動を行う。

○世界遺産発見コース (講師招へいによる事業が基本)

長崎市立中学校で、グラバー園、小菅修船場跡、ジャイアントカンチレバークレーン、教会群など、長崎にある世界遺産を知るための学習活動を行う。

○長崎 LOVERS 育成コース

長崎市立長崎商業高校を対象に、長崎市内の歴史を深く学び、卓袱料理など長崎の文化を体験する学習を行う。

ウ 対象校 実施希望調査を行い、調整して実施校を決定する。
(小学校 13 校程度、中学校 7 校程度)

(6) 生徒会リーダー研修

ア 事業費 258 千円 (船車券購入費 160 千円 自動車借上料 64 千円
食糧費 34 千円)

イ 業務内容

長崎市立中学校の生徒会長等のリーダーを集め、いわき市との交流や中学生議會を体験させる。このような体験を通して、長崎の中学生のリーダーとしての意識を高め、各学校での「いじめ防止」や長崎のまちづくりの当事者としての意識を高める。

ウ 対象 全ての市立中学校の生徒会役員 (生徒会長・副会長等) 各 2 人

(7) まちづくりアイデアコンテスト

ア 事業費 273 千円 (消耗品費 133 千円 印刷製本費 132 千円
会場借上料 8 千円)

イ 業務内容

子どもたちの社会参画への意欲を高めるため、長崎市内の小学校に通う小学生に、未来のまちづくりについて考えたアイデアを市長に提案させ、優秀な作品については表彰を行う。

ウ 対象 小学 5・6 年生

身近なものから課題をみつけ、改善のために実現可能な方策を考えることができる発達段階にある小学 5・6 年生を対象に、総合的な学習の時間等、各小学校

の教育課程に位置づけて学習を積み重ねた「私が考える未来の長崎市」を提案させる。

エ 表彰 優秀賞20作品 佳作110作品 計130作品

優秀賞を受賞した20人は、令和5年11月（予定）の発表会においてプレゼンテーションを行い、市長に提案する。

3 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|--------------|---------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他※ | 一般財源 |
| 千円 20,252 | 千円 - | 千円 - | 千円 - | 千円 20,252 | 千円 - |

※教育基金繰入金(19,987千円)、伝習所基金繰入金(265千円)

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|-----------|------|----------|--------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 268～ 269 | 10 教育費 | 1 教育総務費 | 5 教育諸費 | 1-11 | 課外クラブ活動費 | 千円 17,308 |

1 概 要

中学校の部活動における実技指導や大会引率等を行う部活動指導員を配置するとともに、児童生徒の体力や技術の向上並びに健全育成に寄与するため、小中学校の課外クラブに対して課外クラブサポーターを配置する。

また、中学校の休日部活動を段階的に地域に移行していくため、関係機関との連絡調整や指導助言を行う総括コーディネーターを配置する。

2 休日部活動の地域移行に係る背景

近年の少子化により中学校の生徒数が減少し、部活動の持続可能性という面で厳しさを増しており、生徒が希望する部活動に参加できない、チームが組めずに大会やコンクールに出場できないといった問題が生じている。

一方、教職員数の減少に伴い、部活動に係る教職員の勤務時間が増加し、また、担当部活動の競技経験がない教職員の割合が高い状況となっている。

こうした中、令和4年度には、部活動の地域移行に関する検討会議の提言を受け、国において、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間と位置付け、休日の中学校部活動を段階的に地域に移行していく方針が示された。

3 長崎市における中学校部活動の実態と地域移行の考え方

(1) 部活動の状況

現在、長崎市には36中学校に約8,400人の生徒が在籍しており、そのうち約75%の生徒が約350の部活動に加入している。その中には、部員が少なく、大会やコンクールに参加できない部や休部または廃部の危機に直面している部もある。

(2) 地域移行に対する課題

これまで顧問として指導してきた教職員に代わる新たな指導者が必要となるが、現状において指導者が不足、または偏在しているため、新たな指導者を掘り起こす必要がある。

(3) 指導者の候補

- ア 部活動指導員
- イ 課外クラブサポーター
- ウ 地域人材
- エ 教職員（兼職兼業）
- オ 保護者、大学生、統合型地域スポーツクラブ、プロスポーツクラブなど

(4) 目指す姿

各学校単位での活動を基本とする部活動から、学校の枠組みを超えて地域へ移行することで持続可能なものとする。少子化の中でも将来にわたり子どもたちがスポーツや文化活動に親しむことができる機会を確保し、子どもたちに多様な体験機会を提供する。

(5) 今後の方向性

- ア まずは休日の部活動から段階的に移行していくことを基本とする。
- イ 令和5年度以降、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す。
- ウ 運営主体となる受け皿が整い次第、移行できる地域、部活動から移行を進めていく。

4 事業内容

(1) 部活動指導員

- ア 業務内容 実技指導、安全・障害予防に関する知識・技能の指導、学校外での活動（大会・練習試合等）の引率、保護者等への連絡、年間・月間指導計画の作成などを行う。
- イ 配置人数 15人（中学校に配置）
- ウ 事業費 5,554千円
(報酬 5,006千円、共済費 20千円、旅費 498千円、需用費 30千円)

エ 部活動指導員のイメージ

部活動指導員は、部活動の顧問として技術的な指導を行うとともに、担当教諭等と日常的に指導内容や生徒の様子、事故が発生した場合の対応等について情報交換を行う等の連携を十分に図る。



(2) 総括コーディネーター

- ア 業務内容 休日部活動の地域移行を推進するため、競技団体や民間事業者、学校などの関係機関との連絡調整や指導助言を行う。
- イ 配置人数 1人（教育委員会事務局に配置）
- ウ 事業費 3,414千円
(報酬 2,450千円、職員手当等 319千円、共済費 529千円、旅費 116千円)

(3) 課外クラブサポーター

- ア 業務内容 部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。
- イ 配置人数 400人（小中学校に配置）
- ウ 事業費 8,340千円（報償費 8,340千円）

5 財源内訳

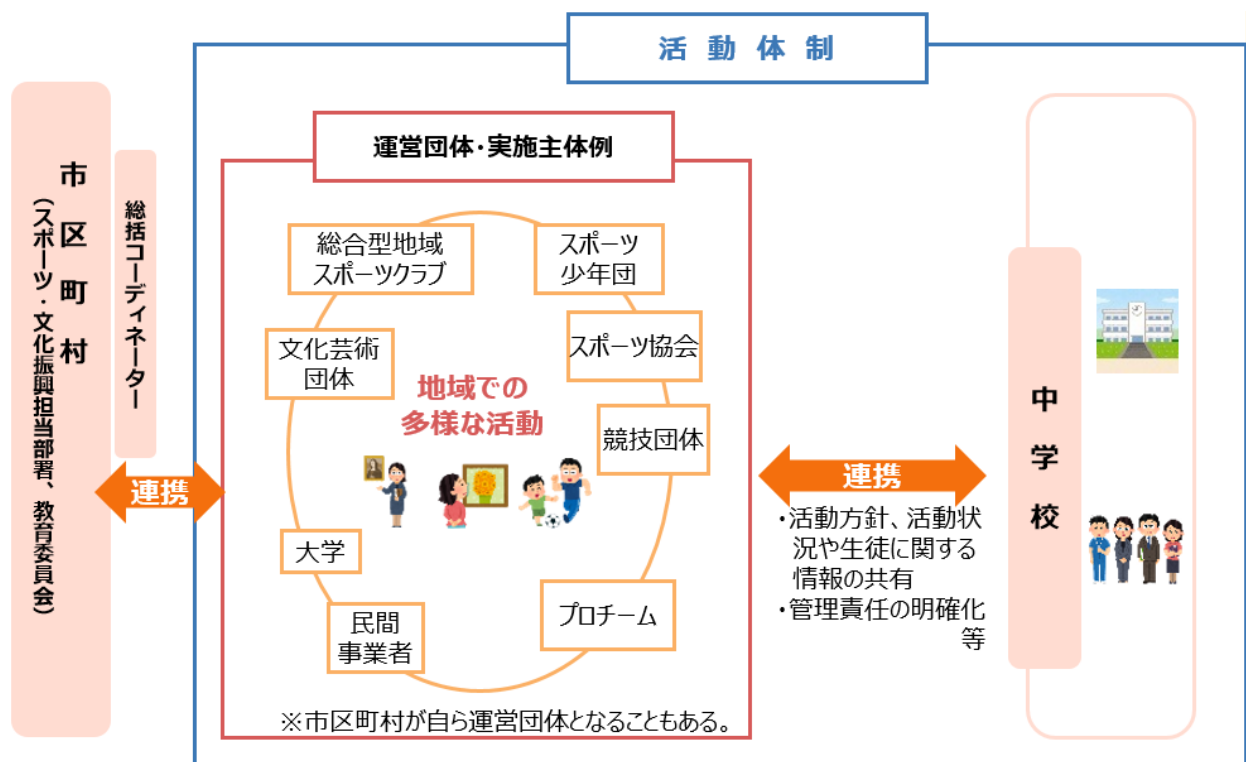
| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|--------------|-------------|-------------|---------|----------|--------------|
| | 国庫支出金 ※1 | 県支出金 ※2 | 地方債 | その他 ※3 | 一般財源 |
| 千円 17,308 | 千円 1,200 | 千円 3,336 | 千円 - | 千円 17 | 千円 12,755 |

※1 部活動の地域移行等に向けた実証事業費委託金

※2 部活動指導員配置事業費補助金（補助率 2/3）

※3 保険料個人負担金

【参考 部活動地域移行のイメージ】



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|----------------------------|-----------------------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 270～ 271 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 1 学校管理費 | 2-1 | 運 営 費 (うち、民間プール等活用に係る分) | 千円 291,116 (47,563千円) |
| 274～ 275 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 1 学校管理費 | 2-1 | 運 営 費 (うち、民間プール等活用に係る分) | 千円 128,261 (10,114千円) |
| | | | | | 合 計 (うち、民間プール等活用に係る分) | 千円 419,377 (57,677千円) |

1 概 要

学校プール施設の7割以上が耐用年数30年を経過している施設であることから、今後、施設の老朽化に伴い、一斉に建替や大規模改修の時期を迎えることが想定される。

また、プール授業の実施期間は6月から7月に限定されている一方で、多額の維持管理費用を要している。

そのような中で、令和3年度～4年度にかけて民間プール等を活用した学校プール授業をモデル的に実施したところ、受入施設が市内全小中学校を受け入れられる収容規模でなかったものの、児童生徒の泳力向上や教職員の負担軽減に繋がる等、概ね良好な結果が得られたことから、令和5年度より民間プール等の活用について本格的に実施するもの。

2 施設の現状等

(1) 学校施設の状況 (R4.4.1時点)

- ・自校プール施設数 89校 (小60校、中29校)
- ・プール経過年数

| 区 分 | 小 学 校 | 中 学 校 | 合 計 |
|---------|-------|-------|-----|
| 40年以上 | 33 | 14 | 47 |
| 30年～39年 | 15 | 5 | 20 |
| 20年～29年 | 4 | 9 | 13 |
| 19年以下 | 8 | 1 | 9 |
| 合計 | 60 | 29 | 89 |

※施設数 …小中一貫校・併設校は小学校で計上

※耐用年数…30年 (減価償却資産の耐用年数)

(2) プール整備・維持管理に係るコスト

| | フルコスト (30年) | 単年度 |
|-------------------|-----------------------------------------|-----------|
| プール整備・ 維持管理コスト | 125,709千円 (実負担) (建設費、大規模改修費、修繕料、水道代) | 4,190.3千円 |

3 事業の内容

(1) 対象校及び受入施設

【小学校】（計 25 校：継続 10 校、新規 15 校）

| No. | 民間プール等施設（受入先） | 学 校 | 事業費 | 導入状況 |
|-----|------------------|---------|-----------|----------|
| 1 | コナミスポーツクラブ | 福田小学校 | 4,354 千円 | R4 年度導入済 |
| 2 | | 西坂小学校 | 935 千円 | 新規 |
| 3 | 東長崎スイミングスクール | 日吉小中学校 | 1,072 千円 | R3 年度導入済 |
| 4 | | 小島小学校 | 5,740 千円 | 新規 |
| 5 | | 茂木小学校 | 3,487 千円 | 新規 |
| 6 | | 南小学校 | | |
| 7 | マリンスポーツセンター | 川原小学校 | 551 千円 | R4 年度導入済 |
| 8 | | 蚊焼小学校 | 697 千円 | 新規 |
| 9 | | 為石小学校 | 948 千円 | 新規 |
| 10 | スポーツクラブネサンス | 朝日小学校 | 1,304 千円 | R4 年度導入済 |
| 11 | | 銭座小学校 | 1,464 千円 | 新規 |
| 12 | なめしスイミングセンター | 三重小学校 | 3,707 千円 | R4 年度導入済 |
| 13 | | 横尾小学校 | 4,367 千円 | 新規 |
| 14 | | 長浦小学校 | 927 千円 | 新規 |
| 15 | スポーツクラブ NAS | 三原小学校 | 1,907 千円 | R4 年度導入済 |
| 16 | | 女の都小学校 | 1,350 千円 | R4 年度導入済 |
| 17 | | 虹が丘小学校 | 1,271 千円 | 新規 |
| 18 | ビートスイミングクラブ長崎プール | 西山台小学校 | 1,915 千円 | R3 年度導入済 |
| 19 | | 西町小学校 | 3,421 千円 | R4 年度導入済 |
| 20 | | 坂本小学校 | 2,184 千円 | 新規 |
| 21 | | 小江原小学校 | 1,818 千円 | 新規 |
| 22 | 市民総合プール | 西浦上小学校 | 2,540 千円 | R3 年度導入済 |
| 23 | | 城山小学校 | 1,000 千円 | 新規 |
| 24 | | 伊王島小中学校 | 302 千円 | 新規 |
| 25 | | 高島小中学校 | 302 千円 | 新規 |
| 計 | | | 47,563 千円 | |

【中学校】（計 7 校：継続 6 校、新規 1 校）

| No. | 民間プール等施設（受入先） | 学 校 | 事業費 | 導入状況 |
|-----|---------------|-------|-----------|----------|
| 1 | コナミスポーツクラブ | 大浦中学校 | 1,207 千円 | R3 年度導入済 |
| 2 | | 長崎中学校 | 1,537 千円 | R4 年度導入済 |
| 3 | 東長崎スイミングスクール | 茂木中学校 | 1,786 千円 | R4 年度導入済 |
| 4 | マリンスポーツセンター | 深堀中学校 | 786 千円 | R4 年度導入済 |
| 5 | スポーツクラブルネサンス | 丸尾中学校 | 1,294 千円 | R4 年度導入済 |
| 6 | なめしスイミングセンター | 横尾中学校 | 2,183 千円 | R4 年度導入済 |
| 7 | スポーツクラブ NAS | 三川中学校 | 1,321 千円 | 新規 |
| 計 | | | 10,114 千円 | |

※事業費…施設使用料、インストラクター費用及びバス借上料

4 財源内訳

| | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|------|--------------|---------|---------|------------------|---------|--------------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 小学校費 | 千円 47,563 | 千円 — | 千円 — | 千円 2,700 ※ | 千円 — | 千円 44,863 |
| 中学校費 | 千円 10,114 | 千円 — | 千円 — | 千円 — | 千円 — | 千円 10,114 |
| 合 計 | 千円 57,677 | 千円 — | 千円 — | 千円 2,700 | 千円 — | 千円 54,977 |

※過疎対策事業債（充当率：100% 交付税措置率：70%）

5 民間プール等を活用したカリキュラムのイメージ

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|-------|----------------------------------------------|------|----------------------------------------------|---------|----------------------------------------------|
| 8:25 | 朝の会等 | | | | |
| 8:35 | プールへの移動 | | プールへの移動 | | プールへの移動 |
| 9:00 | 更衣等 | 1校時 | 更衣等 | 1校時 | 更衣等 |
| 9:20 | プール授業 1・2年生 体育 3コマ相当 (更衣・準備等含む) | 休み時間 | プール授業 3・4年生 体育 3コマ相当 (更衣・準備等含む) | 休み時間 | プール授業 5・6年生 体育 3コマ相当 (更衣・準備等含む) |
| 9:25 | | 2校時 | | 2校時 | |
| 10:10 | | 休み時間 | | 休み時間 | |
| 10:30 | | 3校時 | | 3校時 | |
| 11:15 | | 休み時間 | | 休み時間 | |
| 11:20 | 更衣等 | | 更衣等 | | 更衣等 |
| 11:40 | 学校への移動 | 4校時 | 学校への移動 | 4校時 | 学校への移動 |
| 12:05 | 昼食・昼休み | | | | |
| 13:35 | 掃除 | | | | |
| 13:55 | 5校時 | 5校時 | 5校時 | 5校時 | 5校時 |
| 14:40 | 休み時間 | | 帰りの会・下校 | 休み時間 | |
| 14:45 | 6校時 | 6校時 | | 6校時 | 6校時 |
| 15:30 | 帰りの会・下校 | | | 帰りの会・下校 | |
| 15:45 | | | | | |

※上記スケジュールを3週分行うことで、各学年3コマ×3日の計9コマの水泳授業を確保する。

- ・ 民間プール等施設数
民間プール… 7 施設、公設プール… 3 施設

モデル事業の検証結果と本格実施について

【モデル事業の検証結果】

実施期間：令和3年度～4年度

対象校：令和3年度 4校（小学校 3校、中学校 1校）

令和4年度 16校（小学校 10校、中学校 6校）

（検証事項及び検証結果）

- 1 受入体制として、どの程度の児童生徒数（学校数）の受入が可能か
⇒受入施設が市内小中学校の児童生徒数に対して約30%の収容規模であり、市内の全小中学校を収容することが困難。
- 2 効率的・効果的なカリキュラムの編成が可能か
⇒能力別にグループ分けし、インストラクターからきめ細やかな指導を受けることで、これまで以上に技術の伸びが見られ、効率的・効果的な授業・評価を行うことができた。
- 3 児童生徒の安全・安心な移動手段・指導体制が確保できるか
⇒大型バスの乗り入れが難しい学校の交通手段の検討が必要。
指導体制は、プールサイドの監視員の見守りが増え、自校実施と比較して安全管理に配慮した体制が確保できた。
- 4 各学年の指導計画に沿った技能等の向上が期待できるか
⇒泳力が伸びた児童生徒が多く、特にプールが苦手な児童生徒ほど効果が見られた。
- 5 教職員の負担軽減につながるか
⇒プール清掃、日々の水質管理、設備の保守点検業務が不要となり、負担軽減につながった。また、監視員の見守りの目が増えたことで、精神的な負担軽減にもつながった。

以上、本モデル事業は学校運営に支障をきたすことなく、児童生徒の泳力向上や教職員の負担軽減などの教育環境の改善が図られるとともに、老朽化したプール施設の適正管理につながるものと判断できる。

このことにより、令和5年度より当該事業を本格的に実施するものとし、受入施設の収容規模に合わせて、学校選定に係る優先順位等を定めた上で運用する。

【本格実施について】

(1) 学校選定に係る優先順位

民間プール等を活用する学校は、施設までの移動時間が原則片道 20 分以内で可能な学校とし、次に示す優先順位に基づき、民間プール等の収容規模に応じて、選定していくものとする。

(優先順位)

- ① 将来廃止予定校、小規模校
- ② 大規模改造予定校
- ③ 改築予定校

※ただし、上記②、③において、対象校が比較的規模の大きい学校の場合、費用対効果の観点から、自校プールの大規模改造（又は改築）を実施したほうが有利となるケースについては、民間プール等の活用は行わず、従来どおり、自校プールを整備のうえプール授業を行うものとする。

(2) 民間プール等が利用できなくなった場合のリスク管理

学校プール授業を実施していた民間プール等で、何らかの事情により今後使用できない等の事態が発生した場合を想定して、次の要件に合致する学校については、予め自校プールを残し、万一の場合の代替利用として位置づける。

(自校プールを残す学校のエリア、学校数)

- ① 原則、中学校区単位で指定する。ただし、児童生徒の規模や統廃合予定校区によっては、隣接する校区を含めて指定する場合もある。
- ② 学校 1 校あたりの収容人数は、屋外プール利用期間（概ね 6 月 3 週目～9 月 2 週目）に、自校も含め 600～800 人程度とする。
そのため、児童生徒の規模が大きいエリアにおいては、同エリア内で複数校指定する場合がある。

(自校プールを残す学校)

- ① 上記(1) 学校選定に係る優先順位 ただし書きに該当する学校
(費用対効果の観点から、自校プールの大規模改造又は改築を実施したほうが有利と判断される学校)
- ② 大規模改造又は改築の計画はないが、適正規模校で今後も学校規模が比較的維持する見込みの学校
(将来にわたり、民間プール等を活用することによる費用対効果が見込まれないと想定される学校)

※ 自校プールを残す学校の指定については、民間プール等の受入規模の状況、少子化に伴う学校規模の縮小による費用対効果の変化など、今後の社会情勢の動向に合わせて適宜変更を加えていくものとする。

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----|----------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 270～ 271 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 1 学校管理費 | 2-4 | 教育ICT推進費 | 千円 174,214 |
| 274～ 275 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 1 学校管理費 | 2-4 | 教育ICT推進費 | 千円 106,268 |
| 276～ 279 | 10 教育費 | 4 高等学校費 | 2 学校管理費 | 1-4 | 教育ICT推進費 | 千円 21,965 |
| | | | | | 合 計 | 千円 302,447 |

1 概 要

国の「GIGA スクール構想」の下で1人1台学習者用パソコンの整備が完了し、本格的な活用フェイズに入る中、安定した通信環境や機器の整備、新たな技術に対する支援体制や教師の指導力向上のための研修の充実などの課題も顕在化してきた。これらの課題を解消し、ICT の普段使いによる教育活動の高度化を実現し、Society5.0 時代を生きぬく子どもを育む。

2 事業内容

(1) ICT 環境の整備・維持と教育活動高度化への対応

ア 学習者用パソコン故障・破損予備機購入

27,523 千円

(ア) 内容

学習者用パソコンの活用が日常的になり、自宅や学校外に持ち出す機会も増えるにつれ、予期せぬ破損や故障等が頻繁に起こっているため、その代替機として Chromebook を 434 台(小 303 台 中 131 台)購入する。(1台あたり、63,415 円)

(イ) 必要数(②-③= 434 台)

- ①これまでの故障・破損報告をもとにした令和4年度の故障・破損見込台数は、
故障台数 約 400 台 破損台数 約 200 台 合計 600 台
- ②令和5年度は年度初めから家庭への持ち帰り等も実施することから約 1.5 倍の 880 台
(故障 580 台 破損 300 台)と見込む
- ③令和5年度の前年度からの児童生徒数は 446 名減少見込みでこれも予備機となる。

イ リーディング DX スクール事業(文部科学省指定実践モデル校事業)

1,000 千円

(ア) 内容

1人1台学習者用パソコンとクラウド環境を活用した効果的な教育実践を創出・モデル化し、校種を超えて全国のモデル校や関連 OS 企業等と連携するなど横展開を図り、教育活動の高度化の実現に資する。

(イ) 対象地区

西泊中学校区(小榊小学校及び西泊中学校)

(ウ) 指定期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

文部科学省の指定研究は1年間だが、令和6年度も継続予定(同一校指定については未定)。

(エ) 実践内容(例)

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する観点から、令和の時代の文房具としての1人1台端末とクラウド環境を毎日、高い頻度で活用する。
- ・1人1台端末、グループウェア及びクラウド環境を活用した校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修の実施等に取り組む。
- ・外部講師を招聘した校内研修のオンラインライブ配信や日常的な授業等の公開を行う。

(2) 教員等への支援及び情報活用能力の育成指導強化

ア ICT 支援業務委託

69,290 千円

(ア) 内容

学校のICT化やプログラミング教育にかかる教職員の業務支援や授業支援を担うICT支援員、学校や家庭からの質問に対応するヘルプデスク等の業務を担うGIGAスクール運営支援員などを、業務委託により配置する。(ICT支援員6名、運営支援員6名)

(イ) 委託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(ウ) 履行場所 長崎市立小・中学校及び長崎商業高等学校

(エ) ICT支援員 6名

- ・プログラミング教育にかかる授業提案・授業準備支援・授業当日支援
- ・学習者用PC活用にかかる授業提案・授業準備補助・授業当日支援
- ・ホームページ作成・更新の支援
- ・授業支援アプリ管理補助
- ・Web会議システム等運用補助
- ・軽微なICT機器のメンテナンス・不具合対応

(オ) GIGAスクール運営支援員 6名

- ・マニュアルやガイドラインの作成
- ・教職員研修、保護者研修
- ・ICT機器のメンテナンス・不具合対応
- ・学習者用PCの台数調整
- ・電話・メール等でのサポート
- ・ICT支援員への研修及び人材確保

イ クラウド型フィルタリングソフト

8,636 千円

(ア) 内容

学校や家庭で学習者用パソコンを利用する際に、不適切なサイトへのアクセスを防いだり、利用できるコンテンツを制限したりすることができるクラウド型フィルタリングソフトの設定を長崎市立小・中学校へ行うことで、安心・安全に利用するネット環境を整える。

(イ) 契約期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(ウ) 設定内容

長崎市立小・中学校

- ・有害サイトへのアクセスを完全ブロック
- ・閲覧させたくないカテゴリを自由に選択
- ・YouTube 等動画制御

(平日 17時～8時 利用不可、土日及び長期休業期間は終日利用不可)

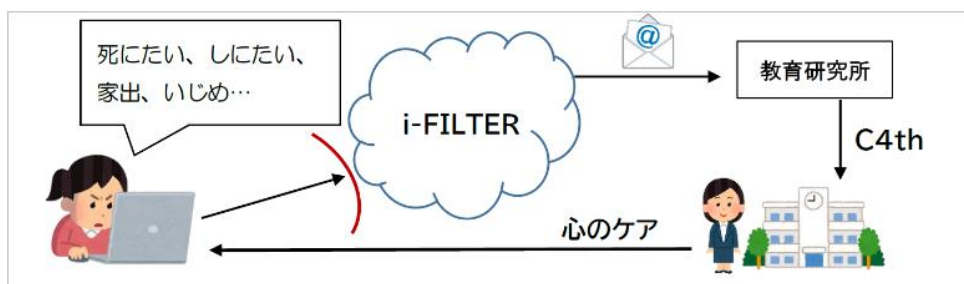
- ・インターネットの利用時間制御

(23時～5時 利用不可)

- ・自殺関連サイト等アクセス通知

- ・見守り機能通知

(「死にたい」、「家出」などの書き込みがあった場合のアラート機能等)



3 財源内訳

| | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-------|------------|-----------|------|-----|-----------|------------|
| | | 国庫支出金※1 | 県支出金 | 地方債 | その他※2 | 一般財源 |
| 小学校費 | 174,214 千円 | 12,868 千円 | - | - | 5,884 千円 | 155,462 千円 |
| 中学校費 | 106,268 千円 | 7,041 千円 | - | - | 2,753 千円 | 96,474 千円 |
| 高等学校費 | 21,965 千円 | 242 千円 | - | - | 13,101 千円 | 8,622 千円 |
| 合 計 | 302,447 千円 | 20,151 千円 | - | - | 21,738 千円 | 260,558 千円 |

※1 公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金(GIGA スクール運営支援センター整備事業)

補助率 1/2 17,651 千円

※1 リーディング DX スクール事業 補助率 10/10 1,000 千円

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独) 1,500 千円

※2 高等学校授業料(13,101 千円)、教育基金繰入金(8,637 千円)ほか

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|----------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 270～ 271 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 2 教育振興費 | 1-1 | 要保護及び準要保護 児童就学援助費 | 千円 275,168 |
| 274～ 275 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 2 教育振興費 | 1-1 | 要保護及び準要保護 生徒就学援助費 | 243,210 |

1 概 要

就学援助は、学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に学用品費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図るものである。

2 事業内容

| 費目 | | 支給単価 | | 小学校 | | 中学校 | |
|------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------|---------|---------|---------|
| | | | | 人数 | 予算額 | 人数 | 予算額 |
| 要 保 護 | 修学旅行費 | 実費額 | | 人 | 千円 | 人 | 千円 |
| | 医療費 | 実費額 | | 68 | 1,781 | 62 | 3,863 |
| | 小計 | | 45 | 909 | 18 | 521 | |
| | | | | 113 | 2,690 | 80 | 4,384 |
| 準 要 保 護 | 学用品費 通学用品費 | 1年生 | 小 @11,630円 中 @22,730円 | 631 | 7,339 | 699 | 15,889 |
| | | 1年生以外 | 小 @13,900円 中 @25,000円 | 3,187 | 44,299 | 1,364 | 34,100 |
| | 新入学用品費 (入学準備金) | 前年度支給済額 との差額分 | 小 @ 0円 中 @ 3,000円 | — | — | 699* | 2,097 |
| | | R5年度入学者 (入学後支給) | 小 @54,060円 中 @63,000円 | 189 | 10,217 | 83 | 5,229 |
| | | R6年度入学者 (入学前支給) | 小 @54,060円 中 @63,000円 | 423 | 22,868 | 654 | 41,202 |
| | 通学費 | 実費額 | | 67 | 2,956 | 60 | 5,483 |
| | 修学旅行費 | 実費額 | | 654 | 17,122 | 659 | 41,056 |
| | 体育実技用具費 | 実費額 | | — | — | 200 | 740 |
| | 校外活動費 | 実費額 (交通費・見学料) | | 2,372 | 1,929 | 333 | 304 |
| | 医療費 | 実費額 | | 661 | 4,694 | 225 | 2,025 |
| | 学校給食費 | 実費額 | | 3,806 | 159,092 | 2,039 | 89,461 |
| | オンライン 通信費 | 実費額 | | 150 | 1,551 | 100 | 1,034 |
| | 小計 | | | | 12,140 | 272,067 | 6,416 |
| 印刷製本費 | | | | | 411 | | 206 |
| 合計 | | | | 12,253 | 275,168 | 6,496 | 243,210 |

※差額分の人数は合計人数から除く

(参考) 準要保護認定率の推移

(単位：%)

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度※ |
|-----|--------|-------|-------|-------|--------|
| 小学校 | 20.9 | 20.0 | 19.8 | 20.5 | 19.7 |
| 中学校 | 20.9 | 20.9 | 21.0 | 21.3 | 21.0 |
| 全体 | 20.9 | 20.3 | 20.2 | 20.8 | 20.2 |

※最終認定率見込み

3 財源内訳

| 事業費 | | 財源内訳 | | | | |
|-----|---------|--------|------|-----|-----|---------|
| | | 国庫支出金※ | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 小 | 275,168 | 1,344 | — | — | — | 273,824 |
| 中 | 243,210 | 2,191 | — | — | — | 241,019 |

※ 要保護児童生徒援助費補助金 (補助率 1/2)

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------------|-----|-------------------------------|----------------------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 270～ 273 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 3 学校維持補 修費 | 1-1 | 校舎等維持補修費 (うち、鳴見台小仮設校舎に係る分) | 千円 258,304 (2,469千円) |

1 概 要

鳴見台小学校は、校区内の豊洋台団地への入居が進み、未就学児童の推移から将来的に学級数の増加に伴う教室不足が見込まれている。

このことから、教室不足へ対応するための仮設校舎を整備することで教育環境の改善を図る。

2 事業内容

令和6年度からの教室不足に備え、令和5年中に仮設校舎を整備する。

賃貸借期間：令和6年3月～令和12年3月

【仮設校舎の内容】

構 造：軽量鉄骨造2階建て

延床面積：約750㎡

整備諸室：普通教室6室、男女トイレ

(1) 学校規模（令和4年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

児童数 487人 学級数 20クラス（特別支援3クラス含む）

(2) 児童数・学級数の現状及び将来推計

【長崎県学級編成基準】

※平均入学率を加味、特別支援学級含む

(R4.5.1現在)

| 年 度 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童数 | 303人 | 318人 | 367人 | 364人 | 409人 | 441人 | 487人 |
| 学級数 | 13学級 | 16学級 | 16学級 | 16学級 | 15学級 | 19学級 | 20学級 |
| 保有教室数 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 |
| 過(▲)不足 | 8室 | 5室 | 5室 | 5室 | 6室 | 2室 | 1室 |

| 年 度 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童数 | 522人 | 555人 | 614人 | 634人 | 629人 | 621人 | 568人 |
| 学級数 | 23学級 | 24学級 | 26学級 | 27学級 | 27学級 | 26学級 | 24学級 |
| 保有教室数 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 | 21室 |
| 過(▲)不足 | ▲2室 | ▲3室 | ▲5室 | ▲6室 | ▲6室 | ▲5室 | ▲3室 |

※～R4年度は実績。

※R5年度の教室不足については既存校舎の内部改修にて対応。

※R6年度以降の教室不足を仮設校舎にて対応。

(3) 事業費内訳

| 区分 | 予算額（千円） | 内 容 |
|-----------|---------|-------------------|
| 仮設校舎（リース） | 2,469 | 仮設校舎賃貸借料（令和6年3月分） |
| 計 | 2,469 | |

3 スケジュール（予定）

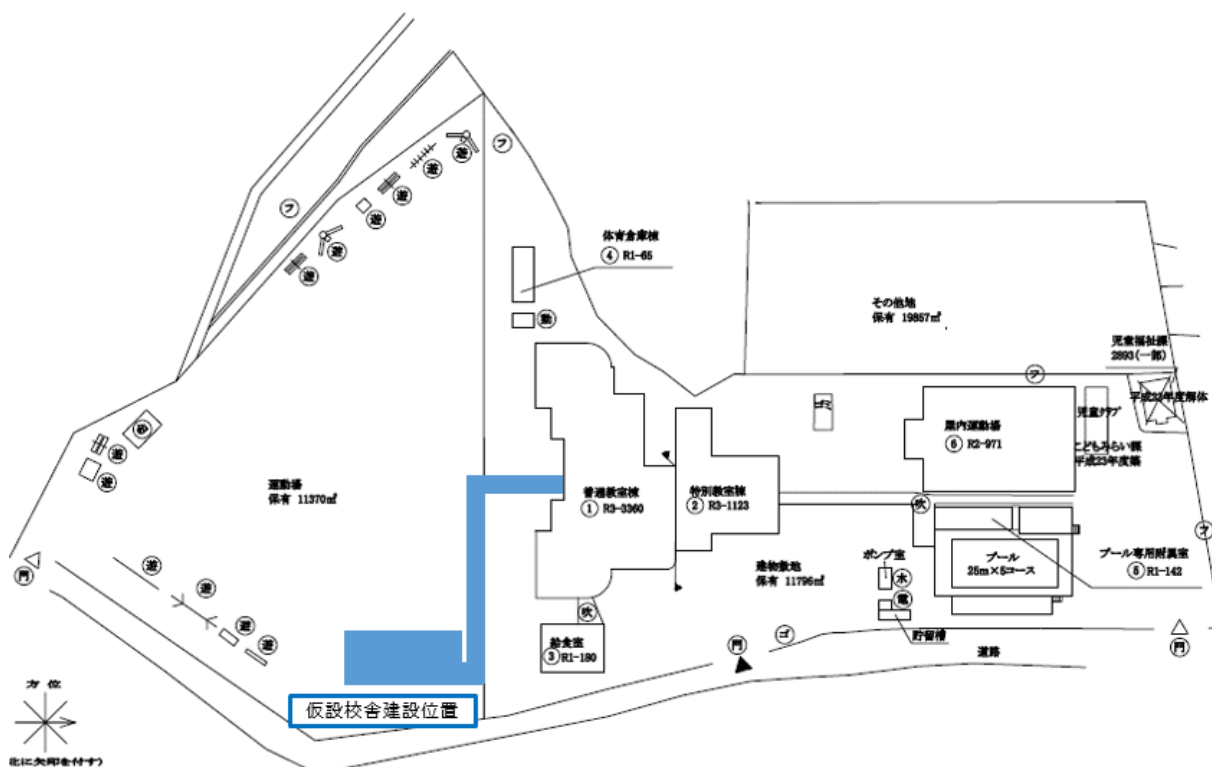
R5.8～R6.3 仮設校舎 設計・建設
 R6.3（春休み） 供用開始、備品等搬入
 ～R12.3 仮設校舎借入期間

4 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|-------------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 千円 2,469 | 千円 — | 千円 — | 千円 — | 千円 — | 千円 2,469 |

5 配置図等

配置図



仮設校舎の内容

構造：軽量鉄骨造2階建て

延床面積：約 750 ㎡

整備諸室：普通教室 6 室、男女トイレ

外観



教室内



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|---------------------------|-------------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 272～ 273 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 4 学校建設費 | 1-1 | 【補助】小学校整備事業費 西浦上小校舎等改築 | 千円 1, 193, 700 |

1 概 要

西浦上小学校は、最も古い校舎が建設から69年を経過していること、屋内運動場やプールについても老朽化が進んでいることから、全面的な建替えを行い、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

令和5年度は、令和4年度に引き続き仮設校舎での学校運営を行い、既存校舎等の解体を行う。解体工事完了後、新校舎等建設工事を行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和4年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

児童数 652人 学級数 26クラス（特別支援5クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計）

（R4.5.1現在）

| 年 度 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童数 | 622人 | 591人 | 578人 | 555人 | 529人 | 494人 | 461人 |
| 学級数 | 21学級 | 20学級 | 19学級 | 19学級 | 18学級 | 18学級 | 17学級 |

※平均入学率を加味

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

(2) 事業費内訳

| 区分 | 予算額（千円） | 内 容 |
|-----------|-----------|---------------------|
| 新校舎等建設工事 | 915,975 | 新校舎等建設に係る費用（前払金相当） |
| 解体工事 | 193,426 | 既存校舎等解体に係る費用（完成払相当） |
| 仮設校舎（リース） | 83,022 | 仮設校舎等の賃貸借費用 |
| 事務費 | 1,277 | 印刷製本費ほか |
| 計 | 1,193,700 | |

3 スケジュール（予定を含む）

| | |
|----------|---------------------------------|
| 平成 30 年度 | 耐力度調査、土質調査、登記測量 |
| 令和 元年度 | 石綿含有調査、剥離剤調査 |
| 令和2～3年度 | 基本実施設計（既存校舎等解体設計、仮設校舎設計含む） |
| 令和 3 年度 | 既存プール解体、仮設校舎建設 |
| 令和4～5年度 | 既存校舎等解体 |
| 令和5～6年度 | 新校舎等建設 |
| 令和 6 年度 | 太陽光発電設備設置 |
| 令和 7 年度 | 新校舎・屋内運動場供用開始（ <u>R7.4月予定</u> ） |
| 令和7～8年度 | 既存屋内運動場解体 |
| 令和8～9年度 | 体育倉庫・屋外便所建設、運動場整備 |
| 令和 9 年度 | 運動場供用開始（ <u>R9.7月予定</u> ） |

4 財源内訳

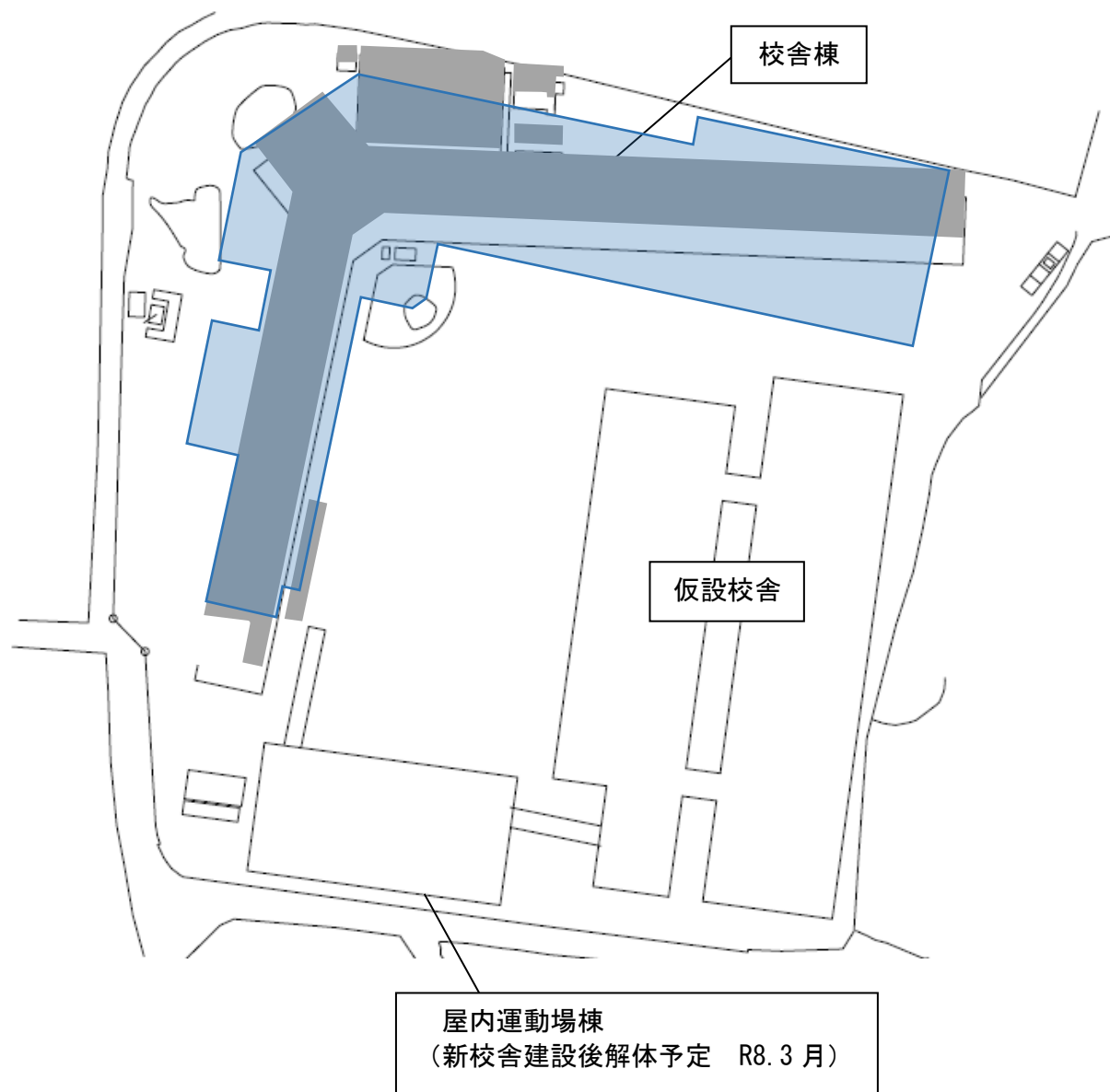
| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-------------|--------------------|------|----------------|-----|---------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 1, 193, 700 | 303, 073 ※1, ※2 | — | 801, 500 ※3 | — | 89, 127 |

※1 公立学校施設整備負担金（負担率 1/2）

※2 学校施設環境改善交付金（補助率 1/3）

※3 公共施設等適正管理推進事業債（集約化）（充当率：90% 交付税措置率 50%）

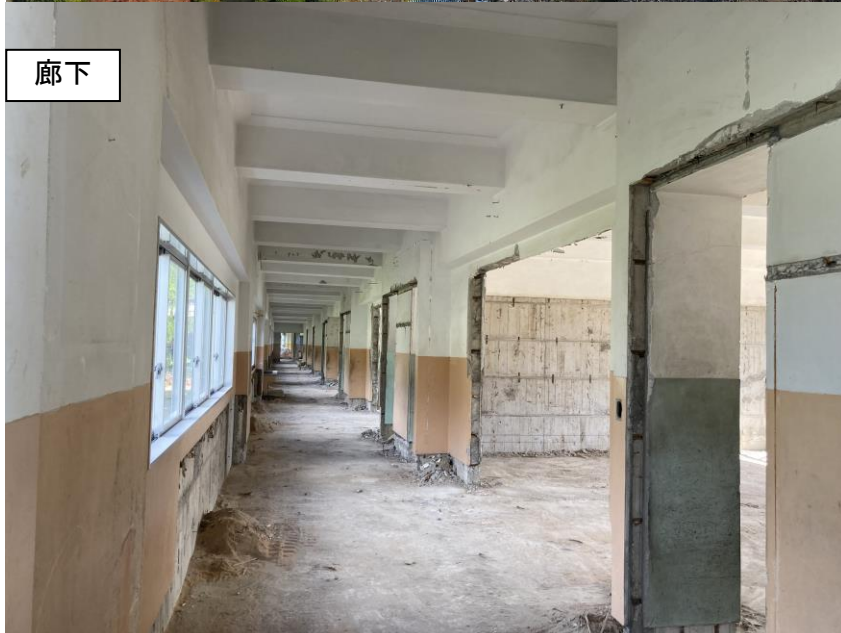
5 学校敷地の施工予定箇所



6 工事の現況写真



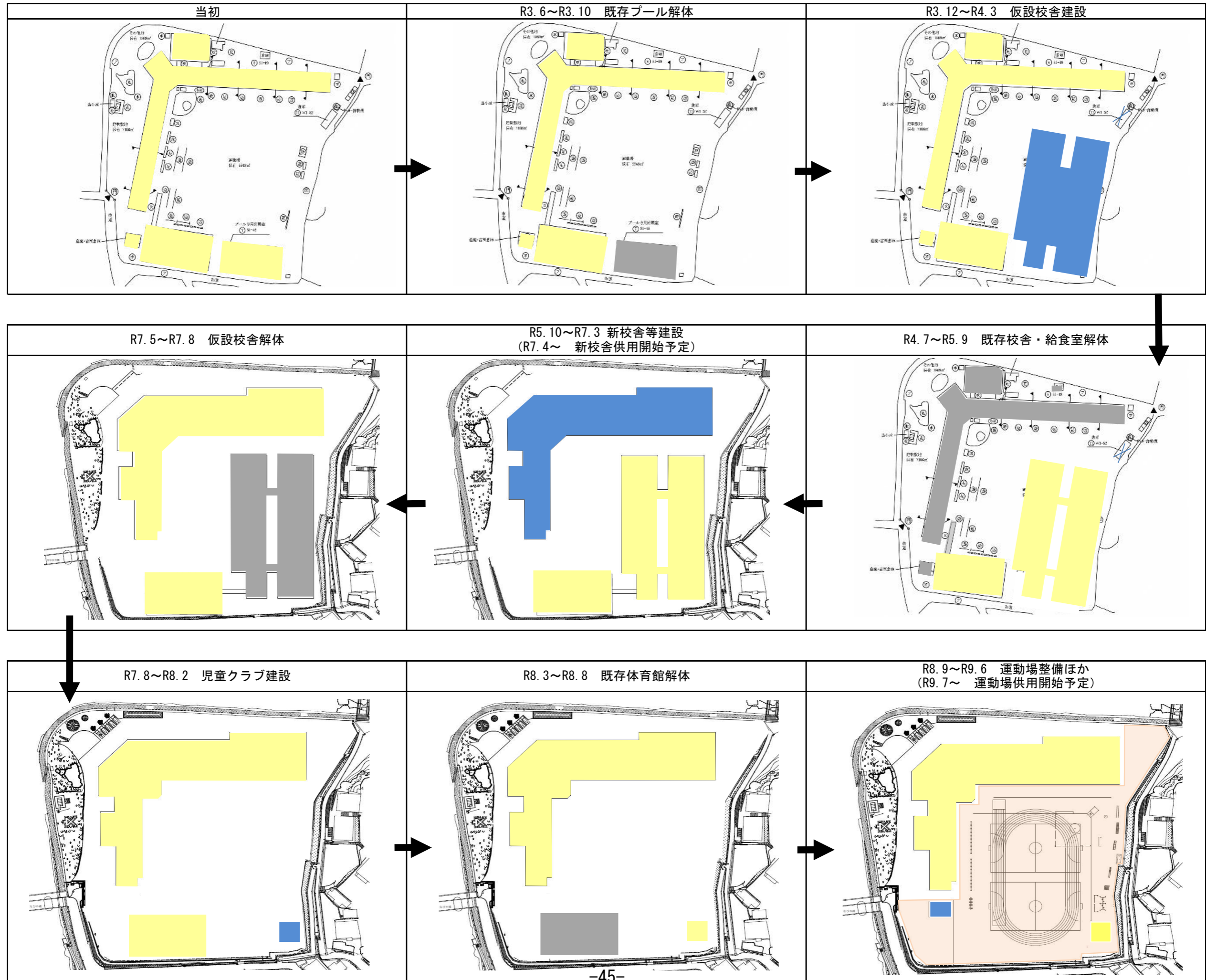
廊下



教室内部

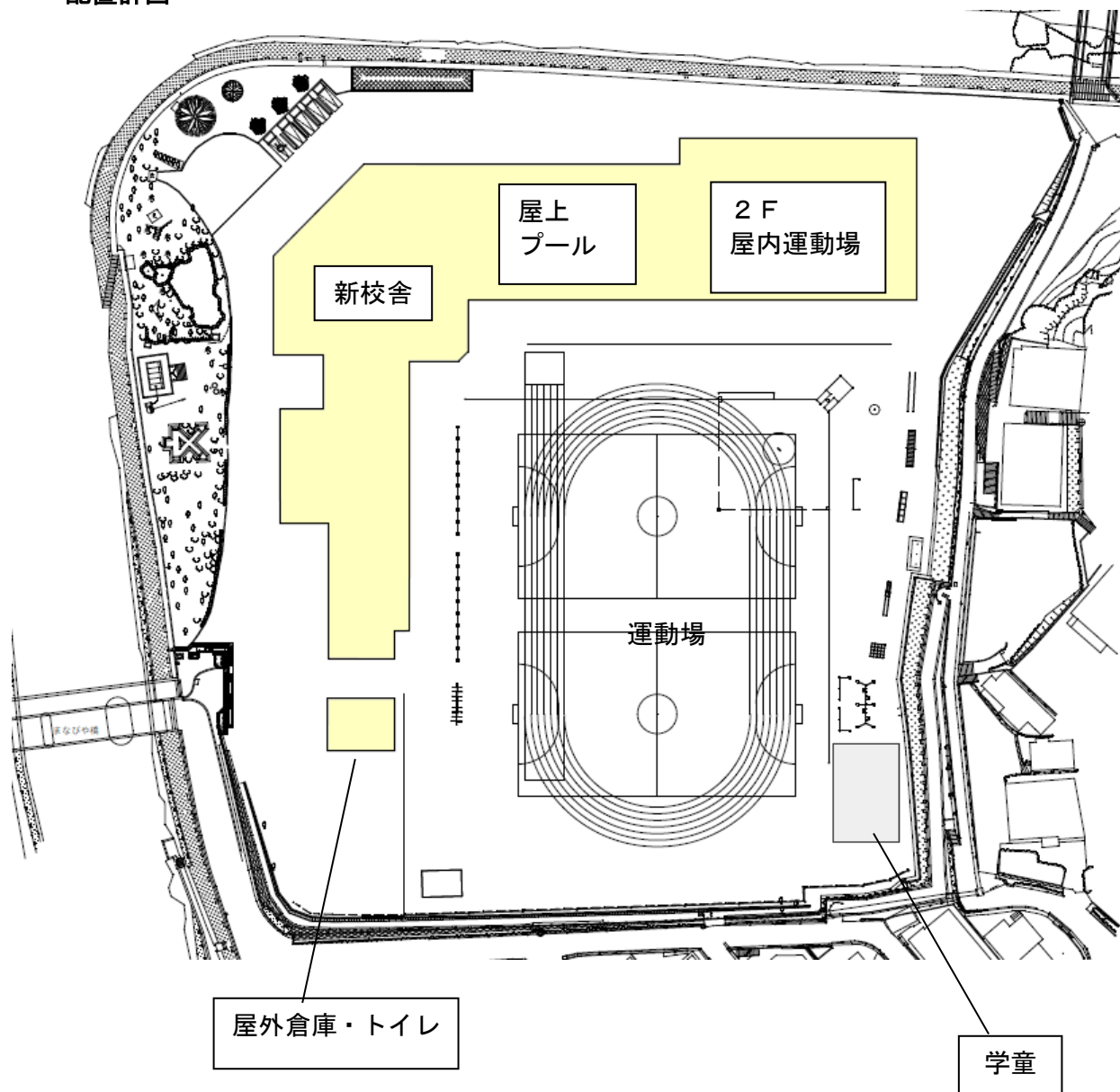


7 事業経過図



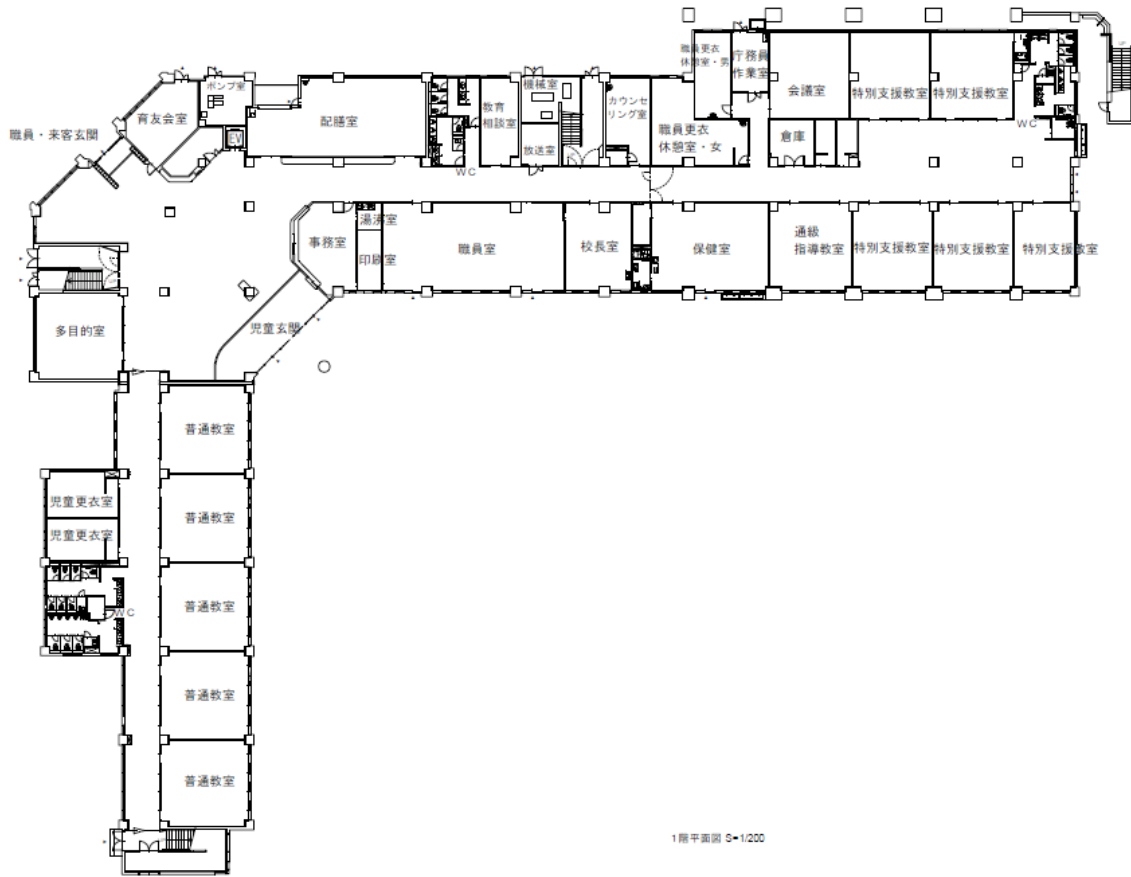
8 新校舎等の配置計画

・配置計画



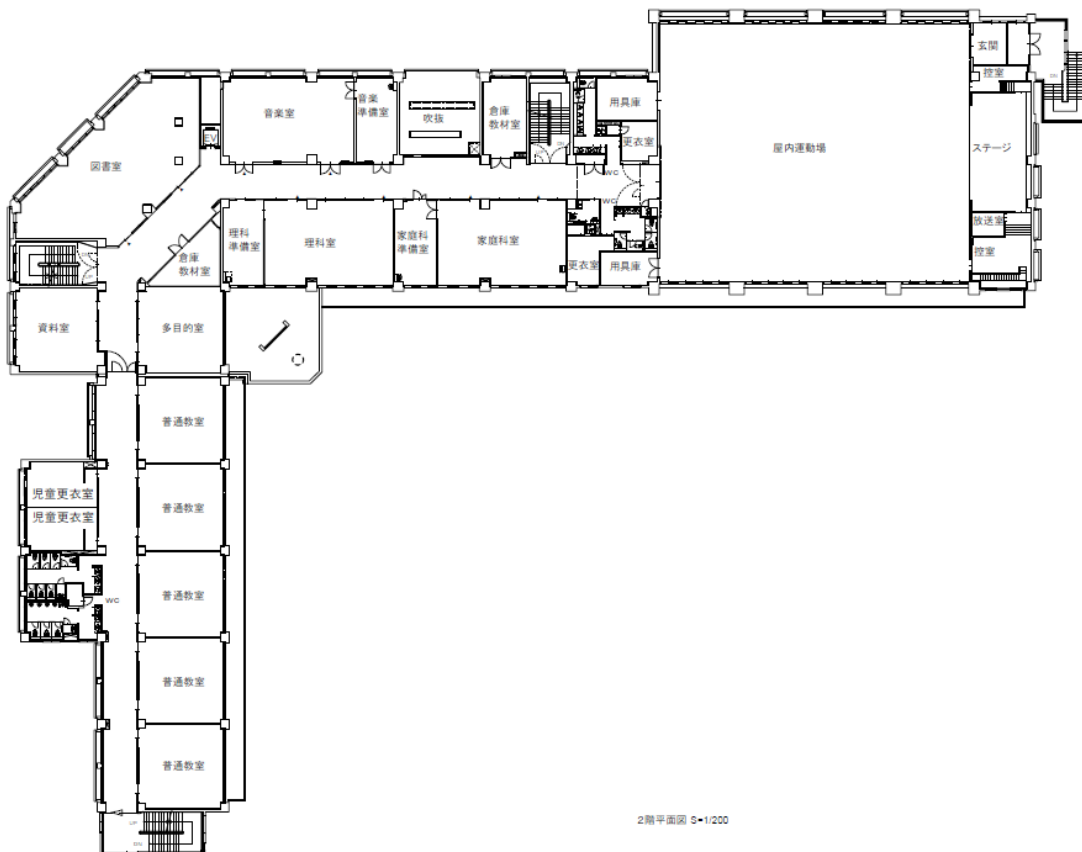
・各階平面図

1 F



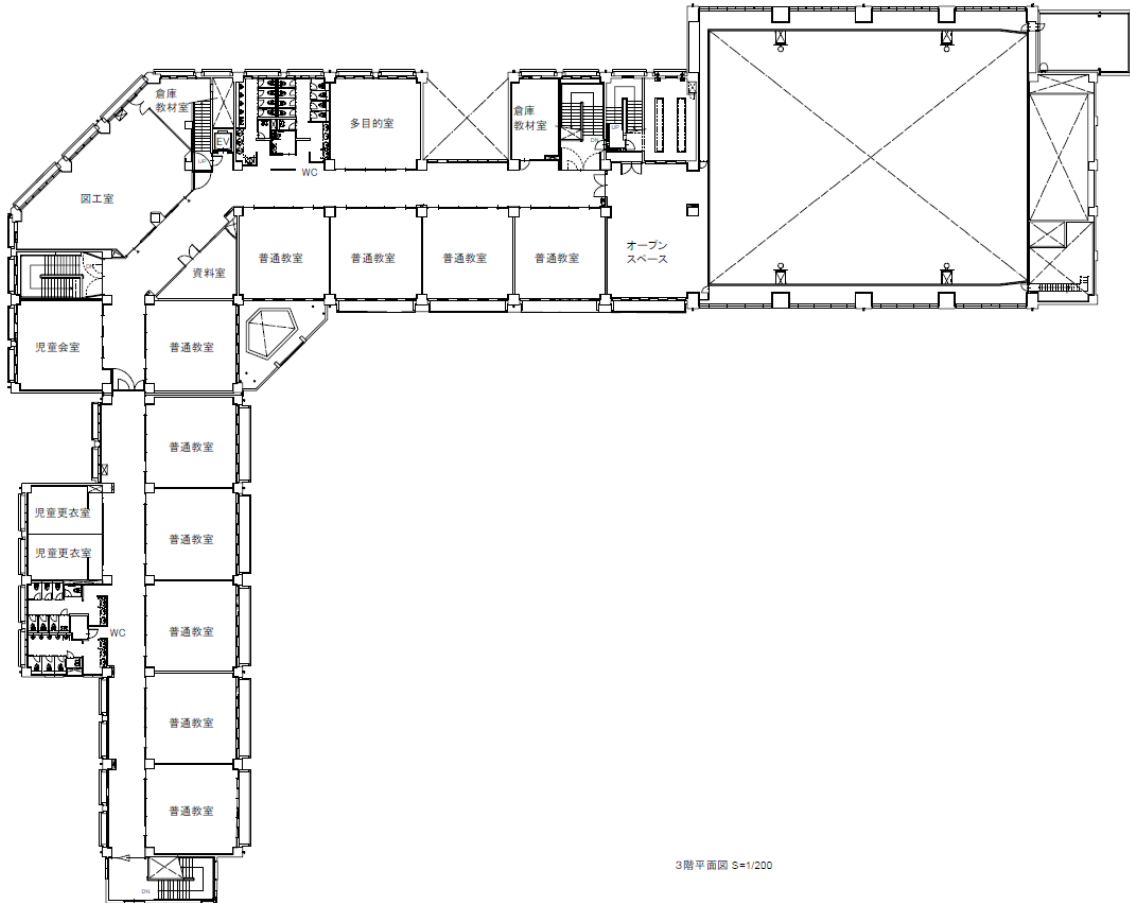
1階平面図 S=1/200

2 F



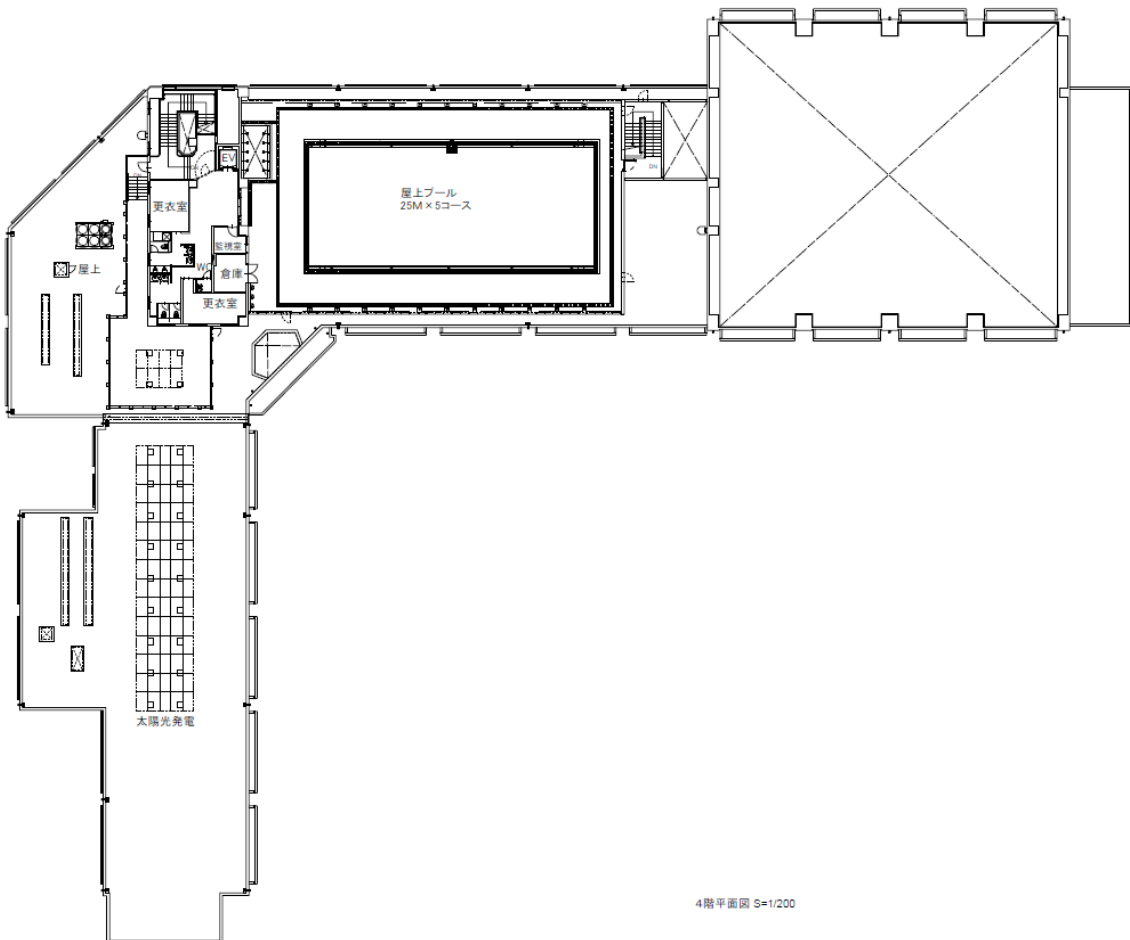
2階平面図 S=1/200

3 F



3階平面図 S=1/200

4 F



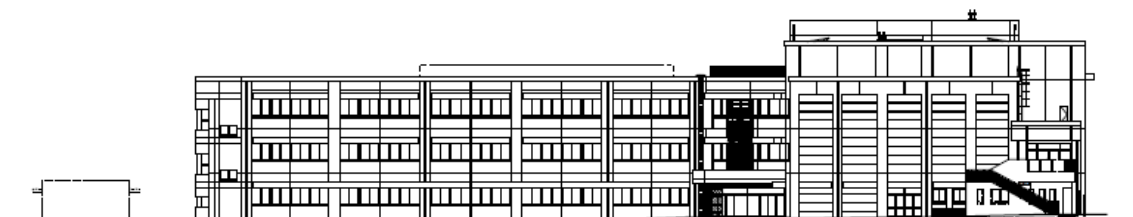
4階平面図 S=1/200

・ 立面図

北西



南東



北東



南西



・ 施設の状況（規模） 旧校舎と新校舎の比較

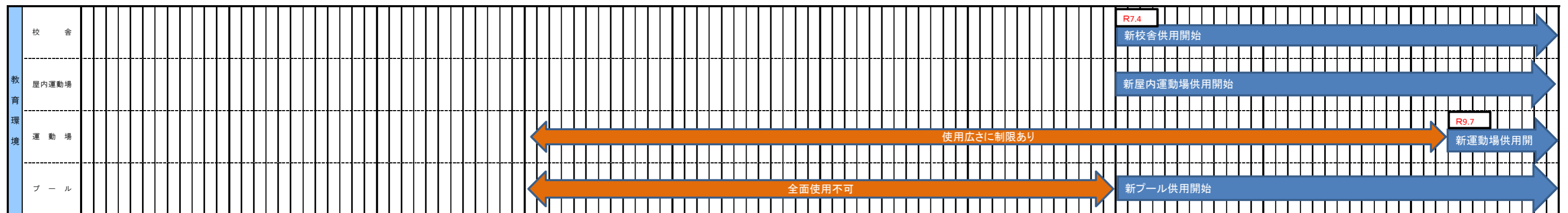
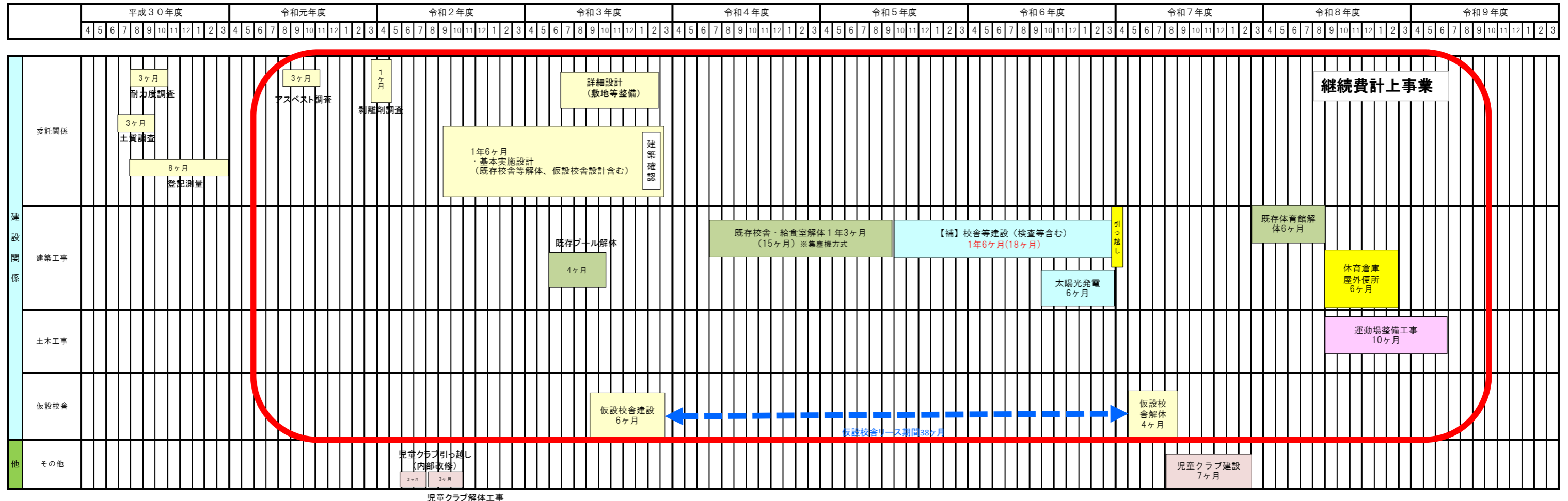
| | 改築前① | 改築後② | 増減②－① |
|-------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 校舎 | 6,524 m ² | 6,478 m ² | ▲46 m ² |
| 屋内運動場 | 913 m ² | 1,187 m ² | 274 m ² |
| 運動場 | 6,570 m ² | 6,398 m ² | ▲172 m ² |

・完成イメージ





9 スケジュール



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|--------------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 272～ 273 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 4 学校建設費 | 1-2 | 【補助】小学校整備事業費 小島小校舎等改築 | 千円 175,200 |

1 概 要

小島小学校は、最も古い校舎が昭和5年5月建築で既に92年が経過し、校舎の老朽化が進んでいることから改築を行うこととし、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

令和5年度は、既存校舎の解体を行うとともに、校舎側に係る河川護岸整備工事及び法面改良工事を行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和4年5月1日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 260人 学級数 13クラス（特別支援3クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計）

（R4.5.1現在）

| 年 度 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童数 | 245人 | 243人 | 246人 | 242人 | 257人 | 256人 | 242人 |
| 学級数 | 10学級 | 10学級 | 11学級 | 11学級 | 12学級 | 12学級 | 11学級 |

※平均入学率を加味

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

(2) 事業費内訳

| 区 分 | 予算額(千円) | 内 容 |
|------------|---------|------------------------|
| 校舎等解体工事 | 11,486 | 既存校舎等の解体（うちプール分、完成払相当） |
| 河川護岸整備工事2期 | 60,462 | 校舎側の護岸改良（前払金相当） |
| 法面改良工事2期 | 48,781 | 校舎側の法面改良（前払金相当） |
| 仮設校舎リース | 51,542 | 仮設校舎リース |
| その他 | 2,929 | 施設修繕料ほか |
| 計 | 175,200 | |

3 スケジュール（予定を含む）

| | |
|-----------------|------------------------------------------|
| 平成 28 年度 | 用地測量、建物調査、土地鑑定評価 |
| 平成 29～30 年度 | 取付道路用地買収・補償 |
| 平成 30 年度 | 取付道路（仮橋）測量設計 |
| 令和元年度 | 隣接地用地測量・建物調査、用地買収・補償 |
| 令和元～2 年度 | 取付道路（仮橋）整備（国道側）、旧愛宕保育園跡地整備 |
| 令和 2～3 年度 | 基本・実施設計、取付道路（仮橋）整備（グラウンド側）、校舎一部解体 |
| 令和 4 年度 | 護岸・法面整備 |
| 令和 4～7 年度 | 仮設校舎使用期間 |
| 令和 4～5 年度 | 既存校舎解体 |
| 令和 5～6 年度 | 護岸・法面整備（校舎側） |
| 令和 6～8 年度 | 新校舎等建設 |
| 令和 8 年度 | 新校舎・アリーナ・プール供用開始（令和 9 年 3 月予定） |
| 令和 9 年度 | 既存屋内運動場解体 |
| 令和 9～10 年度 | 護岸整備（既存屋内運動場側）・法面張出歩道整備 |
| 令和 10～11 年度 | 運動場整備 1 期、屋外トイレ・倉庫建設 |
| 令和 11 年度 | 運動場一部、屋外トイレ・倉庫供用開始（令和 11 年 5 月予定） |
| 令和 11～12 年度 | 取付道路（本橋）整備 |
| 令和 12 年度 | 取付道路（本橋）供用開始（令和 13 年 3 月予定） |
| 令和 12～13 年度 | 運動場整備 2 期 |
| 令和 13 年度 | 運動場全面供用開始（令和 13 年 10 月予定） |

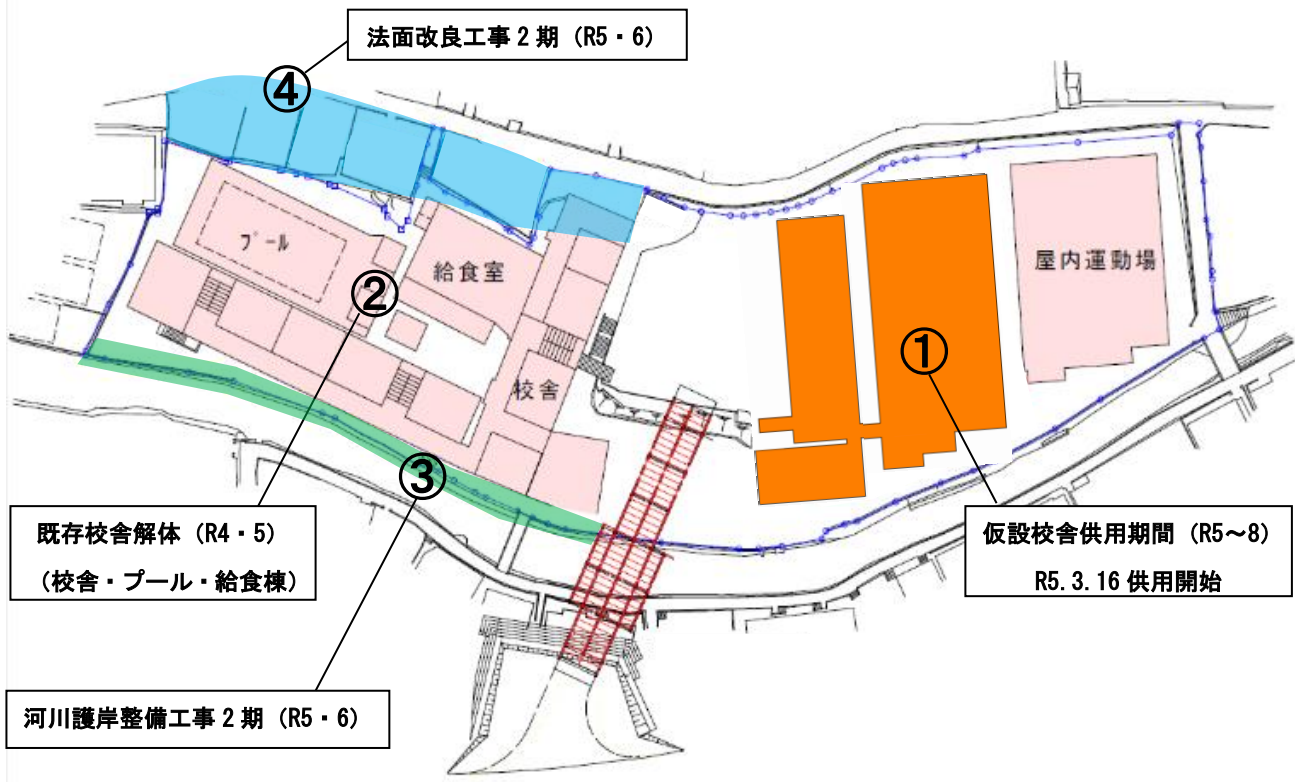
4 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|---------------|-------------|---------|---------------|---------|--------------|
| | 国庫支出金※1 | 県支出金 | 地方債※2 | その他 | 一般財源 |
| 千円 175,200 | 千円 2,515 | 千円 - | 千円 130,100 | 千円 - | 千円 42,585 |

※1 学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率：90%、75% 交付税措置率 70%、50%、-%）

5 学校敷地の施工予定箇所



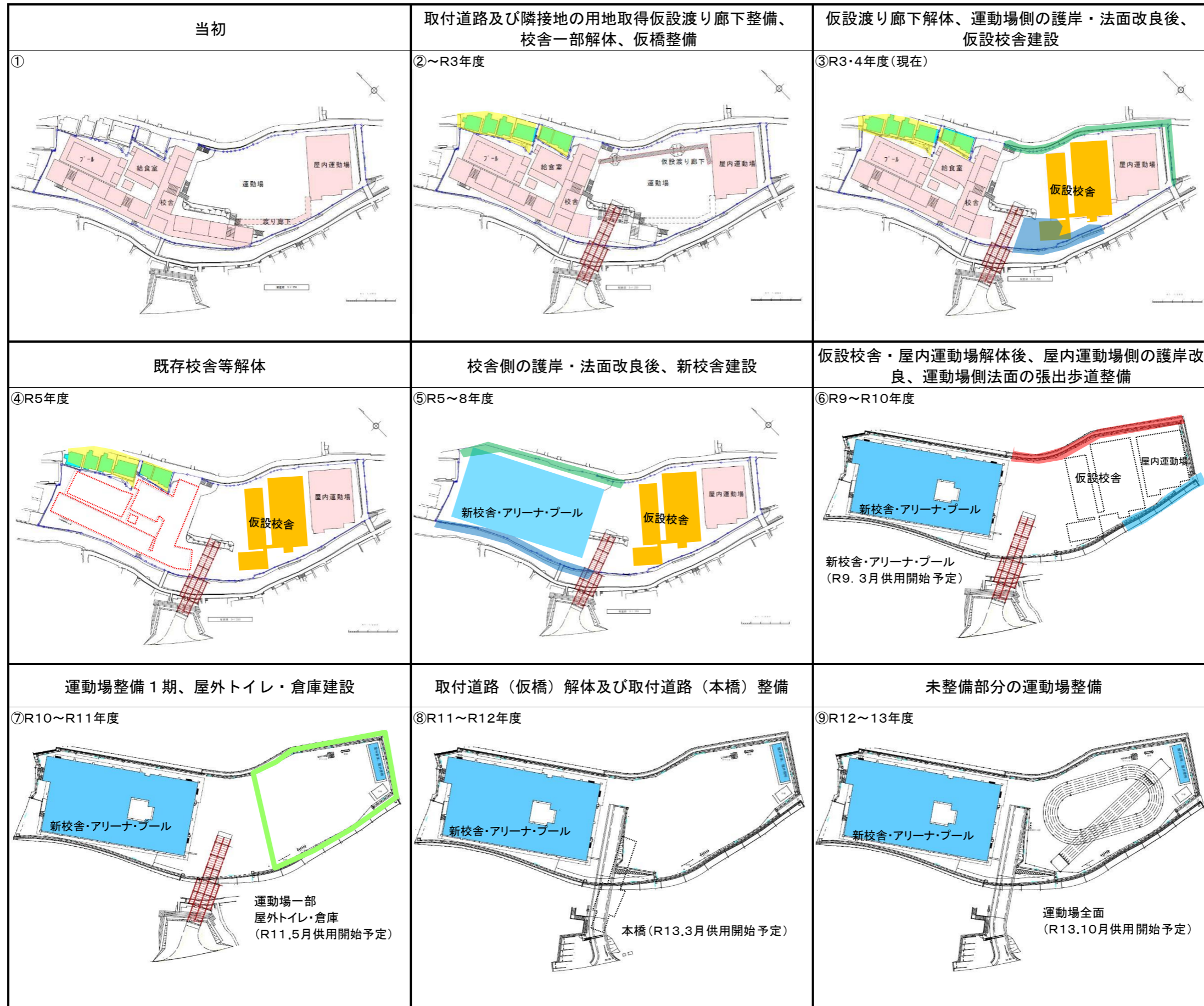
6 工事の現況写真（令和5年2月13日時点）



7 位置図（学校敷地及び代替グラウンド（旧愛宕保育園跡地））

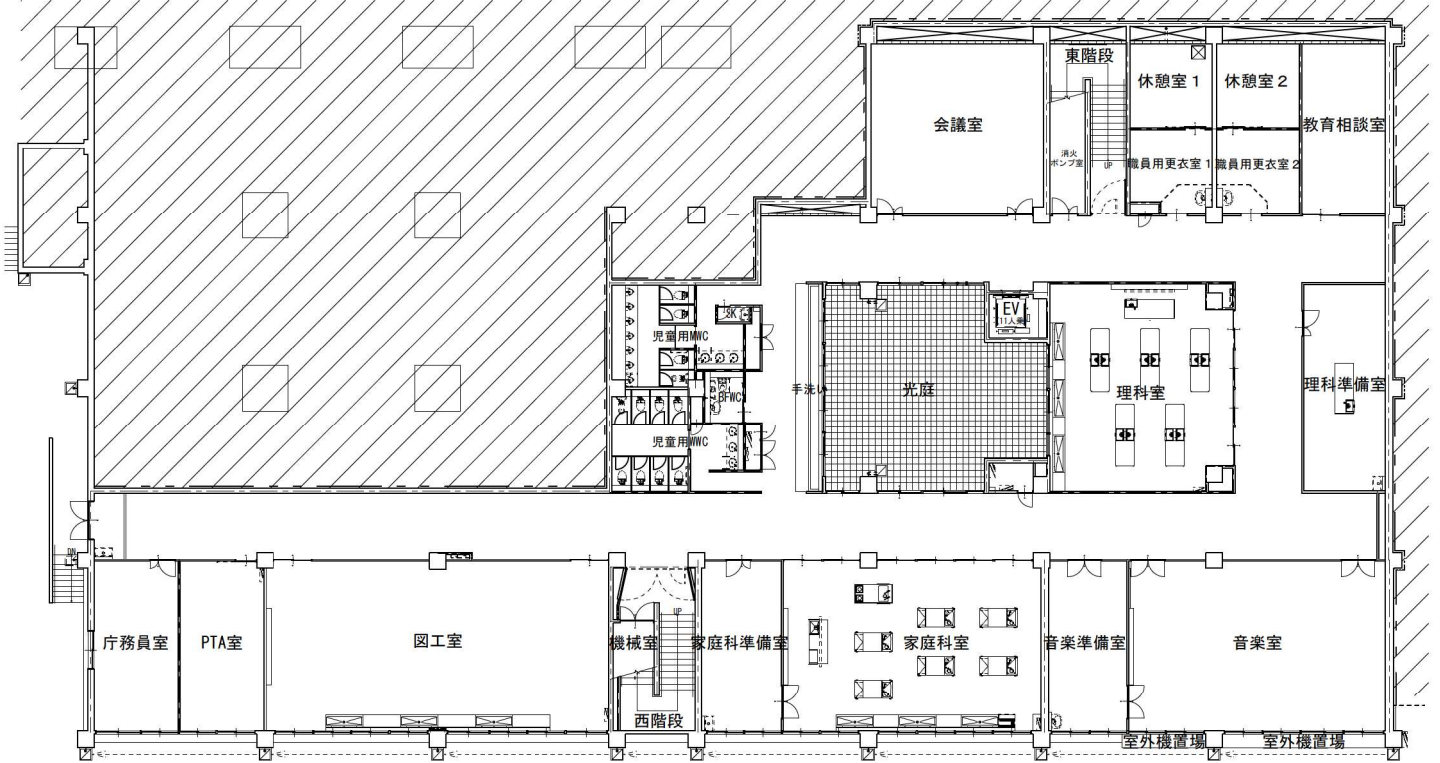


8 改築事業 経過図

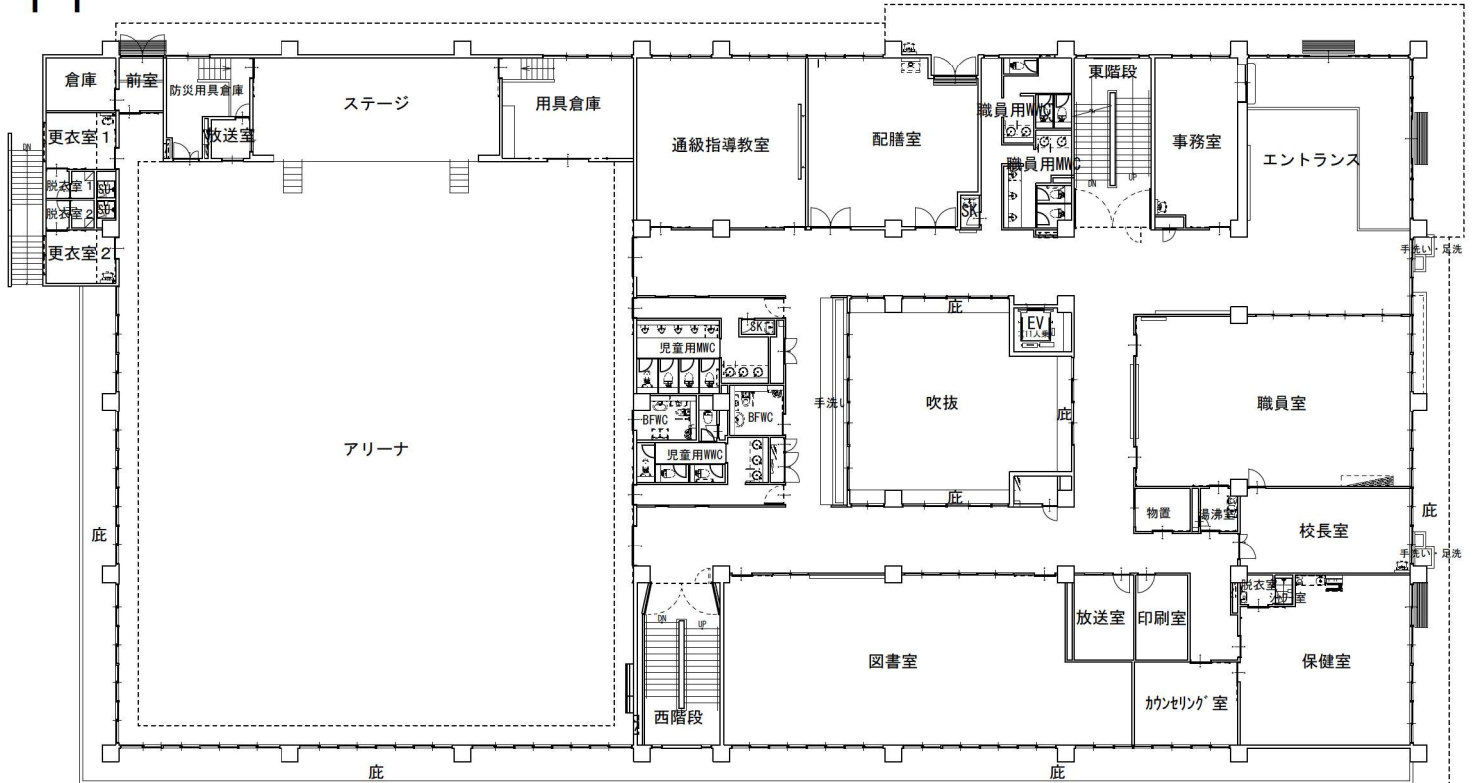


・各階平面図

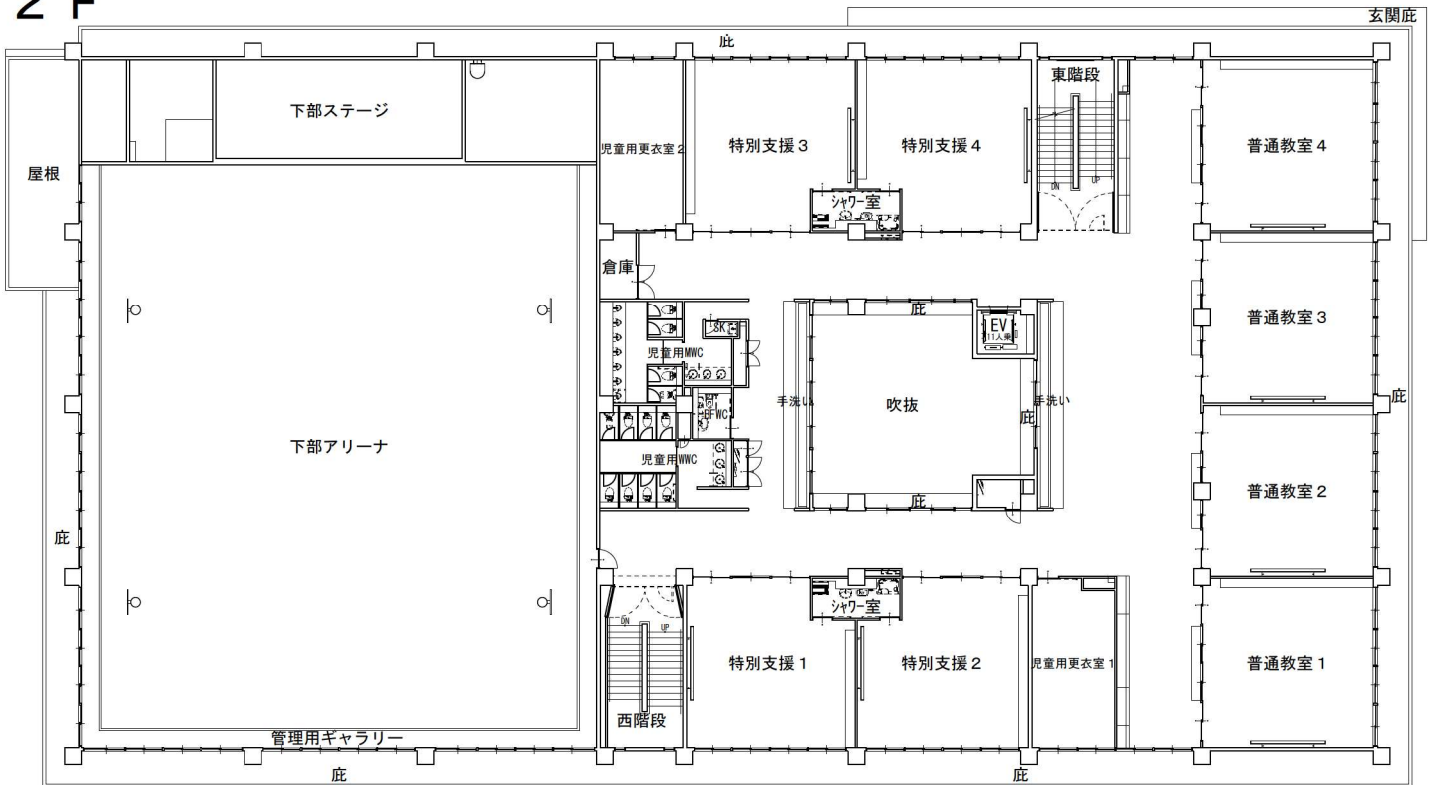
B 1 F



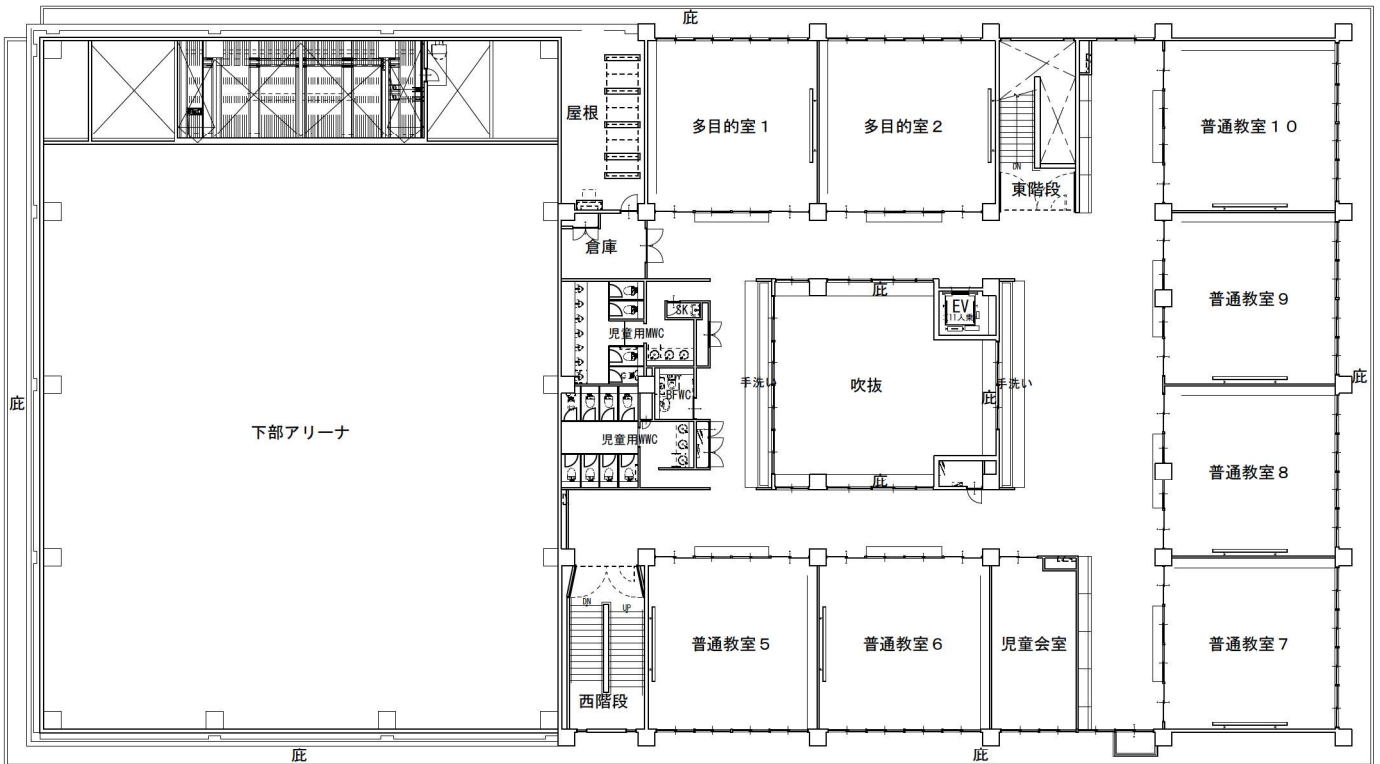
1 F



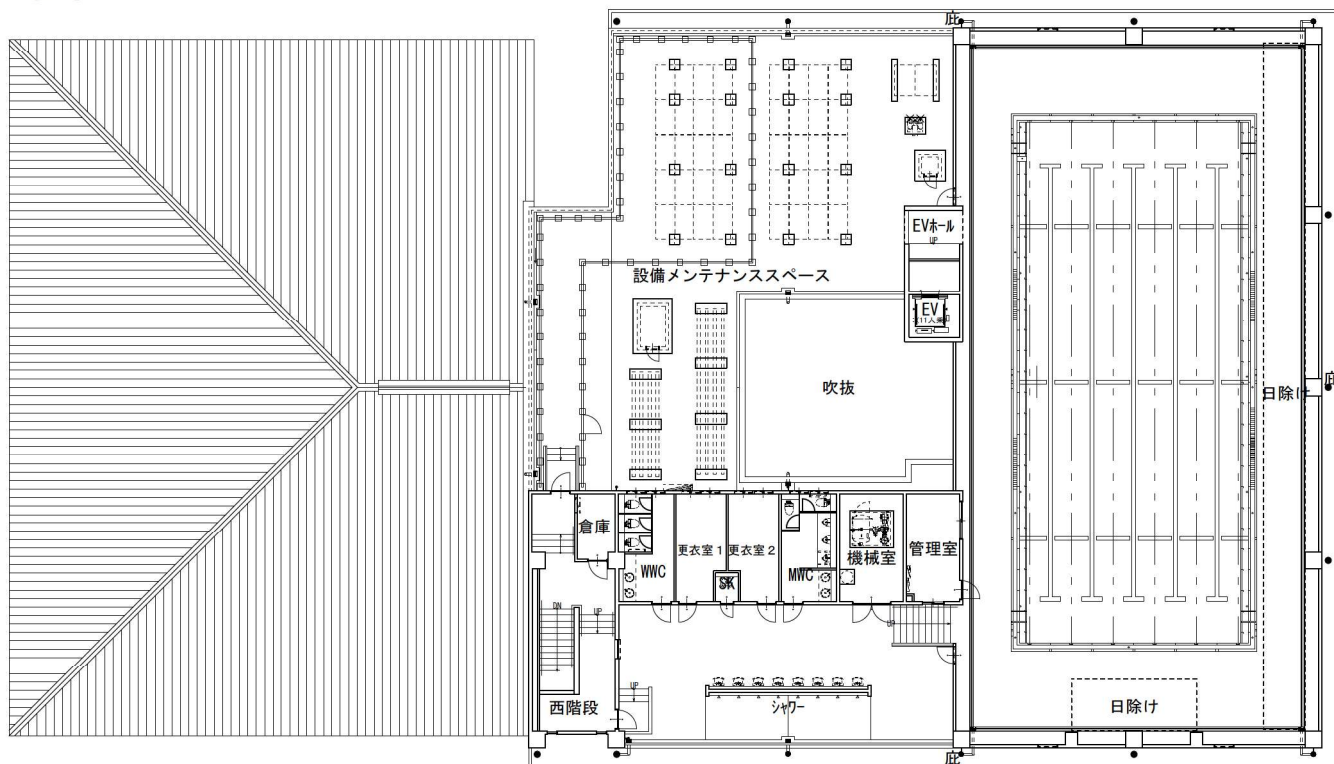
2 F



3 F



4 F

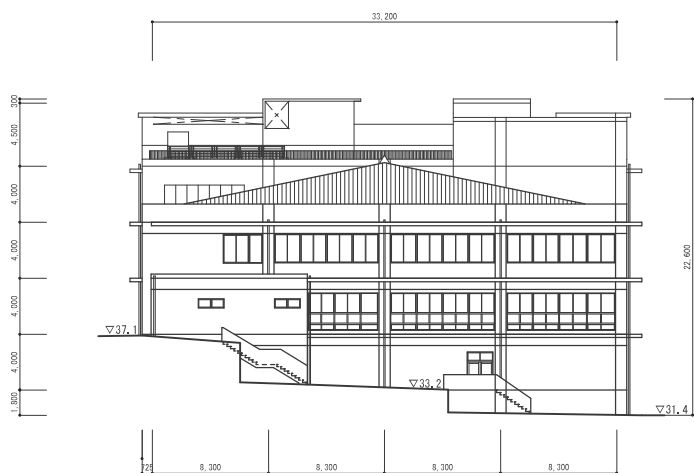


施設の状況（規模）改築前と改築後の比較

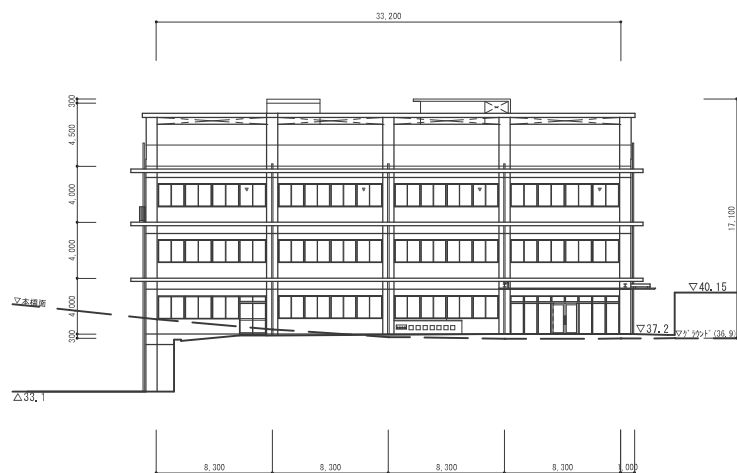
| | 改築前 | 改築後② | 増減②－① |
|-------|------------------------|----------------------|-----------------------|
| 校舎 | 5,828 m ² 1 | 4,649 m ² | ▲1,179 m ² |
| 屋内運動場 | 598 m ² | 931 m ² | 333 m ² |
| 運動場 | 1,919 m ² | 2,800 m ² | 881 m ² |

1 令和2～3年度に事前解体した校舎面積（1,486m²）含む

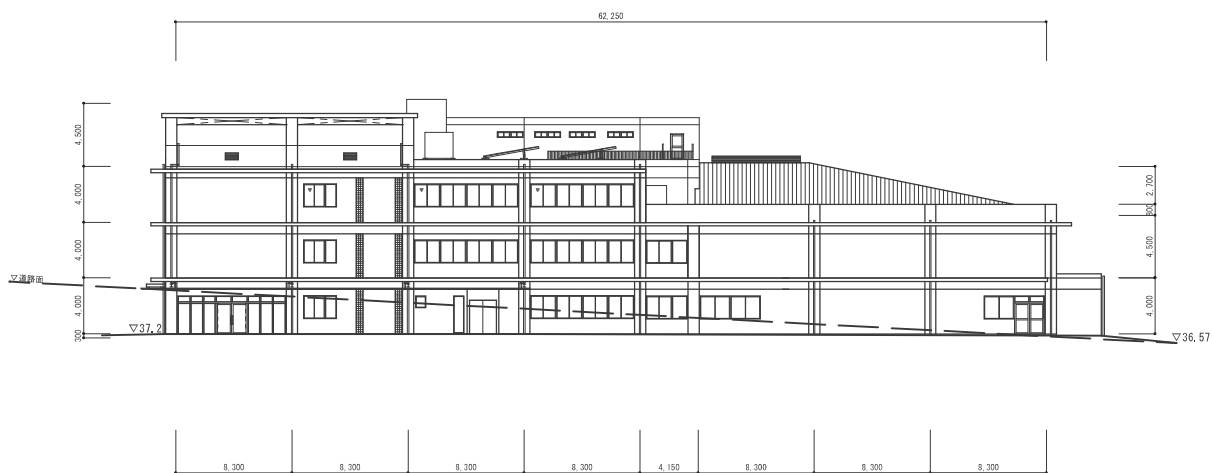
■ 立面图



北側立面图 (民地側)



南側立面图 (運動場側)



東側立面图 (市道側)



西側立面图 (国道側)

・完成イメージ



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|--------------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 272～ 273 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 4 学校建設費 | 1-3 | 【補助】小学校整備事業費 西町小校舎等改築 | 千円 983,300 |

1 概 要

西町小学校は、最も古い校舎が昭和31年に建築され、築67年が経過し、校舎の老朽化が著しいため、早期に施設全体の再整備を行い、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

令和5年度は、令和4年度に引き続き新校舎の基本実施設計及び学校敷地測量設計のほか、法面整備工事を行う。

また、設計完了後は校舎及び屋内運動場の建設工事に着手する。

(1) 学校施設

ア 規模（令和4年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

児童数 328人 学級数 15クラス（特別支援3クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計（通常学級） 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計）

（R4.5.1現在）

| 年 度 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童数 | 306人 | 296人 | 307人 | 301人 | 301人 | 292人 | 295人 |
| 学級数 | 12学級 | 12学級 | 13学級 | 12学級 | 12学級 | 12学級 | 12学級 |

※平均入学率を加味

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

(2) 事業費内訳

| 区 分 | 予算額（千円） | 内 容 |
|----------|---------|---------------------------|
| 新校舎等建設工事 | 841,417 | 新校舎等建設に係る費用（前払金相当） |
| 法面等整備工事 | 56,492 | 法面等整備に係る費用（完成払相当） |
| 基本実施設計 | 83,160 | 校舎等基本実施設計に係る費用 （完成払相当） |
| 事務費 | 2,231 | 構造計算適合判定手数料ほか |
| 計 | 983,300 | |

3 全体スケジュール（予定を含む）

| | |
|-----------|-------------------------|
| 令和元年度～2年度 | 土質調査、登記測量 |
| 令和2年度 | 石綿含有調査 |
| 令和3年度～5年度 | 内部改修、測量設計、基本実施設計 |
| 令和4年度～5年度 | 既存校舎等一部解体、プール等解体、法面整備工事 |
| 令和7年度 | 校舎棟・屋内運動場供用開始予定 |
| 令和9年度 | 運動場供用開始予定 |

4 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|---------------|---------------------|---------|------------------------|---------------|---------------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 千円 983,300 | 千円 216,649 ※1 | 千円 - | 千円 648,600 ※2、※3 | 千円 8 ※4 | 千円 118,043 |

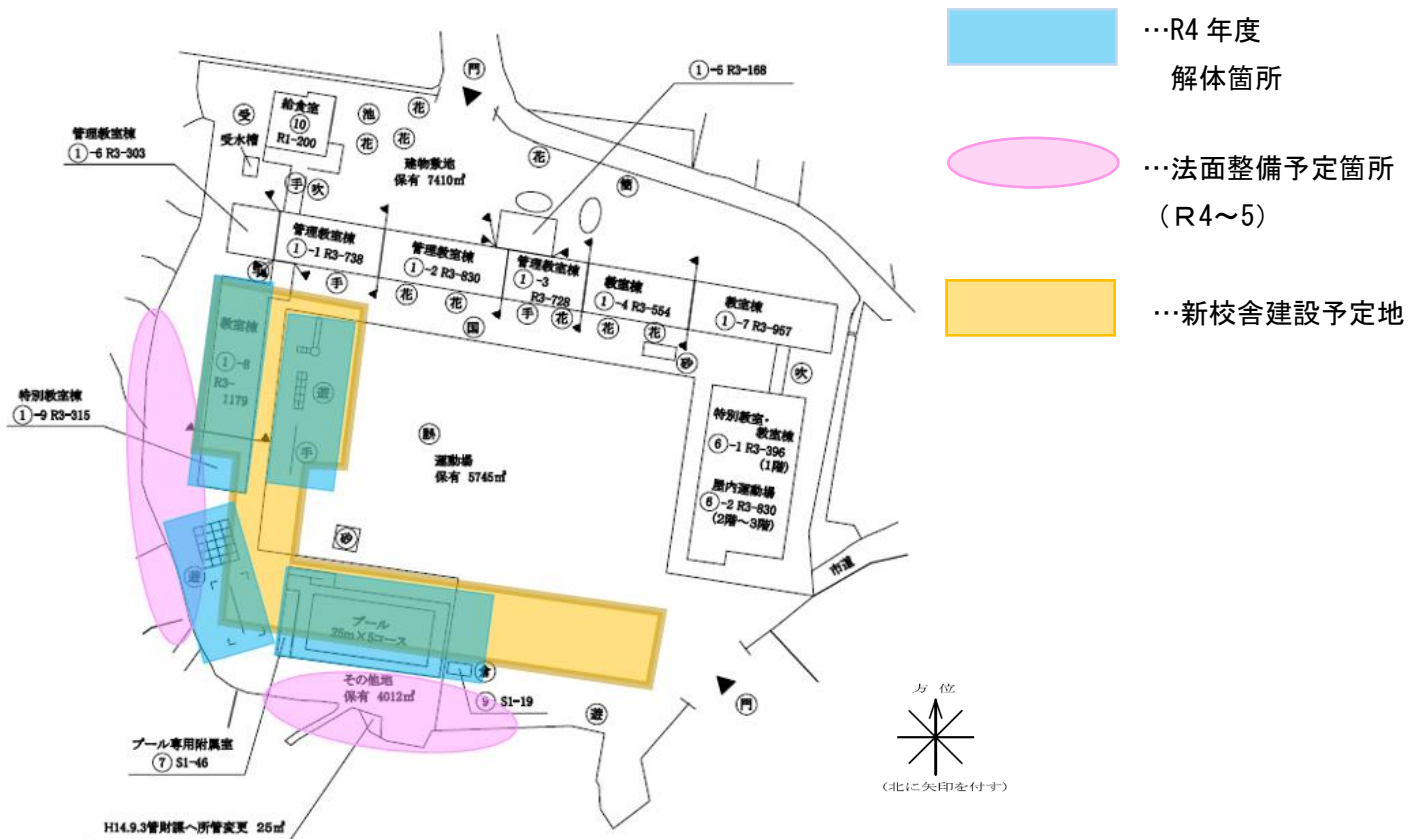
※1 学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債 充当率：補助分90%、単独分75%（交付税措置率70%、50%、-%）、

※3 一般単独事業債・緊急自然災害防止対策事業 充当率100%（交付税措置率70%）

※4 保険料個人負担金

5 学校敷地の施工予定箇所



6 工事の現況写真



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|-----------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 272～ 273 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 4 学校建設費 | 2-1 | 【単独】小学校整備事業費 大規模改造 | 千円 155,400 |
| 276～ 277 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 4 学校建設費 | 1-2 | 【単独】中学校整備事業費 大規模改造 | 千円 58,000 |
| 合 計 | | | | | | 千円 213,400 |

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置を行うことにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、本事業の屋上防水改修等は、補助事業で行う外壁改修に併せて行うものである。

2 事業内容

| 学校区分 | 学校名 | 事業費 | 事業内容 |
|---------|--------|-----------|--------------|
| 小学校 | 山里小学校 | 67,401千円 | 校舎の屋根・屋上防水改修 |
| | 香焼小学校 | 51,420千円 | 屋内運動場の屋根改修 |
| | 晴海台小学校 | 36,579千円 | 屋内運動場の屋根改修 |
| 小学校 計 | | 155,400千円 | |
| 中学校 | 深堀中学校 | 29,619千円 | 校舎の屋上防水改修 |
| | 香焼中学校 | 28,381千円 | 校舎の屋上防水改修 |
| 中学校 計 | | 58,000千円 | |
| 小中学校 合計 | | 213,400千円 | |

3 財源内訳

| | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-----|---------------|---------|---------|----------------|---------|--------------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 小学校 | 千円 155,400 | 千円 — | 千円 — | ※千円 138,400 | 千円 — | 千円 17,000 |
| 中学校 | 千円 58,000 | 千円 — | 千円 — | ※千円 50,500 | 千円 — | 千円 7,500 |
| 合計 | 千円 213,400 | 千円 — | 千円 — | ※千円 188,900 | 千円 — | 千円 24,500 |

※学校教育施設等整備事業債（充当率 75%、交付税措置率 50%）

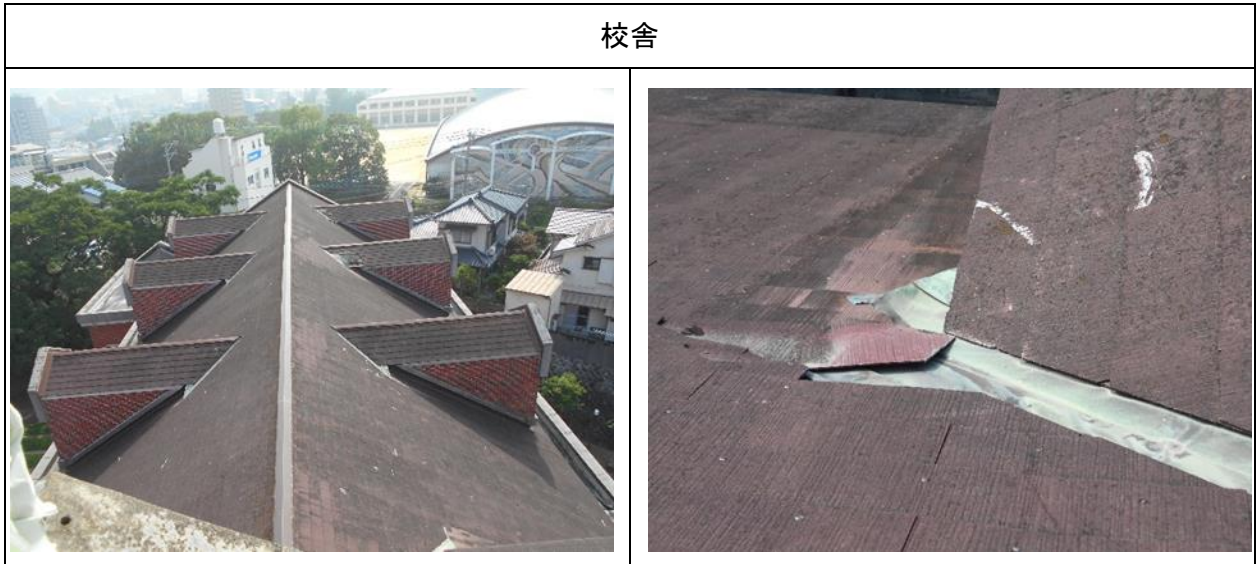
過疎対策事業債（充当率 100%、交付税措置率 70%）

4 その他(現況写真等)

(1) 山里小学校校舎屋根・屋上防水改修工事

① 建築年月: 昭和 63 年 6 月 (34 年経過)

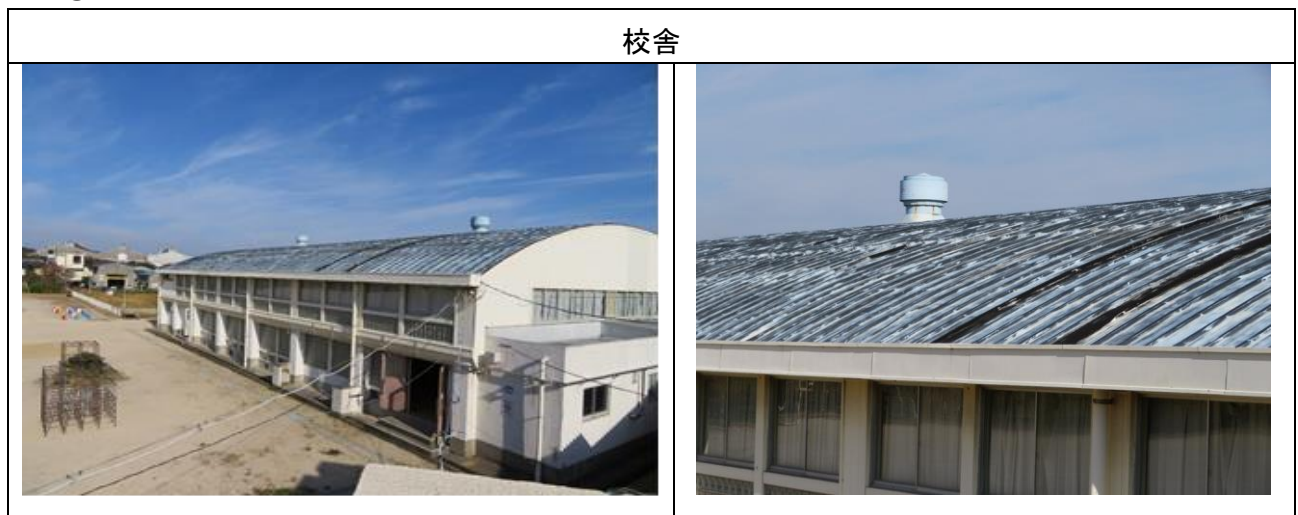
② 工 期: 約 8 ヲ月



(2) 香焼小学校屋内運動場屋根改修工事

① 建築年月: 昭和 52 年 3 月 (45 年経過)

② 工 期: 約 4 ヲ月



(3)晴海台小学校屋内運動場屋根改修工事

①建築年月:昭和 62 年 3 月(35 年経過)

②工 期:約 4 ヲ月

屋内運動場



(4)深堀中学校校舎屋上防水改修工事

①建築年月:昭和 48 年 3 月(49 年経過)

②工 期:約 5 ヲ月

校舎



(5) 香焼中学校校舎屋上防水改修工事

① 建築年月: 昭和 61 年 3 月 (36 年経過)

② 工 期: 約 4 ヶ月

校舎



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----|----------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 272～ 273 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 4 学校建設費 | 2-2 | 【単独】小学校整備事業費 諸工事 | 千円 29,900 |
| 276～ 277 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 4 学校建設費 | 1-3 | 【単独】中学校整備事業費 諸工事 | 千円 24,700 |
| 278～ 279 | 10 教育費 | 4 高等学校費 | 4 学校建設費 | 1-1 | 【単独】高等学校整備事業費 諸工事 | 千円 115,000 |
| 合 計 | | | | | | 千円 169,600 |

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置を行うことにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

2 事業内容

| 学校区分 | 学校名 | 事業費 | 事業内容 |
|--------------|----------|-----------|---------------|
| 小学校 | 銭座小学校 | 20,426千円 | カーペット床の改修 |
| | 西北小学校 | 5,737千円 | エレベーター設置(設計) |
| | 畝刈小学校 | 3,737千円 | エレベーター設置(設計) |
| 小学校 計 | | 29,900千円 | |
| 中学校 | 西浦上中学校 | 10,549千円 | プール濾過装置の改修 |
| | 福田中学校 | 9,651千円 | 受水槽の改修 |
| | 小島中学校 | 4,500千円 | エレベーター設置(設計) |
| 中学校 計 | | 24,700千円 | |
| 高等学校 | 長崎商業高等学校 | 115,000千円 | 運動場外周全天候型舗装工事 |
| 高等学校 計 | | 115,000千円 | |
| 小中学校・高等学校 合計 | | 169,600千円 | |

3 財源内訳

| | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|------|---------------|---------|---------|----------------|---------|--------------|
| | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 小学校 | 千円 29,900 | 千円 - | 千円 - | ※千円 22,400 | 千円 - | 千円 7,500 |
| 中学校 | 千円 24,700 | 千円 - | 千円 - | ※千円 18,500 | 千円 - | 千円 6,200 |
| 高等学校 | 千円 115,000 | 千円 - | 千円 - | ※千円 86,200 | 千円 - | 千円 28,800 |
| 合計 | 千円 169,600 | 千円 - | 千円 - | ※千円 127,100 | 千円 - | 千円 42,500 |

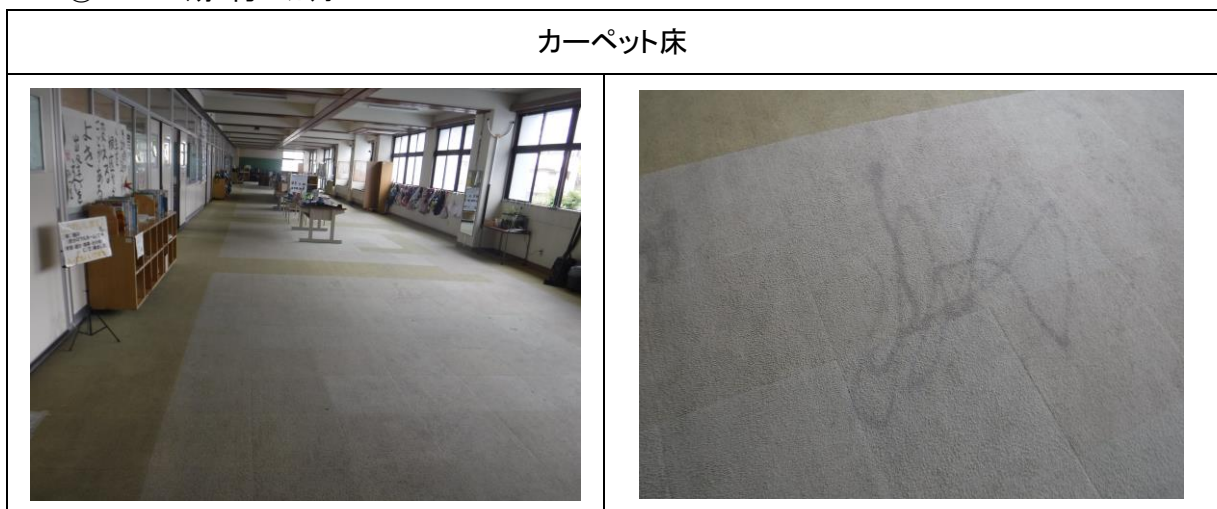
※学校教育施設等整備事業債(充当率75%、交付税措置率1%)

4 その他(現況写真等)

(1) 銭座小学校カーペット床改修工事

① 建築年月:平成元年6月(34年経過)

② 工 期:約3ヵ月



(2) 西北小学校エレベーター設置(設計)

① 建築年月：昭和 39 年 3 月建設 (58 年経過)

② エレベーター設置に係るスケジュール (予定)

令和 5 年度 実施設計業務委託

令和 6 年度 設置工事、供用開始



※ 赤枠はエレベーター設置予定箇所

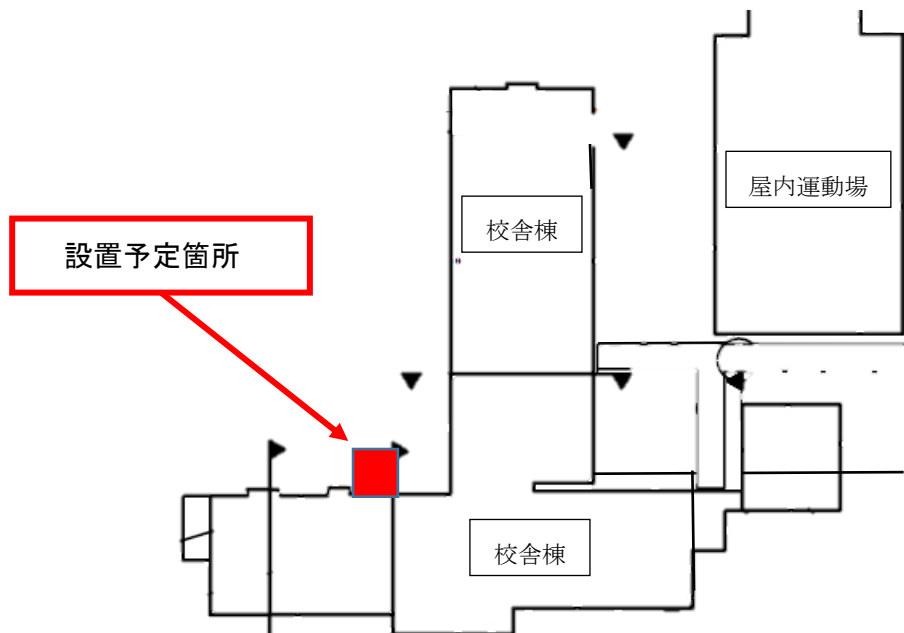
(3) 畝刈小学校エレベーター設置（設計）

① 建築年月：平成3年3月建設（31年経過）

② エレベーター設置に係るスケジュール（予定）

令和5年度 実施設計業務委託

令和6年度 設置工事、供用開始



※ 赤枠はエレベーター設置予定箇所

(4)西浦上中学校プール濾過装置改修工事

①建築年月:平成3年3月(31年経過)

②工 期:約3ヵ月



(5)福田中学校受水槽改修工事

①建築年月:昭和51年3月(46年経過)

②工 期:約2ヵ月



(6)小島中学校エレベーター設置（設計）

- ①建築年月：昭和 60 年 3 月建設（37 年経過）
- ②エレベーター設置に係るスケジュール（予定）
 - 令和 5 年度 実施設計業務委託
 - 令和 6 年度 設置工事、供用開始



※ 赤枠はエレベーター設置予定箇所

(7)長崎商業高等学校運動場外周全天候型舗装工事

①全天候型舗装工 1,240 m²

②工 期:約 8ヶ月



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----|-----------------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 272～ 273 | 10 教育費 | 2 小学校費 | 4 学校建設費 | 2-3 | 【単独】小学校整備事業費 バスケットゴール改修 | 千円 4, 200 |
| 276～ 277 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 4 学校建設費 | 1-4 | 【単独】中学校整備事業費 バスケットゴール改修 | 千円 36, 100 |
| 278～ 279 | 10 教育費 | 4 高等学校費 | 4 学校建設費 | 1-2 | 【単独】高等学校整備事業費 バスケットゴール改修 | 千円 10, 700 |
| 合 計 | | | | | | 千円 51, 000 |

1 概 要

令和3年4月に発生した北九州市の中学校で屋内運動場内のバスケットゴールが落下し生徒が負傷した事故を受け、市立の小中学校及び高等学校に設置しているバスケットゴールにつき、令和3年度に専門業者による点検を行った結果、改修が必要と判断されたゴールの改修及び撤去を行うもの。

2 事業内容

点検結果により改修が必要であると判断されたもののうち、折畳み式ゴールの改修を行う。ただし、折畳み式ゴールを改修する学校において、改修が必要な固定式ゴールも設置されている場合は固定式ゴールも併せて改修する。

また、吊り下げ式ゴールについては、屋内運動場の高所に設置することから、点検や修繕などの維持管理の難しさを考慮し原則撤去するものの、大会や部活動での使用状況から、コートサイズが狭いなど吊下式ゴールを使用する必要がある学校については、改修を行うこととする。

| R3年度の点検結果 | 基 数 | 対 応 |
|---------------------------------|------|--------------------------------|
| 至急対応が必要なもの | 116基 | R3・R4年度中に改修・撤去 |
| 至急ではないが対応が必要なもの (吊り下げ式・折畳み式) | 99基 | R5年度改修・撤去予定 【補助】66基 【単独】33基 |
| 至急ではないが対応が必要なもの (固定式) | 84基 | R6年度改修・撤去予定 |
| 異常なし | 164基 | R5年度再点検実施予定 |
| 合 計 | 463基 | |

| 学校区分 | 対象校数 | 上段：ゴールの基数（基） 下段：工事請負費計上額（千円） | | | | | | | |
|------|------|---------------------------------|----|----------|-----|--------|-------|--------|-------|
| | | 壁面式（固定） | | 壁面式（折畳み） | | 吊り下げ式 | | 合計 | |
| | | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 |
| 小学校 | 5校 | - | - | 2 | 2 | - | 2 | 2 | 4 |
| | | - | - | 3,200 | 200 | - | 800 | 3,200 | 1,000 |
| 中学校 | 12校 | 3 | - | 1 | 2 | 4 | 11 | 8 | 13 |
| | | 3,500 | - | 2,100 | 200 | 25,730 | 4,570 | 31,330 | 4,770 |
| 高等学校 | 1校 | 2 | - | 4 | - | - | - | 6 | - |
| | | 2,300 | - | 8,400 | - | - | - | 10,700 | - |
| 合計 | 18校 | 5 | - | 7 | 4 | 4 | 13 | 16 | 17 |
| | | 5,800 | - | 13,700 | 400 | 25,730 | 5,370 | 45,230 | 5,770 |

3 財源内訳

(1) 小学校

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|-------------|---------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 ※ | その他 | 一般財源 |
| 千円 4,200 | 千円 - | 千円 - | 千円 3,200 | 千円 - | 千円 1,000 |

※ 過疎対策事業債（充当率100%、交付税措置率70%）

(2) 中学校

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|--------------|---------|---------|--------------|---------|--------------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 ※ | その他 | 一般財源 |
| 千円 36,100 | 千円 - | 千円 - | 千円 23,500 | 千円 - | 千円 12,600 |

※ 学校教育施設等整備事業債（充当率75%、交付税措置率-%）

(3) 高等学校

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|--------------|---------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 ※ | その他 | 一般財源 |
| 千円 10,700 | 千円 - | 千円 - | 千円 8,000 | 千円 - | 千円 2,700 |

※ 学校教育施設等整備事業債（充当率75%、交付税措置率-%）

4 写真（イメージ）

壁面固定式（正面）



壁面固定式（横）



壁面折畳式（収納時）



壁面折畳式（使用時）



吊り下げ式（収納時）



吊り下げ式（使用時）



5 学校別一覧表

(単位：基)

| 学校区分 | NO. | 学校名 | 壁面式 (固定) | | 壁面式 (折畳み) | | 吊り下げ式 | | 合計 | |
|----------|-----|-----|-------------|----|--------------|----|-------|----|----|----|
| | | | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 |
| 小学校 | 1 | 南 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| | 2 | 手熊 | - | - | - | 1 | - | - | - | 1 |
| | 3 | 三重 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| | 4 | 蚊焼 | - | - | 2 | - | - | - | 2 | - |
| | 5 | 形上 | - | - | - | 1 | - | - | - | 1 |
| | 合計 | | | - | - | 2 | 2 | - | 2 | 2 |
| 小学校合計 5校 | | | | | | | | | | |

(単位：基)

| 学校区分 | NO. | 学校名 | 壁面式 (固定) | | 壁面式 (折畳み) | | 吊り下げ式 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-------------|----|--------------|----|-------|----|----|----|
| | | | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 |
| 中学校 | 1 | 片淵 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| | 2 | 小島 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| | 3 | 日吉 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| | 4 | 土井首 | - | - | - | 1 | - | 1 | - | 2 |
| | 5 | 深堀 | - | - | - | 1 | - | 1 | - | 2 |
| | 6 | 福田 | - | - | - | - | 1 | - | 1 | - |
| | 7 | 西泊 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| | 8 | 西浦上 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| | 9 | 横尾 | 2 | - | - | - | 2 | - | 4 | - |
| | 10 | 三川 | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 3 | - |
| | 11 | 伊王島 | - | - | - | - | - | 2 | - | 2 |
| | 12 | 高島 | - | - | - | - | - | 2 | - | 2 |
| 合計 | | | 3 | - | 1 | 2 | 4 | 11 | 8 | 13 |
| 中学校合計 12校 | | | | | | | | | | |

(単位：基)

| 学校区分 | NO. | 学校名 | 壁面式 (固定) | | 壁面式 (折畳み) | | 吊り下げ式 | | 合計 | |
|-----------|-----|------|-------------|----|--------------|----|-------|----|----|----|
| | | | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 | 改修 | 撤去 |
| 高等学校 | 1 | 長崎商業 | 2 | - | 4 | - | - | - | 6 | - |
| 高等学校合計 1校 | | | | | | | | | | |

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|--------------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 276～ 277 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 4 学校建設費 | 1-1 | 【単独】中学校整備事業費 琴海中校舎等改築 | 千円 117,600 |

1 概 要

琴海中学校は、最も古い校舎が昭和40年に建築され、築58年が経過し、また、耐力度調査の結果においても、一部校舎について建替えの対象となる指標を下回っているため、早期に校舎の改築を行うことで教育環境の改善を図る。

※耐力度調査・・・校舎等の構造耐力（耐震性）、経年による耐力・機能の低下（老朽化）、立地条件による影響の3点の項目を調査し、建物の健全性を総合的に評価するもの。

2 事業内容及び事業費内訳

令和5年度は、令和4年度に引き続き、学校敷地等の測量設計及び基本実施設計を行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和4年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

琴海中学校 生徒数 275人 学級数 12クラス（特別支援3クラス含む）

イ 生徒数・学級数の現状及び将来推計（通常学級） 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計）

（R4.5.1現在）

| 年 度 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 生徒数 | 265人 | 261人 | 253人 | 232人 | 243人 | 246人 | 239人 |
| 学級数 | 9学級 | 9学級 | 8学級 | 7学級 | 8学級 | 8学級 | 8学級 |

※平均入学率を加味

※特別支援学級を除く（生徒数・学級数）

(2) 事業費内訳

| 区分 | 予算額（千円） | 内 容 |
|-----------|---------|----------------------|
| 基本実施設計 | 105,420 | 新校舎等に係る基本実施設計（完成払相当） |
| 学校敷地等測量設計 | 12,180 | 学校敷地に係る測量設計（完成払相当） |
| 計 | 117,600 | |

3 スケジュール（予定）

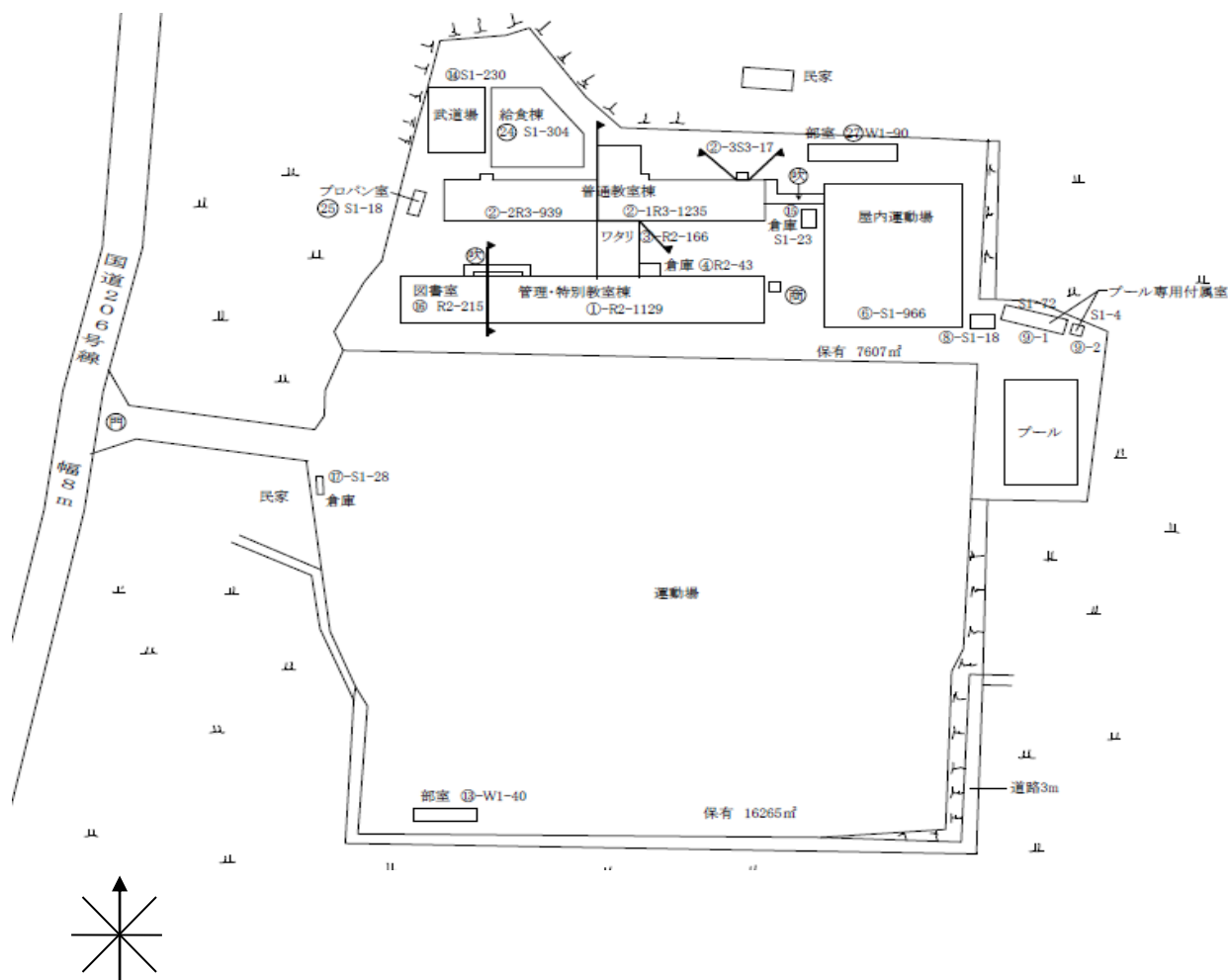
令和3年度 土質調査、登記測量、石綿含有調査
令和4～5年度 基本実施設計、学校敷地等測量設計
令和6年度～ 仮設校舎建設
令和7年度～ 新校舎等建設
令和10年度～ 運動場整備

4 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|---------|---------|------|--------|-----|--------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債※ | その他 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 117,600 | — | — | 88,200 | — | 29,400 |

※ 学校教育施設等整備事業債 充当率：75%（交付税措置率 10%）

5 琴海中学校の施設配置及び概要（令和4年5月1日現在）



施設の状況（令和4年5月1日現在）

| 番号 | 区分 | 構造 | 階数 | 面積 | 建設年月 | 経過年数 |
|--------|--------|----|----|---------------------|----------|------|
| ① | 校舎 | RC | 2 | 1129 m ² | 昭和41年3月 | 57年 |
| ②-1 | 校舎 | RC | 3 | 1235 m ² | 昭和40年3月 | 58年 |
| ②-2 | 校舎 | RC | 3 | 939 m ² | 昭和41年9月 | 56年 |
| ②-3 | 校舎 | S | 3 | 17 m ² | 平成12年4月 | 23年 |
| ③ | 校舎 | RC | 2 | 166 m ² | 昭和41年3月 | 57年 |
| ④ | 校舎 | RC | 2 | 43 m ² | 昭和41年3月 | 57年 |
| ⑧ | 校舎 | S | 1 | 18 m ² | 昭和47年7月 | 50年 |
| ⑮ | 校舎（倉庫） | S | 1 | 23 m ² | 平成5年7月 | 29年 |
| ⑯ | 校舎 | RC | 2 | 215 m ² | 平成7年2月 | 28年 |
| ⑰ | 校舎（倉庫） | S | 1 | 28 m ² | 平成7年11月 | 27年 |
| ⑳ | 給食室 | S | 1 | 304 m ² | 平成9年2月 | 26年 |
| ㉑ | 給食室 | S | 1 | 18 m ² | 平成9年2月 | 26年 |
| ㉓ | 部室 | W | 1 | 40 m ² | 昭和62年12月 | 35年 |
| ㉗ | 部室 | W | 1 | 90 m ² | 平成17年12月 | 17年 |
| ⑥ | 体育館 | S | 1 | 966 m ² | 昭和43年3月 | 55年 |
| ⑭ | 武道場 | S | 1 | 230 m ² | 平成元年3月 | 34年 |
| ⑨-1, 2 | プール | S | 1 | 375 m ² | 昭和47年7月 | 50年 |

※RC造は鉄筋コンクリート造、S造は鉄骨造、W造は木造、プールの面積は水面積

6 現況写真

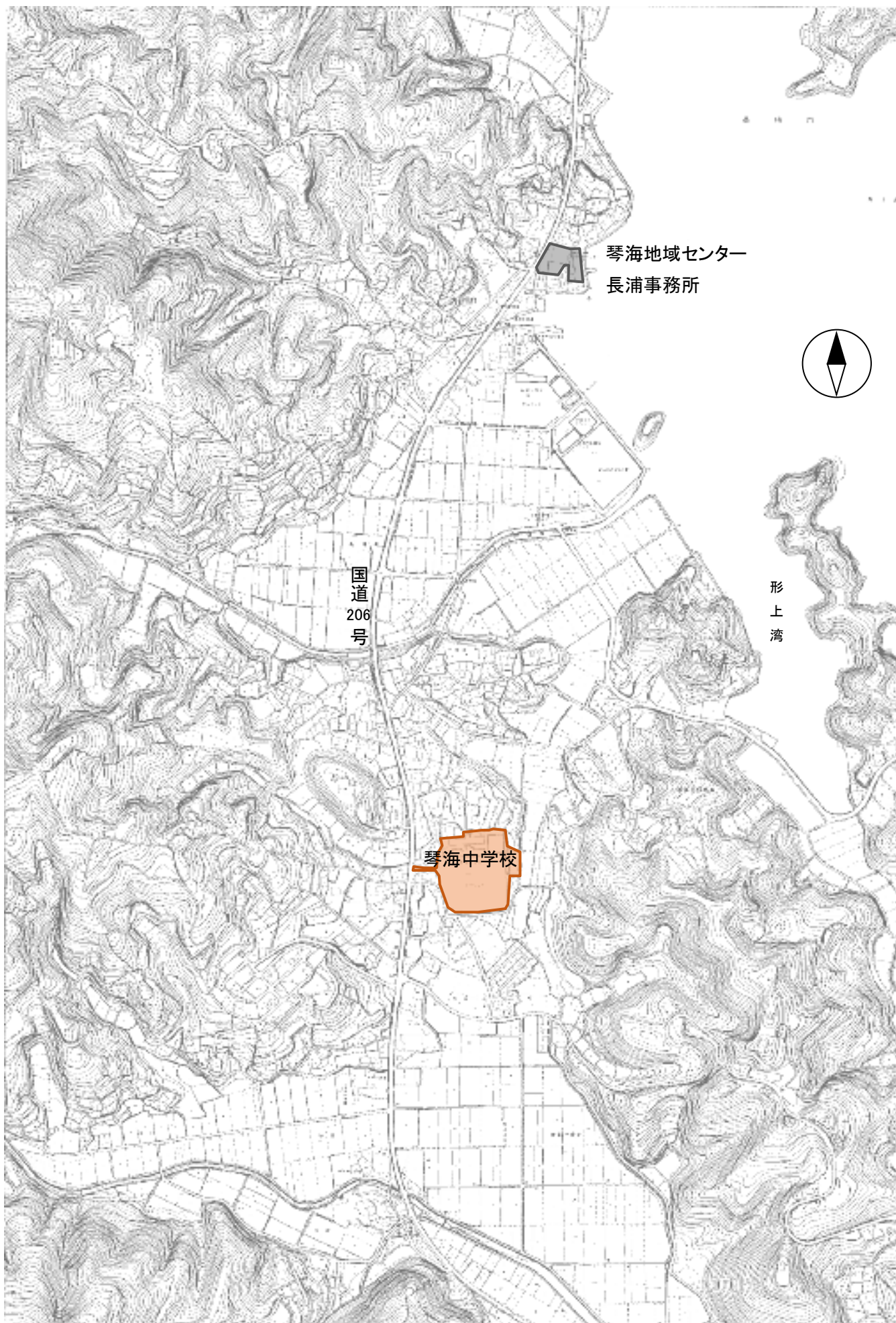


校舎



プール

7 位置図



| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|---------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 276~ 277 | 10 教育費 | 3 中学校費 | 4 学校建設費 | 2-1 | 【単独】自然災害防止事業費 法面 | 千円 150,000 |

1 概 要

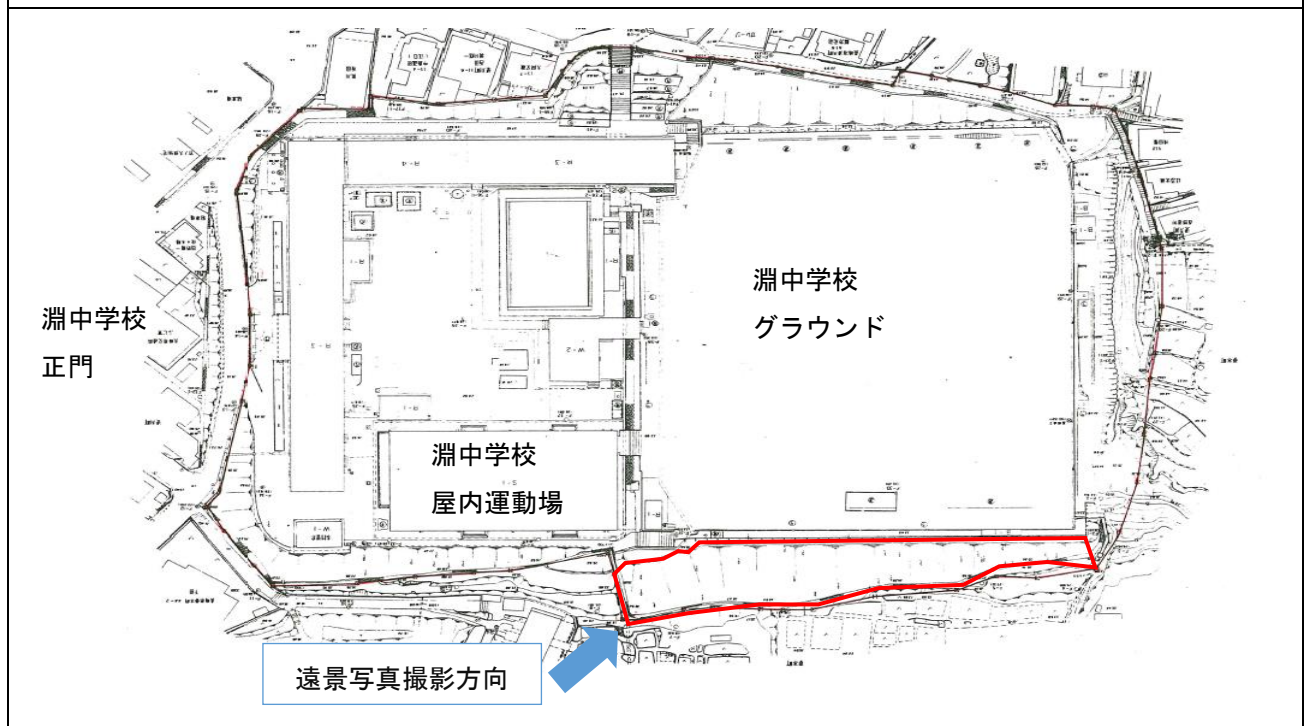
淵中学校を支える法面の土砂が一部崩れている状態であり、民有地に影響を及ぼす可能性があることから、災害を未然に防ぐため法面の改修工事を行うもの。

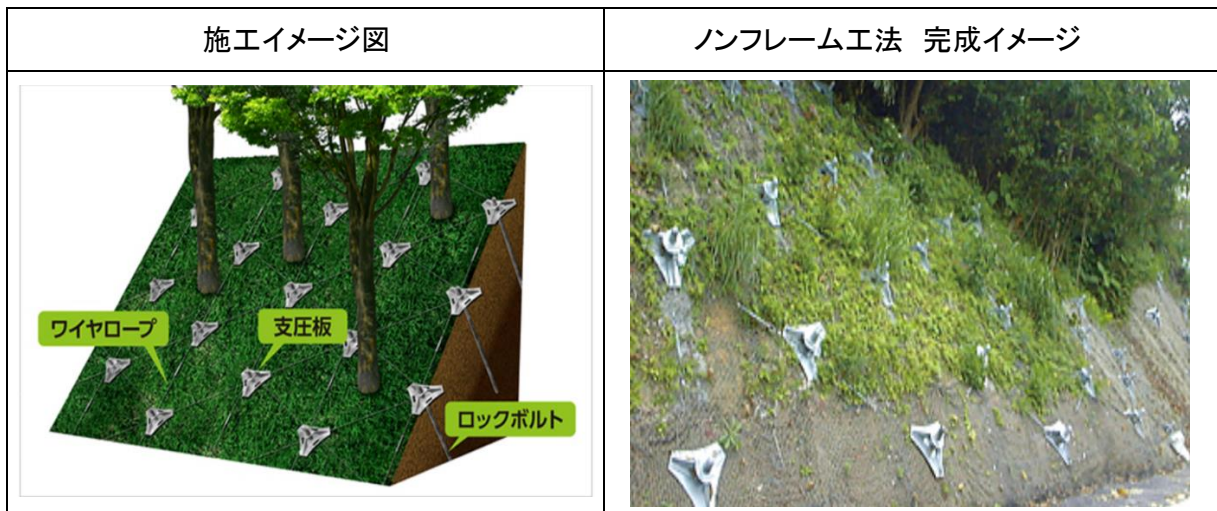
2 事業内容

ノンフレーム工法による法面改修工事を実施する。

| 区分 | 事業費 | 事業内容 |
|-------|-----------|-----------------|
| 工事請負費 | 150,000千円 | 法面改修 (A=1,490㎡) |

平面図（赤枠が令和5年度実施予定範囲）





3 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|---------|-------|------|---------|-----|------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債※ | その他 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 150,000 | — | — | 150,000 | — | — |

※ 自然災害防止事業債(充当率:100%、交付税措置率:28.5~57.0%)

4 その他(現況写真等)

淵中学校法面改修工事

- ① 現況:法面の土砂が一部崩れている状態である。
- ② 工期:約10か月



| 予算説明書 | | | | | 事業名 | 予算額 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----|--------------------------|-----------------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 276～ 277 | 10 教育費 | 4 高等学校費 | 2 学校管理費 | 1-2 | 管理費 (うち、エアコン に係る分) | 33,382千円 (2,840千円) |

1 概要

近年の地球温暖化による気温上昇を背景として、市立小中学校の普通教室等に公費でエアコンを設置していることに鑑み、PTAが負担している長崎商業高等学校におけるエアコンに係る経費についても、公費負担とするもの。

2 事業内容

(1) 長崎商業高等学校においてPTAが負担するエアコンに係る経費

ア エアコンのリース契約料及び保守点検費用

- ・普通教室、学習室、多目的教室に設置するエアコン24台
- ・契約期間 平成28年8月25日～令和8年8月24日(120ヶ月)
- ・エアコンリース料総額 13,284,000円(年額 1,328,400円)
- ・保守点検費用 総額 1,684,200円(年額 154,000円)

イ その他費用

- ・電気代
- ・修理代

(2) 事業費

| | | |
|--------|-----------|---------------|
| ア エアコン | リース料 | 1,328,400円 |
| イ エアコン | 保守点検費用 | 154,000円 |
| ウ エアコン | 電気代、修繕料など | 1,357,600円 |
| | | 合計 2,840,000円 |

(3) 公費負担の方法

現在、PTAが締結しているエアコンのリース契約、保守点検契約を市が引き継ぎ、その後の電気代や修繕料も公費負担する。

3 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|-------------|---------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他※ | 一般財源 |
| 千円 2,840 | 千円 - | 千円 - | 千円 - | 千円 2,840 | 千円 - |

※その他 教育基金繰入金

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-----------|-----------|------------|-----------|-----|----------|-----------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 282~285 | 10 教育費 | 6 社会教育費 | 2 公民館費 | 2-3 | 地区公民館管理費 | 千円 503 |

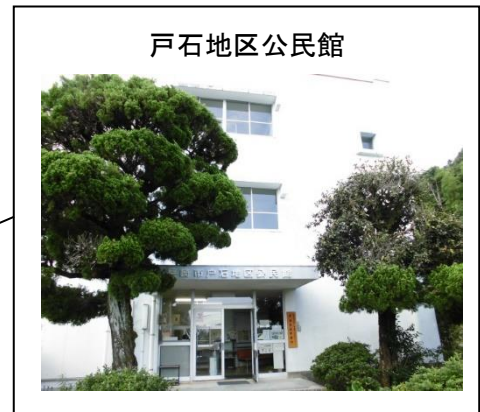
1 概要

長崎市新東工場の建設に関する覚書に基づく地元要望を受けて、戸石地区公民館の移転建て替えを行うにあたり、移転先の用地取得のため、長崎県の事業認定を受けるとともに、用地交渉に先立って土地の評価額を把握する。

2 戸石地区公民館の現況

(1) 所在地 長崎市戸石町1740番地1

(2) 位置図



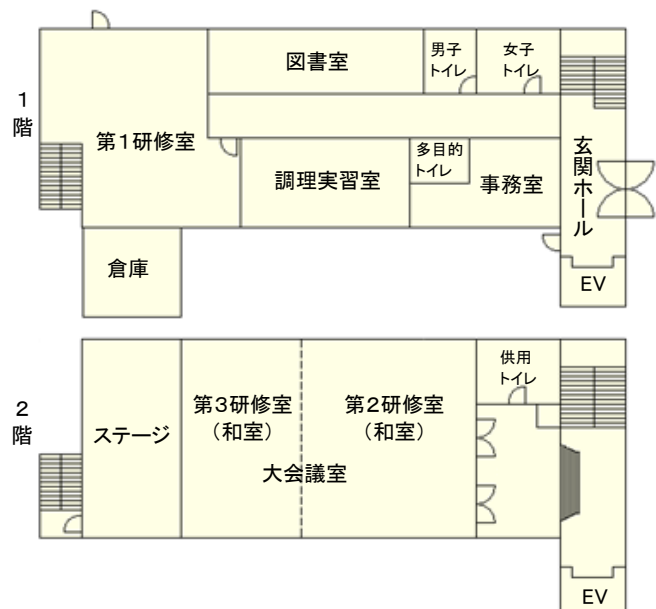
(3) 建築年月日 昭和49年3月31日

(4) 施設の規模 敷地面積 957.98㎡、延床面積 490.52㎡

(5) 構造 鉄筋コンクリート造2階建

(6) 施設内容及び建物平面図

| 諸室 | 階層 | 面積 |
|-------|----|--------|
| 第1研修室 | 1階 | 77.00㎡ |
| 第2研修室 | 2階 | 63.00㎡ |
| 第3研修室 | 2階 | 45.00㎡ |
| ステージ | 2階 | 31.50㎡ |
| 調理実習室 | 1階 | 30.60㎡ |
| 図書室 | 1階 | 27.00㎡ |
| 事務室 | 1階 | 19.96㎡ |



(7) 利用者数

| 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 3,193人 | 2,900人 | 2,759人 | 1,422人 | 1,364人 |

3 今後のスケジュール（予定）

| | |
|---------|--------------------------------------------|
| 令和4年9月～ | 地元との協議 |
| 令和5年度 | （地元協議後）土地収用法に基づく県の事業認定 （事業認定後）用地交渉、用地取得 |
| 令和6年度 | 実施設計 |
| 令和7年度 | 建設工事 |
| 令和8年度 | 供用開始 |

4 事業費内訳

- (1) 用地収用事業認定手数料 158千円
土地収用法に基づく事業認定を申請する際の、長崎県への手数料
- (2) 不動産鑑定委託料 345千円
用地交渉に先立って土地の評価額を把握するための経費

5 財源内訳

| 事業費 | 財源内訳 | | | | |
|-----|-------|------|-----|-----|------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 503 | — | — | — | — | 503 |

【参考】戸石小学校区連合自治会からの要望事項及び市の回答

| 要望事項 | 回 答 |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 戸石地区事務所並びに戸石地区公民館の移設 | <p>長崎市は施設の安全性や機能の向上を図りながら、既存の公共施設の有効活用を進めており、建物が使用可能な間は適正な維持管理を行い現施設の使用を継続することとしています。</p> <p>しかしながら、戸石地区は従来と比べ、国道の整備や大規模な宅地開発が進んだことから、地域コミュニティ活動を行う上で、現在の場所よりも地域の住民の利便性の向上が図られる国道251号沿線に、令和8年度を目途に戸石地区公民館を建替えることとします。</p> <p>施設や敷地の規模については、市の公共施設の整備における基本的な考え方や、災害時の避難行動についての市の方針を踏まえながら、今後の施設のあり方や機能について地域の皆様と協議したうえで必要な規模とします。</p> <p>また、これに向けて、速やかに地域との協議を開始いたします。</p> <p>なお、地区事務所については、市全体の庁舎の配置計画の中で検討していきます。</p> |

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|----------------|---------------|-----|---------------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 187～ 188 | 10 教育費 | 6 社会 教育費 | 9 科学館 費 | 2-1 | 【単独】科学館施設整備事業費 科学館設備整備 | 千円 223,400 |

1 概 要

平成9年の開館以来、25年が経過し、経年劣化している設備の更新及び機器の正常稼働を保つための更新を行う。

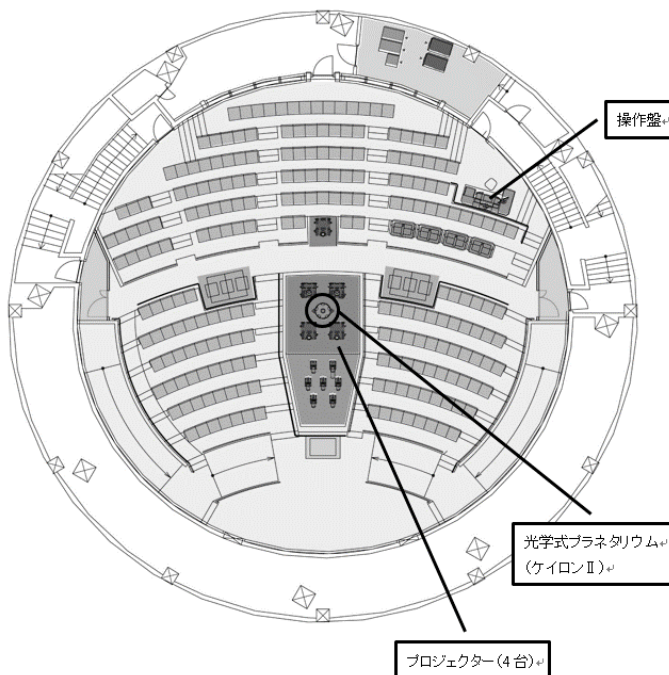
2 事業内容

(1) プラネタリウムプロジェクター交換修繕 43,800千円

プロジェクターの交換目安である稼働時間 20,000 時間を超え、映像が暗くなったり色が抜けたりするなどの不具合が発生していることから、機器を交換するもの。なお、現在の電球式からレーザー式のプロジェクターへ交換を行う。

ア 位置図

2階 スペースシアター



イ 工期 約7か月(現場作業 約8日)

| 令和5年 | | | | | | | | | |
|------|----|----------|----|----|----|-----|-----|------|--|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
| | 契約 | ← 現場作業 → | | | | | | 現場作業 | |

※現場作業の8日間は、プラネタリウムの上映を休止

(3) 本館外壁等改修工事 141,800 千円

平成 9 年の開館以来、25 年が経過するため、耐用年数を考慮し、本館外壁、屋根、屋上防水の改修を行う。

ア 位置図(2 階)



イ 工期 約 8 か月(現場作業 約 6 か月)

| 令和 5 年 | | | | | | | | | 令和 6 年 | |
|--------|-----|-----|------|-----|-----|------|------|------|--------|-----|
| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 |
| | | 契約 | 現場作業 | | | | | | | |

3 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|----------|---------|------|----------|-----|---------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 ※ | その他 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 223, 400 | — | — | 188, 800 | — | 34, 600 |

※ 一般単独事業債 充当率 75%

※ 公共施設等適正管理推進事業債 充当率 90%

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----|----------|-----------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 294～ 295 | 10 教育費 | 7 保健体育費 | 2 学校給食費 | 2-2 | 給食食材等調達費 | 千円 1,503,405 |

1 概 要

平成 31 年 4 月からの学校給食費の公会計化に伴い、学校給食食材についても市が主体となり調達を行うもの。

物価上昇等により学校給食食材価格も高騰する中、保護者が負担する食材費の範囲に収まるよう工夫しながら献立を作成しているが、児童生徒に必要な栄養を維持することに加え、食育の推進や地場産物活用等も考慮すると、献立作成が非常に困難な状況となっている。

こうした中、保護者負担（学校給食費）の増額を検討すべきところであるが、食材価格高騰分について、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し公費で負担したところである。

このような経緯を踏まえ、令和 5 年度においても、食材価格高騰分について同様に公費で対応することとするもの。

2 事業内容

- | | |
|-------------------|---------------|
| (1) 給食物資調達等業務委託料 | 1,493,326 千円 |
| 上記のうち、食材費相当額 | 1,468,790 千円 |
| (うち保護者負担(学校給食費)分) | 1,290,690 千円) |
| (うち食材価格高騰分) | 178,100 千円) |

【食材価格高騰分の積算内訳】

| | 一食当たり 単価 ^{※1} | 物価上昇率 ^{※2} | 消費税 | 回数 ^{※3} | 対象者数 | 予算額 |
|-------|---------------------------|---------------------|------|------------------|----------|---------------|
| 小 学 校 | 209.21 円 | 14.0% | 1.08 | 185 回 | 19,863 人 | 116,238,716 円 |
| 中 学 校 | 248.98 円 | 14.0% | 1.08 | 180 回 | 9,129 人 | 61,860,293 円 |
| 合 計 | | | | | | 178,099,009 円 |

※1 長崎市学校給食の提供に関する条例施行規則に定める標準単価

※2 学校給食食材業者への令和 5 年度価格動向聞き取り等による

※3 令和 5 年度の学校給食の実施予定回数

- | | |
|---------------------------|-----------|
| (2) その他経費（学校給食用白衣の購入及び洗濯） | 10,079 千円 |
|---------------------------|-----------|

3 財源内訳

| 事 業 費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-----------------|---------------------|---------|---------|-------------------|--------------|
| | 国庫支出金 ^{※4} | 県支出金 | 地方債 | その他 ^{※5} | 一般財源 |
| 千円 1,503,405 | 千円 178,100 | 千円 — | 千円 — | 千円 1,300,769 | 千円 24,536 |

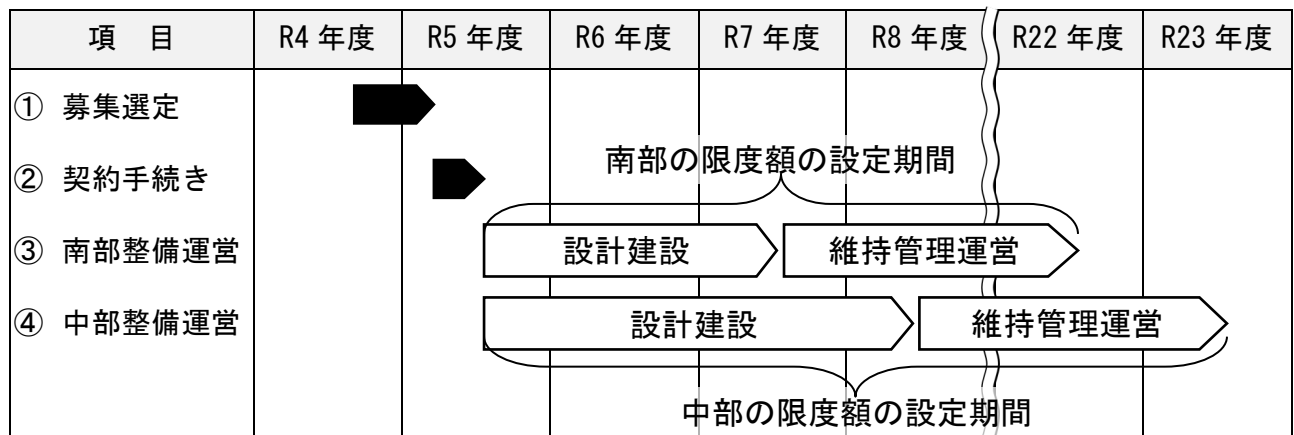
※4 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（単独）

※5 学校給食費、教育基金繰入金

| 債務負担行為 | | 期 間 | 限度額 (設定額) |
|------------|----------------------|---------------------|------------------|
| 第2表 ページ | 事 項 | | |
| 14 | 学校給食センター整備運営事業(中部地区) | 令和5年度から 令和23年度まで | 千円 14,247,300 |
| 14 | 学校給食センター整備運営事業(南部地区) | 令和5年度から 令和22年度まで | 千円 5,926,348 |

1 設定の理由

令和4年12月12日に特定事業として選定した中部学校給食センター及び南部学校給食センターのそれぞれの整備運営事業について、現在の公募・選定手続きを経て令和5年度の事業者との事業契約の締結を目標としている。これに必要な予算措置の裏付けとして、各整備運営事業について債務負担行為の設定を行うものである。



参考：募集選定・契約手続きに係るスケジュール（中部・南部共通）

| 日 程 | 内 容 |
|------------|--------------------------------|
| 令和4年12月12日 | 特定事業の選定及び公表、募集要項等の公表 |
| 令和5年1月31日 | 募集要項等に関する第1回質問に対する回答 |
| 令和5年2月17日 | 資格審査に関する書類の提出期限（参加表明） |
| 令和5年3月上旬 | 募集要項等に関する第2回質問に対する回答、資格審査結果の通知 |
| 令和5年4月14日 | 提案審査に関する書類の提出期限 |
| 令和5年5月下旬 | 提案審査及びヒアリング等 |
| 令和5年6月上旬 | 優先交渉権者の決定及び公表 |
| 令和5年6月下旬 | 基本協定の締結 |
| 令和5年7月下旬 | 仮契約の締結 |
| 令和5年9月下旬 | 事業契約の締結 |

2 限度額の設定

令和4年12月12日に公表した募集要項における提案上限価格を限度額として設定するもの。

| 事項 | 学校給食センター整備運営事業 (中部地区) | 学校給食センター整備運営事業 (南部地区) | | |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------|-------------|
| 事業名 | 中部学校給食センター整備運営事業 | 南部学校給食センター整備運営事業 | | |
| 期間 | 令和5年度～令和23年度 (運営期間：R8.9～R23.7) | 令和5年度～令和22年度 (運営期間：R7.9～R22.7) | | |
| 限度額 | 14,247,300千円 | 5,926,348千円 | | |
| 事業費内訳 | 施設整備費 | 4,307,913千円 | 施設整備費 | 1,863,215千円 |
| | 維持管理運営費 | 8,646,156千円 | 維持管理運営費 | 3,525,233千円 |
| | 小計 | 12,954,069千円 | 小計 | 5,388,448千円 |
| | 消費税相当額 ^{※1} | 1,293,231千円 | 消費税相当額 ^{※1} | 537,900千円 |
| | 合計 | 14,247,300千円 | 合計 | 5,926,348千円 |
| 財源内訳 | 国費 ^{※2} | 589,667千円 | 国費 ^{※2} | 228,330千円 |
| | 地方債 ^{※3} | 2,949,600千円 | 地方債 ^{※4} | 1,321,600千円 |
| | 一般財源 | 10,708,033千円 | 一般財源 | 4,376,418千円 |

※1：施設整備費の中には、非課税の割賦手数料が含まれており、小計の10%とは一致しない。

※2：学校施設環境改善交付金 中部：補助率1/2、南部：補助率1/2・1/3

※3：学校教育施設等整備事業債 充当率90%・75%（交付税措置率50%（財源対策債分のみ））

※4：学校教育施設等整備事業債 充当率90%・75%（交付税措置率50%（財源対策債分のみ））、
過疎対策事業債 充当率100%（交付税措置率70%）

（1）施設整備費の算出方法

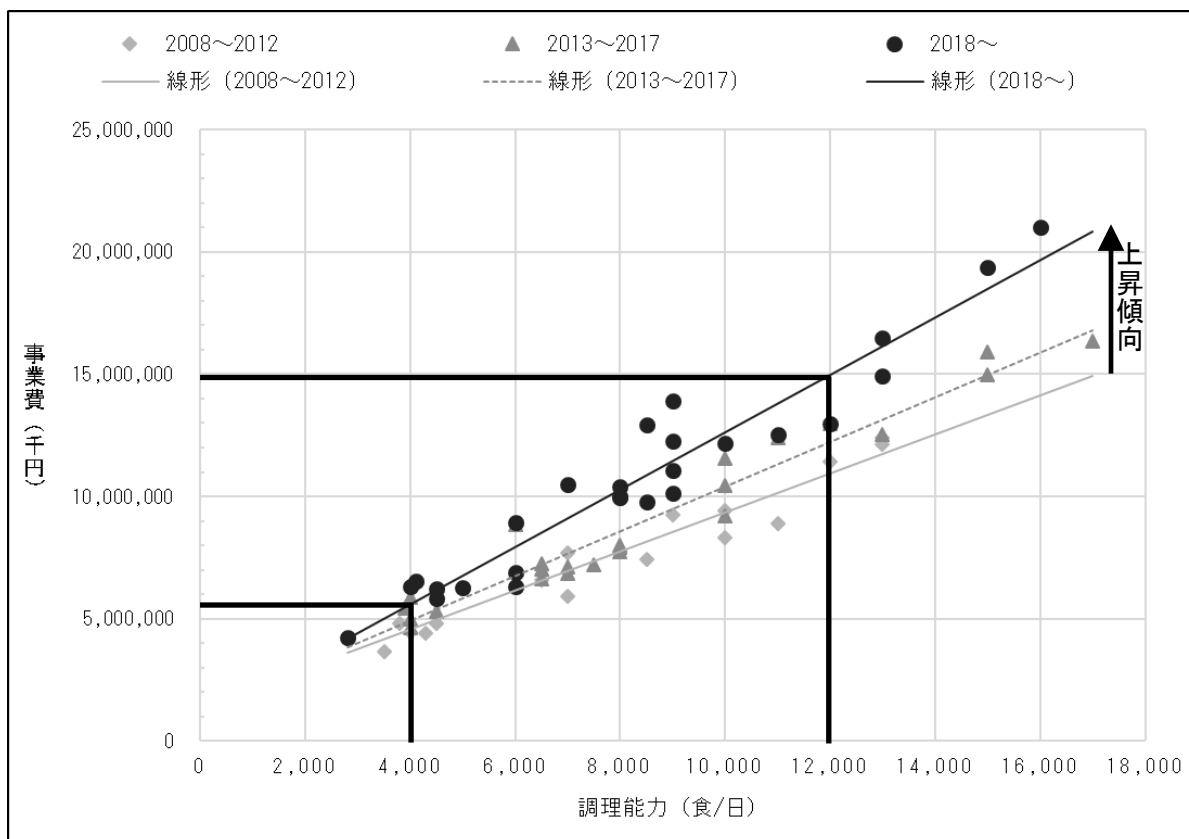
| 項目 | 主な算出方法 |
|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 設計費 | ① 国土交通省設計業務委託等技術者単価及び国土交通省告示第98号に基づき算出 |
| ② 建設費 (・ 建設工事 ・ 付帯工事 ・ 解体工事 (中部のみ) ・ 調理設備整備) | ② 本体建設工事は、他都市事例の平米単価に施設規模を乗じて算出 付帯工事は、国土交通省新営予算単価等に基づき算出 解体工事は、建築部見積により算出 調理設備整備は、メーカーの見積により算出 |
| ③ 工事監理費 | ③ ①と同様に算出 |
| ④ 初度調弁費 | ④ 食缶・調理備品は、メーカーの見積により算出 什器・備品は、他都市事例に基づき設定した単価に施設規模を乗じて算出 |
| ⑤ その他経費 | ⑤ SPC 設立費や融資組成手数料は、他都市事例をもとに算出 起債償還利息は、起債の償還方法に基づき算出 |

(2) 維持管理運営費の算出方法

| 項目 | 主な算出方法 |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 維持管理費 (・建物保守管理等 ・建物修繕 ・厨房設備修繕・更新 ・食缶・調理器具更新) | ① 建物保守管理等は、他都市事例に基づき設定した単価に施設規模を乗じて算出 建物修繕や厨房設備の修繕・更新は、他都市事例に基づき設定した比率に各整備費を乗じて算出 |
| ② 運営費 (・調理洗浄等業務 ・配膳業務 ・配送回収業務 ・残渣処理) | ② 調理洗浄等業務は、市場調査に基づく人数をもとに算出 配膳業務は、各校に必要な配膳員の人数をもとに算出 配送回収業務は、想定 of 配送計画に基づく車両台数をもとに算出 |
| ③ 光熱水費 | ③ シミュレーションに基づく使用量に各単価を乗じて算出 |
| ④ その他経費 | ④ 開業準備費やSPC運営費は、他都市事例をもとに算出 |

参考：調理能力と事業費の関係

平成20年度(2008年度)以降にPFI手法により実施した学校給食センターの調理能力と事業費(予定価格(税込))の関係を整理した結果は次のとおりである。近年の物価上昇等により年々事業費は上昇傾向にあり、今回設定する債務負担行為額についても同程度が必要と考えられる。



3 年度別支払イメージ

施設整備費については、交付金対象経費及び地方債対象経費を一時支払金として、施設引渡し時に事業者へ支払い、残りの施設整備費については、事業期間にわたって割賦支払いを行う予定としている。また、維持管理運営費については、四半期ごとに実際の調理食数に応じて支払う予定としている。

(単位：千円)

| 区 分 | 事業費 | 年度別支払内訳 | | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|
| | | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R22年度 | R23年度 |
| 中部学校給食センター | 14,247,300 | - | 4,787,579 | 659,723 | 659,724 | 223,595 |
| 施設整備費 | 一時支払金 | 4,404,590 | - | 4,404,590 | - | - |
| | 割賦原価 | 310,182 | - | 9,680 | 19,490 | 21,907 |
| | 割賦手数料 | 21,757 | - | 1,385 | 2,639 | 223 |
| | 小計 | 4,736,529 | - | 4,415,655 | 22,129 | 22,130 |
| 維持管理運営費 | 9,510,771 | - | 371,924 | 637,594 | 637,594 | 212,531 |
| 南部学校給食センター | 5,926,348 | 2,060,948 | 269,568 | 269,567 | 91,453 | - |
| 施設整備費 | 一時支払金 | 1,904,497 | 1,904,497 | - | - | - |
| | 割賦原価 | 134,650 | 4,202 | 8,461 | 8,537 | 4,785 |
| | 割賦手数料 | 9,445 | 601 | 1,146 | 1,069 | 14 |
| | 小計 | 2,048,592 | 1,909,300 | 9,607 | 9,606 | 4,799 |
| 維持管理運営費 | 3,877,756 | 151,648 | 259,961 | 259,961 | 86,654 | - |
| 合 計 | 20,173,648 | 2,060,948 | 5,057,147 | 929,290 | 751,177 | 223,595 |

参考：北部学校給食センターのアンケート調査結果

<2学期実施分>

- 調査実施期間 令和4年10月6日から10月19日まで
- 調査対象校数 24校(小学校20校、中学校4校)

| 質問項目 | 選択肢 | 回答 | 「問題がある」場合の主な理由 |
|--------------|-------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-1 給食の量 | 問題ない | 8校 | ・ごはんの量が多い |
| | 問題がある | 16校 | |
| 1-2 給食の味 | 問題ない | 20校 | ・全体的に味が薄いという意見が多い ・揚げ物が脂っぽいときがある ・味が薄いときがある |
| | 問題がある | 4校 | |
| 1-3 給食の温度 | 問題ない | 19校 | ・冷凍みかんが凍っている ・食缶のふたが熱いときがある ・大きなおかずが少し熱い |
| | 問題がある | 5校 | |
| 2-1 給食の到着時刻 | 問題ない | 24校 | |
| | 問題がある | - | |
| 2-2 食缶の回収時刻 | 問題ない | 24校 | |
| | 問題がある | - | |
| 2-3 配送作業 | 問題ない | 22校 | ・雨天時のコンテナ積み下ろしが雨ざらしである ・コンテナ車の接触により校内引き戸が破損した ※ 修繕対応済 |
| | 問題がある | 2校 | |
| 2-4 配送員の衛生管理 | 問題ない | 23校 | ・屋根がないため、雨天時に配送員が雨に濡れた状態で配膳室まで運搬する点が気になる |
| | 問題がある | 1校 | |
| 3-1 配膳作業 | 問題ない | 22校 | ・圧の関係で食缶のふたが開かないときがあった ・配膳室に空調設備を整えてほしい |
| | 問題がある | 2校 | |
| 3-2 配膳員の衛生管理 | 問題ない | 23校 | ・配膳室に空調設備がないため、夏季の汗の混入が心配 |
| | 問題がある | 1校 | |
| 4 児童生徒の声 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・パンに合わないおかずのときがある ・季節や行事に合わせた料理が出て、いつもおいしくいただいている ・カレー、うどん、さらうどん、からあげなどのメニューのときは、とても喜んで食べています ・好き嫌いのない子どもたちは「今日もおいしかったです」と喜んでいきます ・子どもたちは「おいしい！」といつも喜んで食べています ・もっと味付きのパンが欲しい ・いつも温かくおいしい給食をもりもりいただいています。ありがとうございます ・温かいものは温かく、冷たいものは冷たくいただけるのでありがたい ・おたまの小は、かぎづめのついていない普通のおたまを入れてほしい ・いつも喜んで食べています。温かくてなんでもおいしいです。ありがとうございます ・子どもたちは、「おいしい。給食がたのしみ」と言っています |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 その他(意見、感想など) | <ul style="list-style-type: none"> ・配送等スムーズになり、熱々で食べられてうれしい ・スプーンとフォークではなく先割れスプーンに戻すことはできないのか ・トングやお玉を入れるかごを、下に隙間のないかごにしてほしい ・おかずを取り分けるトングが食缶の中に滑り込んでしまう ・温かくて美味しいと先生方からの感想あり ・大きいおかずは温かくおいしくいただいています。食缶の変更ありがとうございました ・保冷剤で冷やされたおかずはおいしく、夏でも安心して食べることができました ・子どもたちは給食を毎日楽しみにしています。今後もおいしい給食をよろしくお願いします ・以前に比べて味がとてもよく、美味しくなったと感じる。いつもありがとうございます ・給食で多様な献立に触れることができるのはありがたい ・スプーンとフォークが同時に配膳されることがあるが、どちらか一つでよいと思う ・新しい給食センターになってから給食があまりおいしくない |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

<3学期実施分>

● 調査実施期間 令和5年1月26日から2月3日まで

● 調査対象校数 24校(小学校20校、中学校4校)

| 質問項目 | 選択肢 | 回答 | 「問題がある」場合の主な理由 |
|-------------|-------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-1 給食の量 | 問題ない | 15校 | <ul style="list-style-type: none"> ・日によって量に増減がある ・ごはんの量が多い ・全体的に量が多いときがある |
| | 問題がある | 9校 | |
| 1-2 給食の味 | 問題ない | 22校 | <ul style="list-style-type: none"> ・酢の物や煮魚の味が濃かったり、汁物の味が薄いときがある ・小さいおかずの野菜にもう少し味がついていると食べやすい ・酸味の強い料理を子ども向けの味付けにしてほしい |
| | 問題がある | 2校 | |
| 1-3 給食の温度 | 問題ない | 22校 | <ul style="list-style-type: none"> ・冬は野菜サラダ等の小さいおかずが冷たい ・職員の給食の温度が低い |
| | 問題がある | 2校 | |
| 2-1 給食の到着時刻 | 問題ない | 24校 | |
| | 問題がある | - | |
| 2-2 食缶の回収時刻 | 問題ない | 23校 | <ul style="list-style-type: none"> ・食缶の回収がもう少し遅くなるとゆっくり食べられる |
| | 問題がある | 1校 | |
| 3 食に関する指導 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の指導がとても勉強になった ・給食時間だけでなく、栄養教諭が授業にも入っていただけると食への関心が高まると思う ・季節の物や地元の食材など、献立のバラエティが豊かで食の話がしやすい ・栄養教諭の訪問授業や給食週間での食育により、食に関する意識が高まった。好き嫌いせずに食べようとする子が増えた ・栄養教諭の在籍の有無で食育指導に差が生まれている。栄養教諭を増やしてほしい ・栄養教諭による指導が行われているのでありがたい |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 食物アレルギー対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの子は自分用の給食を喜んでいる。対応する種類の増を考えてみてはどうか ・いつも助かってます。ありがとうございます ・丁寧に対応していただき、安心して提供できています ・代替食や除去食もおいしい。細かく対応していただきありがとうございます ・個別対応表の記入の仕方が分かりにくい ・毎月の資料のやり取りや確認作業など、日々の対応は負担が大きい |
| 5 児童生徒の声 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の給食なら苦手なものも食べられる。麺類が増えると嬉しい ・食事の説明があつて分かりやすい。児童も給食に興味を持っている ・麺類なのに麺が少ないことがある。パンがパサパサしている ・この時期の豚汁やシチューは嬉しい。五島うどん、麻婆豆腐は人気だった ・食缶を開けたときに「わあー」と歓声が上がることがある。給食を楽しみにしているの子が多い ・温かく、手の込んだ料理が食べられて嬉しい。色々な味付けのごはんがあり喜んでいる ・給食センターの動画を見て、たくさんの気づきや驚きの感想が聞かれました ・給食がおいしい、大好き、もっと食べたいという声が多い ・混ぜごはんがおいしい。嬉しい。パンのバリエーションやジャムの頻度を増やしてほしい ・いつもおいしくいただいています ・食缶の内蓋がきつく閉まっていることがある ・みかんパンが苦くて苦手という児童が多い ・カレーのときはごはんを多くしてほしい ・パンが大きく食べづらい。ジャムやマーガリンなどがあると食べやすい ・メニューによってはフォークが必要ないときがある |
| 6 その他(意見、感想など) | <ul style="list-style-type: none"> ・いつもおいしい給食をありがとうございます ・大雪の日に給食が届いたことに驚いた。安全や負担を考えると中止してもよいのではないかと ・左利き用のお玉があると助かります ・職員室分のおかずの量が明らかに少ない日があった ・食缶が大きく重たい ・メニューによっては食缶の蓋が閉まってない状態で配送されることがある ・丼物などごはんの上にかけて食べるメニューのときは大きめの茶碗がよい ・雪の日も給食があり助かった。通勤や配送など大変だったのではないかと思います ・配膳室の空調設備を整えてほしい。配膳室の入口を広げてほしい ・カレーが人気なのでカレーの日を増やしてほしい。麺類や丼物の人気が高い ・異物混入について、原因究明と再発防止をよろしく願います ・本校は小食な児童が多いが、だんだん食べられる量が増えてきた。いつも学校の意見を取り入れ改善を重ねていただきありがたい ・積雪で配送が遅れる時や異物混入時の連絡体制の整備をお願いしたい ・温かい給食がいただけるようになりありがたい ・物価高騰に伴い、予算に限られる中、献立を工夫していただきありがとうございます |

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----|---------------------------------|-------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 294～ 297 | 10 教育費 | 7 保健体育費 | 3 体育振興費 | 2-5 | 令和6年度全国高等学校 総合体育大会開催費負 担金 | 千円 1,777 |

1 概 要

全国高等学校総合体育大会は、教育活動の一環として高等学校（中等教育学校後期課程を含む）生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動を含め、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とする。

平成23年度からは全国を9ブロックに分け、それまでの各都道府県の単独開催からブロックごとの輪番による広域開催に移行されており、令和6年度は、福岡県・長崎県・佐賀県・大分県の北部九州ブロックでの開催が決定している。

このうち、本市においては、競技種目別大会として、ソフトテニス競技大会およびアーチェリー競技大会が開催される。

2 事業内容

令和6年度全国高等学校総合体育大会競技種目別大会の円滑な開催・運営を行うため、長崎県ソフトテニス連盟や長崎県アーチェリー協会などの関係団体・機関から構成される実行委員会を設立することとしている。

実行委員会において「競技」、「広報・報道」、「宿泊・衛生」、「輸送・警備」の計画等の検討等を行うため、負担金を支出するもの。

（1）競技種目別大会概要

ア ソフトテニス競技大会

（ア）開催日：令和6年7月下旬（予定）

（イ）会 場：長崎市総合運動公園（かきどまり庭球場）

（ウ）参加者数（見込み）：延べ約12,000人（選手・監督・観客）

イ アーチェリー競技大会

（ア）開催日：令和6年8月上旬（予定）

（イ）会 場：長崎市総合運動公園（かきどまり陸上競技場）

（ウ）参加者数（見込み）：延べ約1,600人（選手・監督・観客）

（2）令和5年度事業費

令和6年度全国高等学校総合体育大会開催費負担金 1,777千円

令和6年度全国高等学校総合体育大会長崎市実行委員会の事業実施に要する運営経費

【主な内容】先催地視察旅費（苦小牧市、帯広市） 1,185千円

事務局費（消耗品費ほか） 592千円

(3) 年度別長崎市負担額（見込額）

| | 全体事業費 (長崎市負担額) | 年度別 内訳 | |
|----------|-------------------|---------|-----------|
| | | 令和5年度 | 令和6年度(概算) |
| 事業費 | 29,777千円 | 1,777千円 | 28,000千円 |
| 1 共通 | 1,576千円 | 1,576千円 | — |
| 2 ソフトテニス | 18,000千円 | — | 18,000千円 |
| 3 アーチェリー | 10,201千円 | 201千円 | 10,000千円 |

3 全体スケジュール（予定）

| | |
|----------|-------------------------|
| 令和5年5月 | 実行委員会設立総会、第1回総会の開催 |
| 令和5年6月～ | 競技、広報・報道等の計画検討、マニュアル作成等 |
| 令和6年4月 | 実行委員会第2回総会の開催 |
| 令和6年7月下旬 | 全国高校総体ソフトテニス競技大会開催 |
| 令和6年8月上旬 | 全国高校総体アーチェリー競技大会開催 |
| 令和7年3月 | 実行委員会第3回総会の開催 |

4 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|-------|---------|------|-----|-----|-------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 1,777 | — | — | — | — | 1,777 |

| 予 算 説 明 書 | | | | | 事 業 名 | 予 算 額 |
|-----------|-----------|------------|------------------|-----|-----------------------------|---------------|
| ページ | 款 | 項 | 目 | 番号 | | |
| 300～301 | 10 教育費 | 8 市民会館費 | 1 市民会館 総務費 | 2-1 | 【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館設備整備 | 千円 139,600 |

1 概 要

経年劣化している空調設備及び文化ホール照明設備などを更新し、適切な施設管理を行うもの。

2 事業内容

(1) 長崎市民会館エレベーター安全対策改修工事 30,682 千円

ア 工事概要

既設エレベーターには、ドアの枠とかごの間に挟まれる事故を防ぐ「戸開走行保護装置」の設置がなされていないため、当該装置を取り付ける。また、地震発生時の初期振動を感知し、かごを最寄りの階に停止する「地震時管制運転装置」の取付も併せて行うもの。

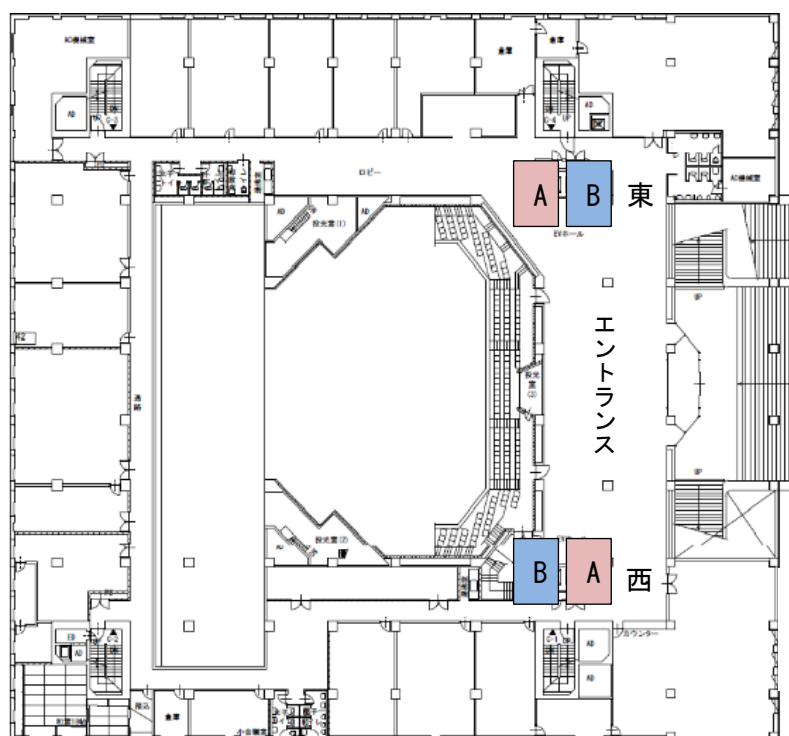
イ 工期 約6か月(現場工事 約1か月)

| 令和5年 | | | | | | | | | |
|------|----|----------|----|----|----|-----|-----|-----|--|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
| | | ← 現場工事 → | | | | | | | |

ウ 現場工事期間中の影響と対応

利用者の移動に支障をきたさないよう、館内エレベーター4台のうち、東側1台及び西側1台の計2台ずつを約2週間にわたる停止期間を設けて整備を行う。

エ 2階平面図



A2台とB2台に期間を分けて施工する。

(2) 長崎市民会館7階体育室空調設備更新工事 7,873 千円

ア 工事概要

設置から 23 年が経過した室内機及び室外機の取替を行うもの。

なお、冷暖房を使用しない令和5年 10 月～11 月に現場作業を行う予定としている。

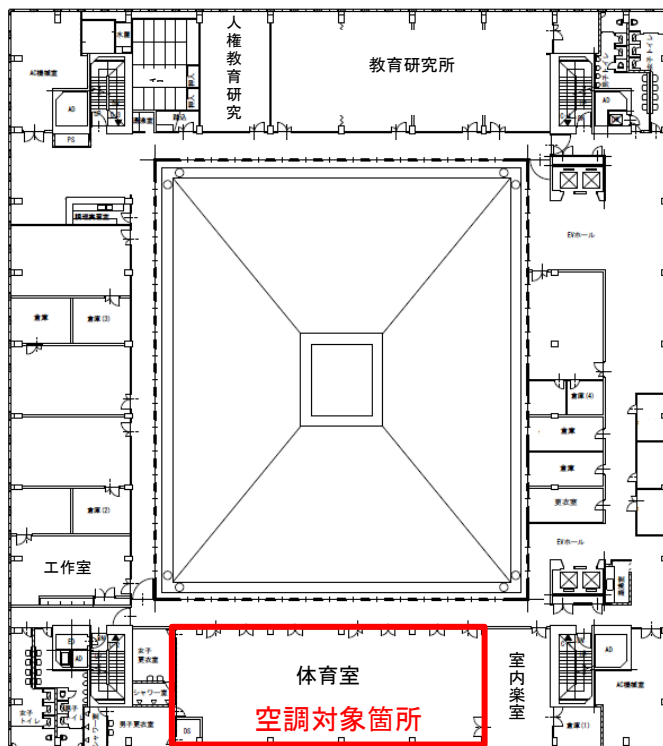
イ 工期 約4.5か月(現場工事 約15日程度)

| 令和5年 | | | | | | | | | |
|------|----|----|----------|----|----|-----|-----|-----|--|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
| | | | ← 現場工事 → | | | | | | |

ウ 現場工事期間中の影響と対応

現場作業中は貸室の利用ができないため、15 日間は休室の対応をとる。

エ 7階平面図



(3) 長崎市民会館文化ホール照明改修工事 101,089 千円

ア 工事概要

設置から 36 年が経過し、経年劣化した調光主幹盤等の更新を行うもの。

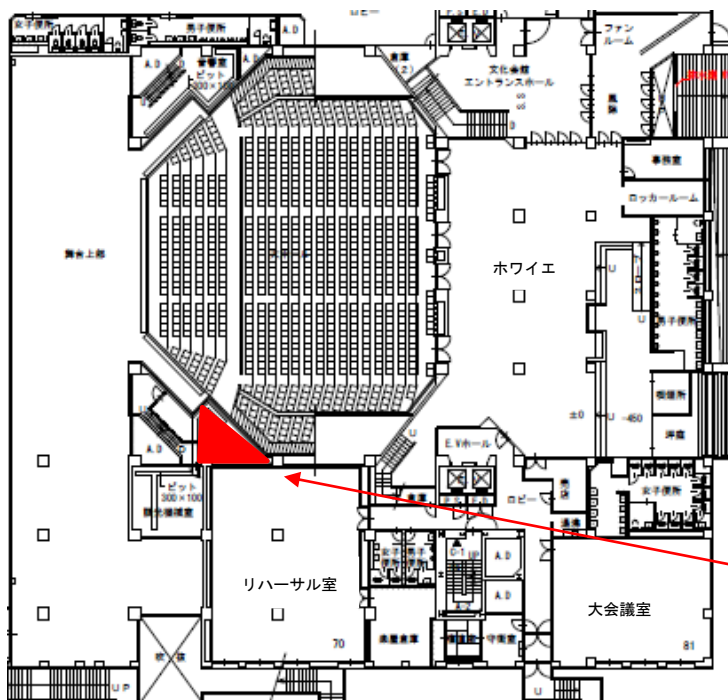
イ 工期 約9か月(現場工事 約2か月)

| 令和5年 | | | | | | | | 令和6年 | |
|------|----------|----|----|----|-----|-----|-----|------|----|
| 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| | ← 現場工事 → | | | | | | | | |

ウ 現場工事期間中の影響と対応

現場工事期間中は文化ホールを閉館しての作業となるため、年間で文化ホールの閑散期である令和5年12月下旬～令和6年2月上旬に現場作業を設定し、施設利用に与える影響を最小限に抑える。

エ 1階平面図・写真



調光主幹盤



3 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | |
|---------------|---------|---------|---------------|---------|--------------|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 ※ | その他 | 一般財源 |
| 千円 139,600 | 千円 - | 千円 - | 千円 104,700 | 千円 - | 千円 34,900 |

※一般単独事業債 充当率 75%(交付税措置率 -%)